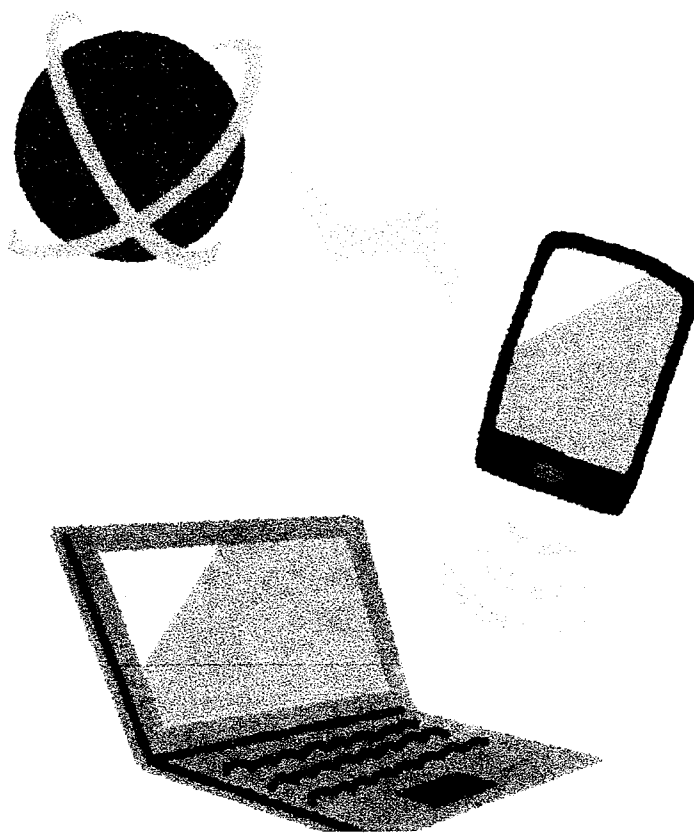
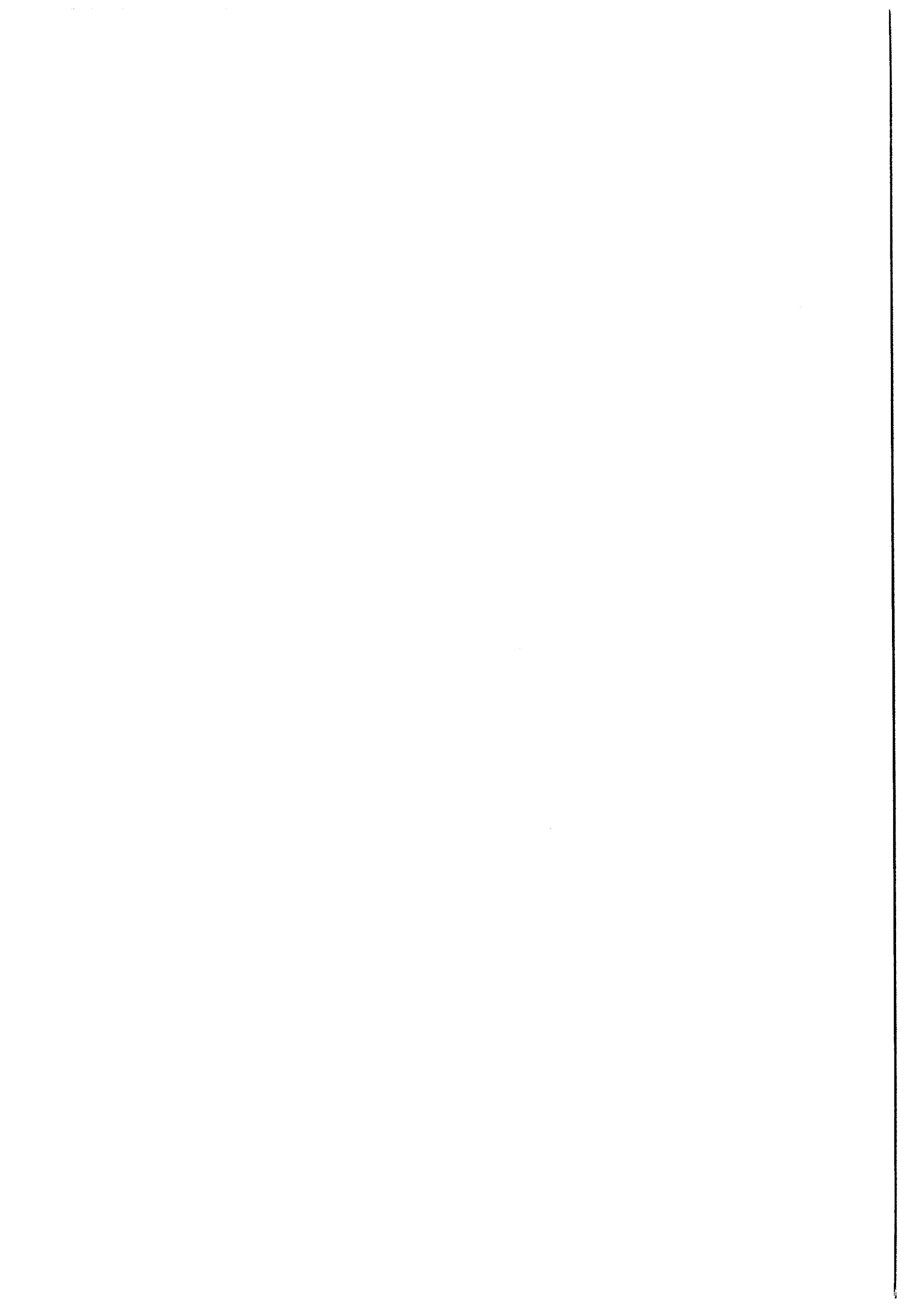


**令和元年度
インターネットの利用に関する
アンケート
(結果)**



**令和2年3月
鳥取県教育委員会
社会教育課**



令和元年度インターネットの利用に関するアンケートの結果について

1 調査目的

スマートフォンやゲーム機などの電子メディア機器の普及やコミュニティサイトの急速な利用拡大等により、基本的な生活習慣の乱れや子どもたちの犯罪被害につながる行為が憂慮されていることから、インターネットに係る子どもたちの実態調査を行い、その結果を児童生徒、保護者及び学校等への啓発につなげていく。

2 調査概要

(1) 実施時期

令和元年9月2日～9月20日

(2) 対象者

県内小学校6年生、中学校2年生、高等学校2年生とその保護者及び未就学児（年長）の保護者

（それぞれ10%程度を抽出して実施）

	学校（園）数（校・園）	児童・生徒（人）	保護者（人）	計
年長児	16		395	395
小学校6年生	16	554	456	1010
中学校2年生	10	542	468	1010
高等学校2年生	16	496	381	877
計	58	1592	1700	3292

(3) 対象機器（6機器）

携帯電話、スマートフォン、パソコン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ゲーム機

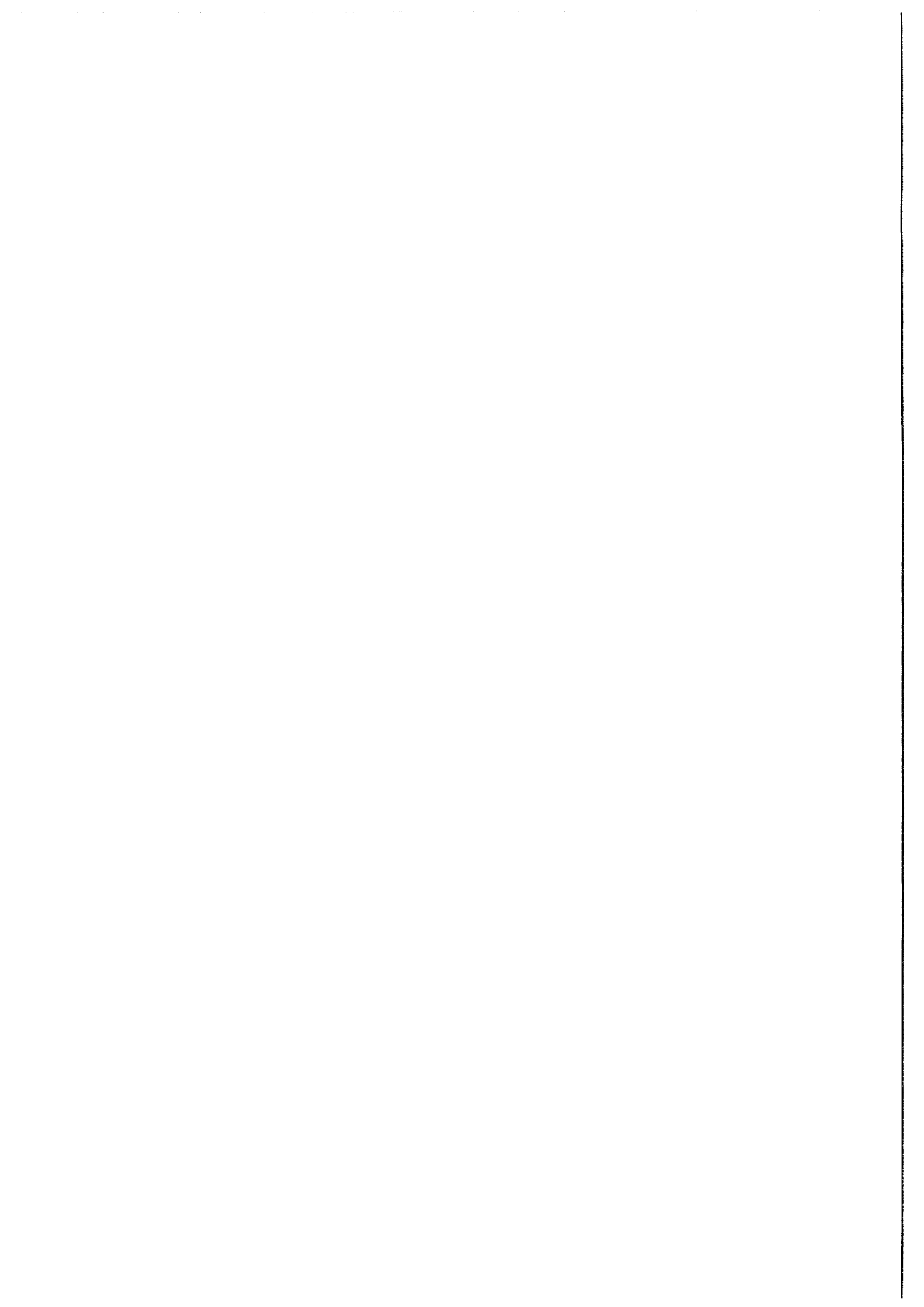
(4) 実施方法

（児童・生徒）学校でアンケート用紙に記入・回収

（保護者）家庭でアンケート用紙に記入し、学校（保育園等）で回収

3 その他

本調査は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。



目次

1. 回答者属性	
(1) 回答者（児童・生徒）の性別	1
(2) 回答者（保護者）の子どもの性別	1
2 児童・生徒の生活習慣	
(1) テレビ視聴時間	2
(2) 睡眠時間	2
3 電子メディア機器の利用状況	
(1) 電子メディア機器の所持率	3
(2) 電子メディア機器の利用状況	4
(3) 電子メディア機器の利用開始時期	6
(4) 電子メディア機器でのインターネット利用状況	10
(5) インターネットの利用内容	13
(6) インターネットの利用時間	17
(7) フィルタリングの設定・ウイルス対策	25
4 インターネット利用に関連したトラブル	
(1) インターネット利用に関連したトラブルの経験	28
(2) トラブル時の対処	30
5 家庭でのルール	
(1) 家庭での約束やルール	33
(2) 家庭でのルールの決め方	37
6 インターネット上の知り合い	
(1) インターネット上の知り合いの人数	38
(2) 知り合ったきっかけ	38
7 インターネット利用についての気持ちや状況（依存傾向）	
(1) インターネット利用についての気持ちや状況	39
8 インターネットの危険性についての学習	
(1) インターネットの危険性についての学習の経験	42
(2) 鳥取県青少年健全育成条例（ペアレンタルコントロール）	44
(3) 事件・事故を防ぐために	45
9 保護者の意識と利用状況	
(1) スマートフォンまたは携帯電話の利用を認めた理由	46
(2) 子どもにスマートフォンまたは携帯電話を持たせていない理由と持たせる予定	47
(3) 子どものインターネット利用で気にかかること	48
(4) 保護者のスマートフォン・携帯電話の利用	49
(5) インターネット等の用語の認識	52
(6) インターネット利用のメリット	56
10 未就学児（年長児）の利用	
(1) 回答者（保護者）の子どもの属性	57
(2) 生活習慣（テレビ等視聴時間・睡眠時間）	57
(3) 電子メディア機器の利用状況	58
(4) 電子メディア機器でのインターネット利用状況	59

(5) 電子メディア機器の利用内容	61
(6) 電子メディア機器の利用を認めた理由	61
(7) 1日の利用時間	62
(8) 家庭での約束やルール	63
(9) インターネットについての学習の経験	64
(10) 事件・事故を防ぐために	65

11 生活習慣等との関係〔クロス集計〕

【児童・生徒調査】

(1) 性別とインターネット利用	66
(2) インターネット利用とテレビの視聴時間	67
(3) インターネット利用と睡眠時間	68
(4) インターネット利用時間とトラブル経験の有無	69
(5) 家庭でのルールの有無とインターネット利用時間	70
(6) オンラインゲームとの関係	71
(7) 依存傾向の有無とインターネット利用時間	73
(8) 依存傾向の有無とインターネット上の知り合いの数	74
(9) 依存傾向の有無と機器利用開始時期	75
(10) 依存傾向の有無と睡眠時間	76
(11) 依存傾向の有無と機器別のインターネット利用時間	77
(12) 依存傾向の有無とトラブル経験	79
(13) インターネット上の知り合いの数とトラブル経験	80

【保護者調査】

(1) 保護者の学習機会の有無と家庭でのルール	81
(2) 保護者の学習機会とフィルタリングの設定状況	83
(3) 保護者の学習機会とペアレンタルコントロールの努力義務に関する認知状況	84
(4) 未就学児の電子メディア機器利用時間（平日）と保護者のスマートフォンまたは携帯電話利用時間	85

〔参考調査〕インターネット利用と読書の関係

【児童・生徒調査】

(1) 読書習慣	86
(2) 媒体別の読書実態	88
(3) インターネット利用時間と読書時間の関係	90
(4) インターネット利用時間と読書時間（紙の本・電子書籍別）の関係	95
(5) 読書状況・媒体別のインターネット利用内容	98

【年長児調査】

(1) 読書習慣	103
(2) 読書媒体別の読書実態	105

令和元年度 インターネットの利用に関するアンケート結果

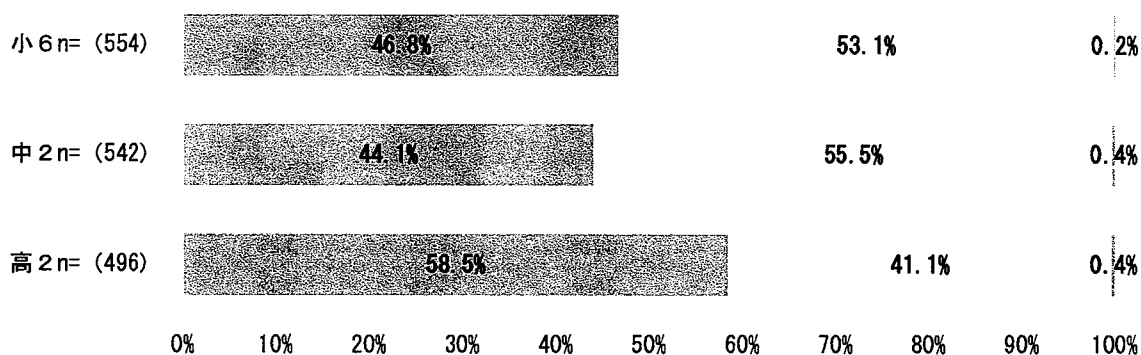
1 回答者属性

(1) 回答者（児童・生徒）の性別

〈児童・生徒〉Q1. あなたの性別を教えてください。(対象：全回答者)

性別（児童・生徒回答）

■男 ■女 ■無回答

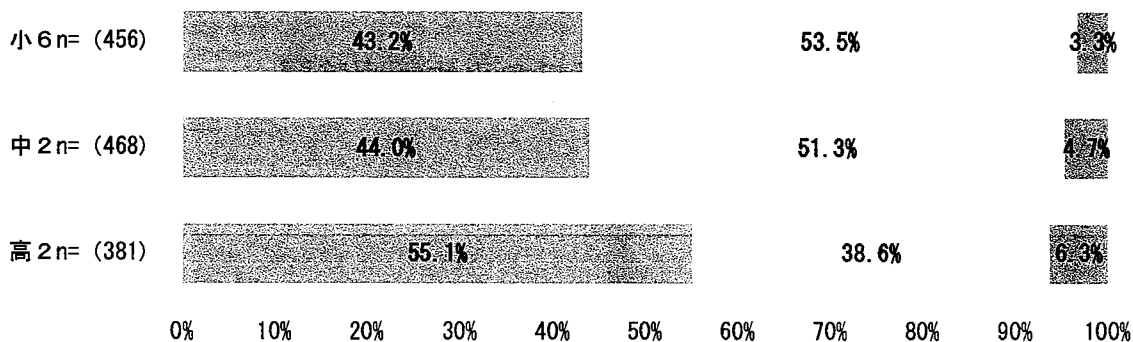


(2) 回答者（保護者）の子どもの性別

〈保護者〉Q2. あなたのお子様の性別を教えてください。(対象：全回答者)

子どもの性別〈保護者回答〉

■男 ■女 ■無回答



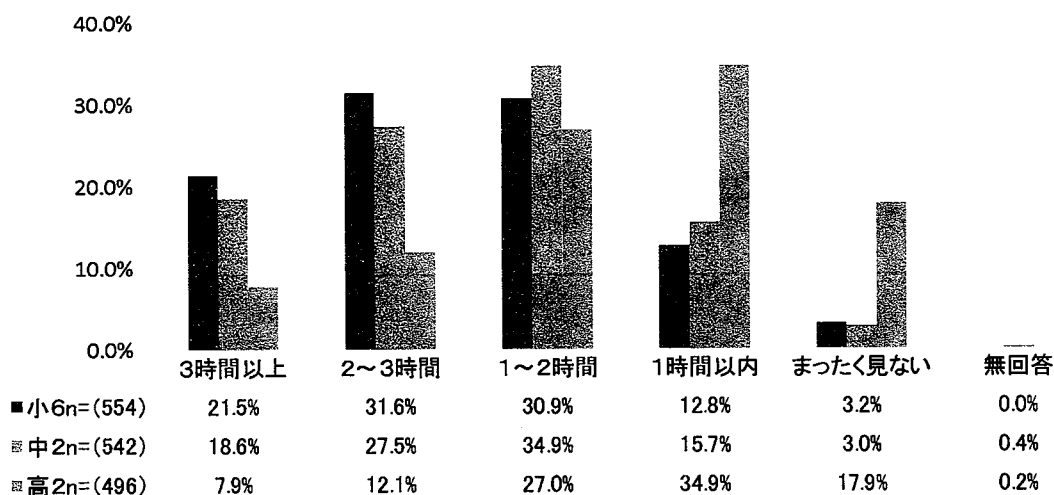
2 児童・生徒の生活習慣

(1) テレビ視聴時間

〈児童・生徒〉Q2. 平日（月曜日から金曜日）に、テレビを1日平均何時間くらい見ますか。

（対象：全回答者）

〈児童・生徒回答〉平日の平均テレビ視聴時間



〈平日のテレビ視聴時間〉

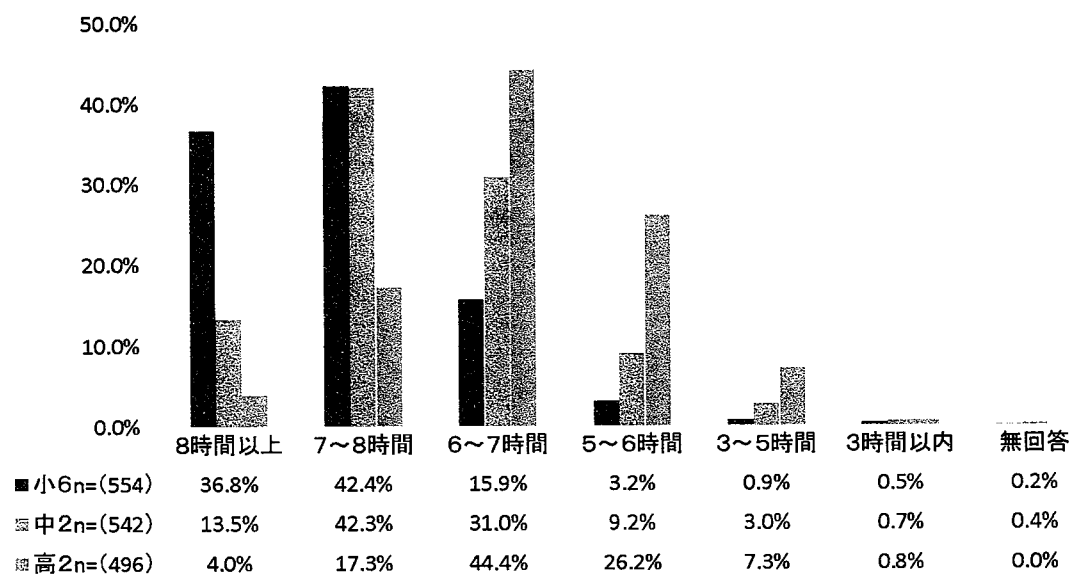
・平日にテレビを2時間以上視聴している児童・生徒は、小6で53.1%、中2で46.1%、高2で20.0%であり、視聴時間が1時間以内の児童・生徒は、小6で16.0%、中2で18.7%、高2で52.8%と、年齢が上がるにしたがってテレビ視聴時間が減少している。

(2) 睡眠時間

〈児童・生徒〉Q3. 平日（月曜日から金曜日）の、睡眠時間は1日平均何時間くらいですか。

（対象：全回答者）

〈児童・生徒回答〉平日の平均睡眠時間



3 電子メディア機器の利用状況

(1) 電子メディア機器の所持率

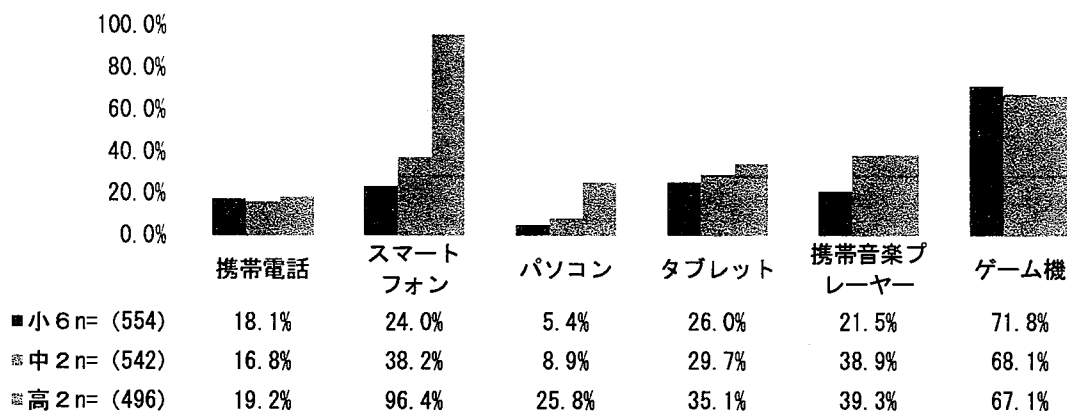
〈児童・生徒〉Q8. あなたは以下の自分専用の電子メディア機器を持っていますか。

(対象：全回答者)

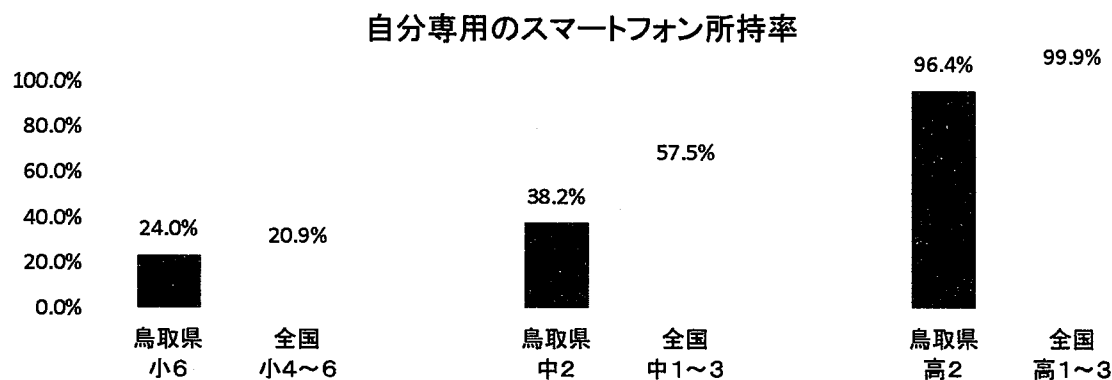
※調査対象機器：携帯電話、スマートフォン、パソコン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ゲーム機の6種。以下同様。

※自分専用ではなく、家族（保護者や兄弟姉妹など）が持っている機器を借りて使用している場合は含まない。

〈児童・生徒回答〉自分専用の電子メディア機器の所持率



【参考】スマートフォン所持率 全国（鳥取県教委試算※）との比較



※全国の数値は、「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」（内閣府）におけるインターネットを使用している児童・生徒が自分専用のスマートフォン（格安スマホ・機能限定スマホ・子ども向けスマホ・契約期間が切れたスマホ含む）を所持している割合から全児童・生徒の所持の割合を鳥取県教育委員会試算しており、一定の誤差がある可能性が高い。また、全国の数値は、小学4年生から6年生の平均値、中学1年生から3年生の平均値、高校1年生から3年生の平均値であり、対象年齢が異なっているため、単純比較はできない。

〈電子メディア機器の所持状況〉

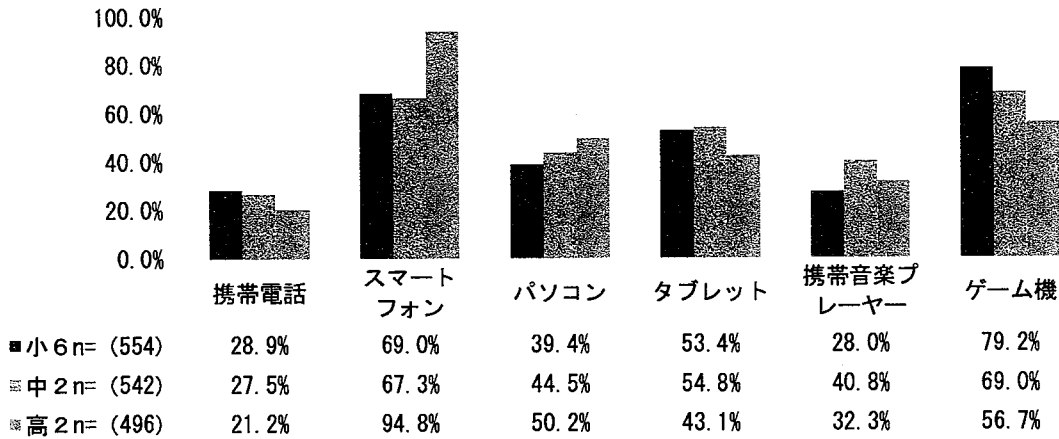
- ・今回初めて調査した項目で、高2のスマートフォン所持率が96.4%であった。それ以外では、全ての学校種においてゲーム機の所持率が7割前後であり、多くの子どもがゲーム機を所持していることがわかる。
- ・各学校種の所持率が高い順は、
 小6「ゲーム機」「タブレット」「スマートフォン」
 中2「ゲーム機」「携帯音楽プレーヤー」「スマートフォン」
 高2「スマートフォン」「ゲーム機」「携帯音楽プレーヤー」であった。

(2) 電子メディア機器の利用状況

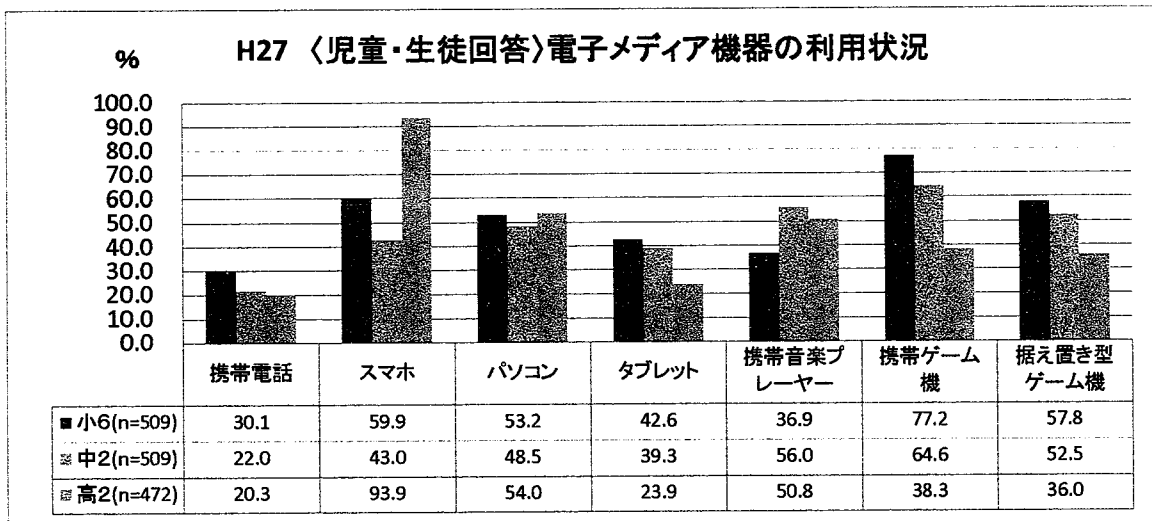
〈児童・生徒〉Q9. あなたは以下の電子メディア機器を利用していますか。(対象：全回答者)

※Q8の自分専用の機器以外で、家族が持っている機器を借りて利用する場合も含む

〈児童・生徒回答〉電子メディア機器の利用状況



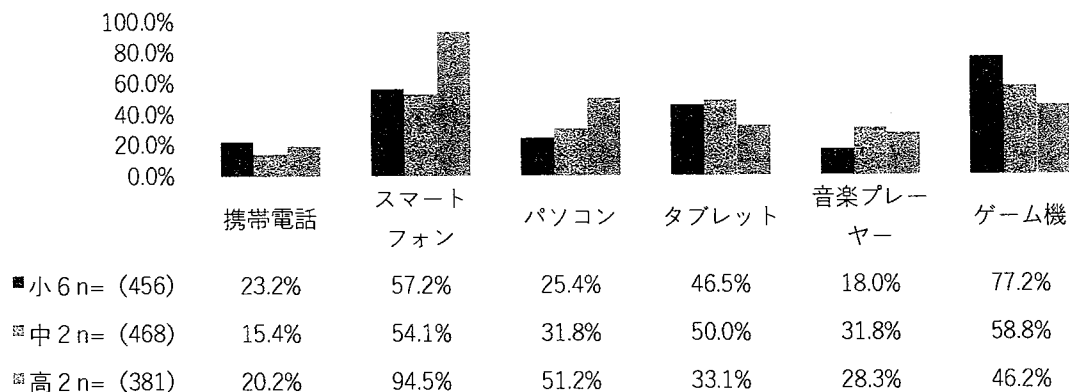
【参考】平成27年度調査



〈保護者〉Q3. あなたのお子様は、以下の「電子メディア機器」を利用していますか。

(対象：全回答者)

〈保護者回答〉子どものメディア利用状況



〈電子メディア機器の利用状況〉

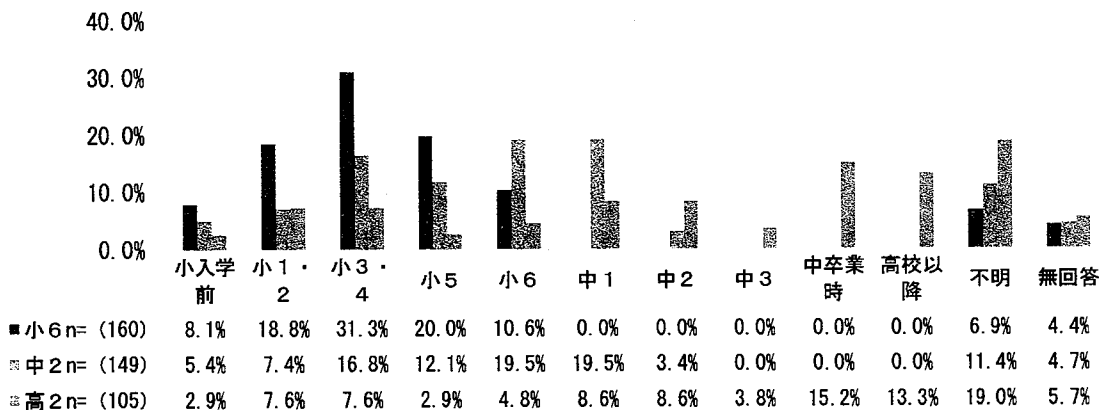
- ・スマートフォンの利用について所持状況（Q8）との比較を行うと、
小6：所持率24.0% → 利用率69.0%（45.0ポイント多）
中2：所持率38.2% → 利用率67.3%（29.1ポイント多）
- ・各学校種ごとに利用率が高い順は、
小6「ゲーム機」「スマートフォン」「タブレット」
中2「ゲーム機」「スマートフォン」「タブレット」
高2「スマートフォン」「ゲーム機」「パソコン」であった。
- ・前回調査（H27）と比較すると、スマートフォンの利用は高2では差がみられないが、小6で9.1ポイント増、中2で24.3ポイント増となり、タブレットの利用は小6で10.8ポイント増、中2で15.5ポイント増、高2で19.2ポイント増となった。

(3) 電子メディア機器の利用開始時期

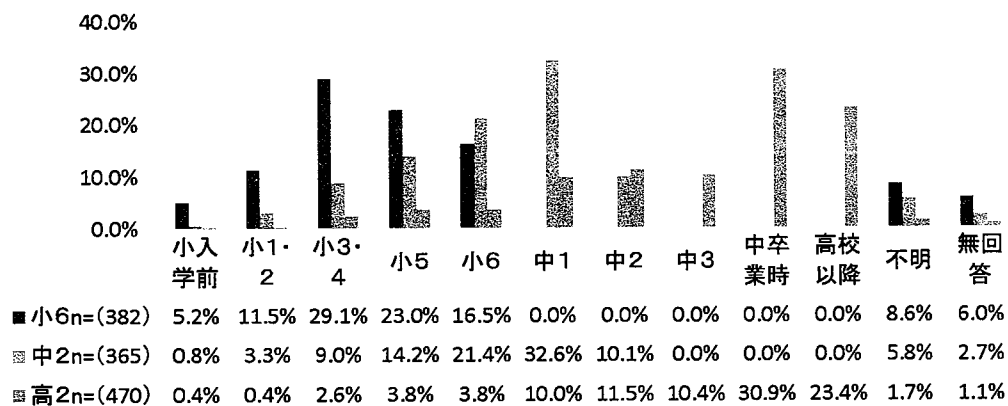
〈児童・生徒〉Q10. あなたが以下の機器を利用し始めたのはいつですか。

(対象：それぞれの機器を利用している児童・生徒)

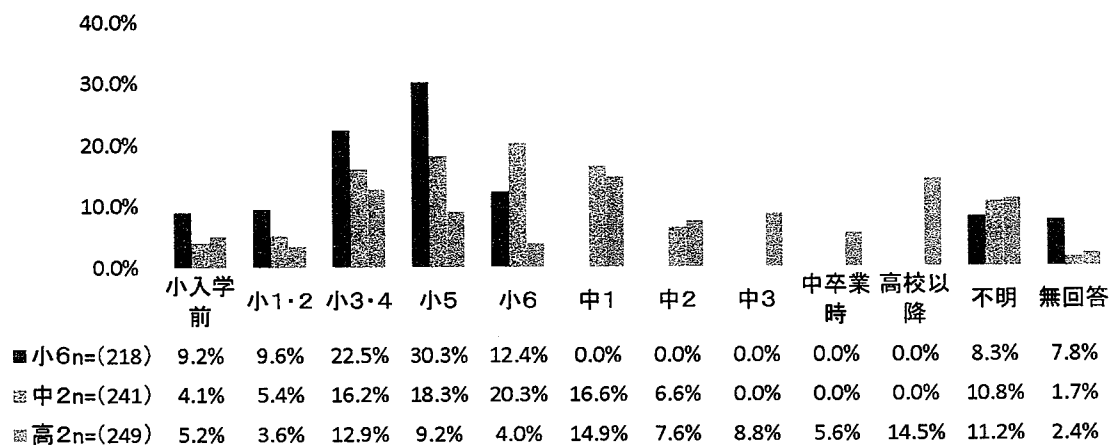
〈児童・生徒回答〉メディア機器の利用開始時期(携帯電話)



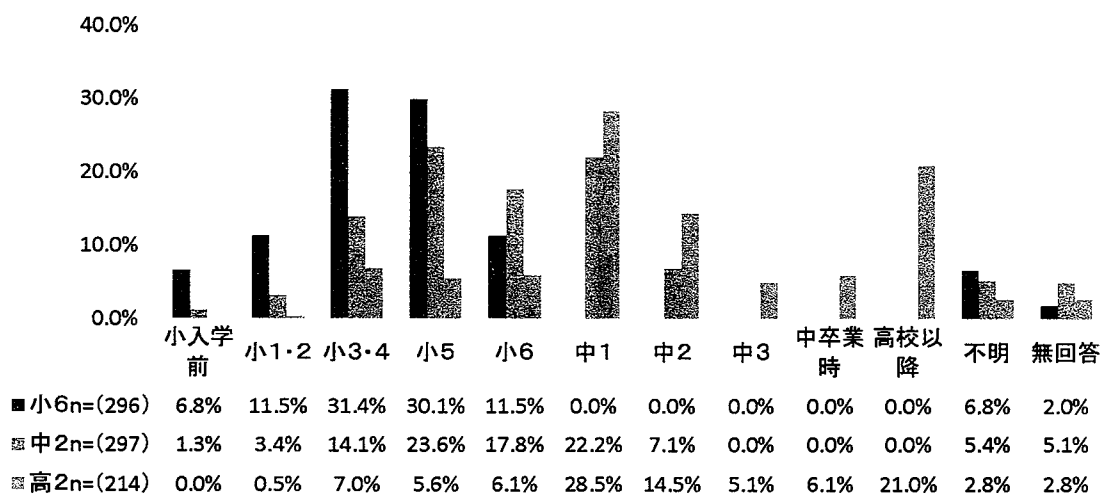
〈児童・生徒回答〉メディア機器の利用開始時期(スマートフォン)



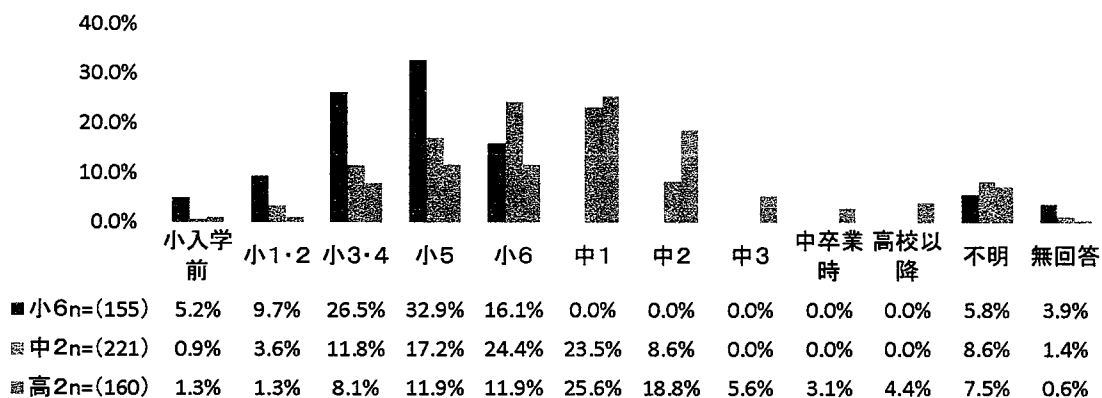
〈児童・生徒回答〉メディア機器の利用開始時期(パソコン)



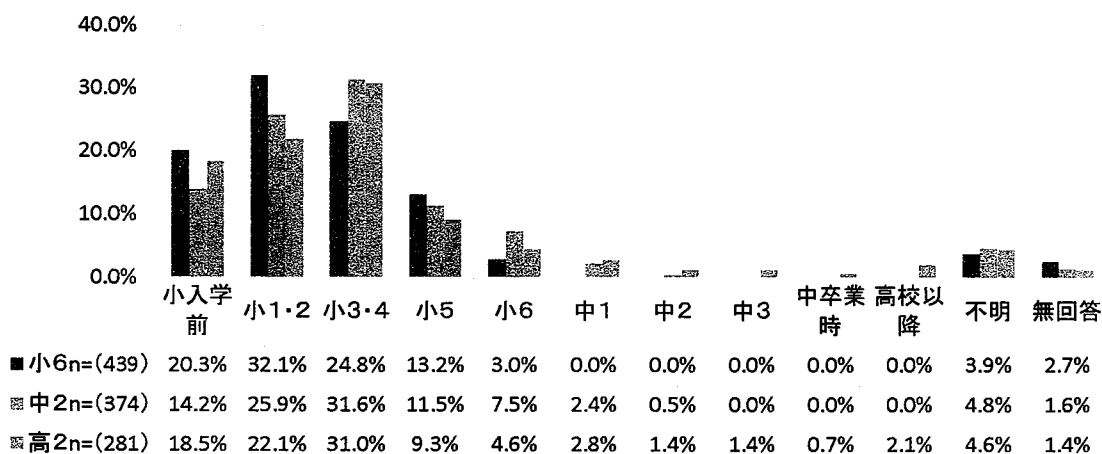
〈児童・生徒回答〉メディア機器の利用開始時期(タブレット)



〈児童・生徒回答〉メディア機器の利用開始時期
(携帯音楽プレーヤー)

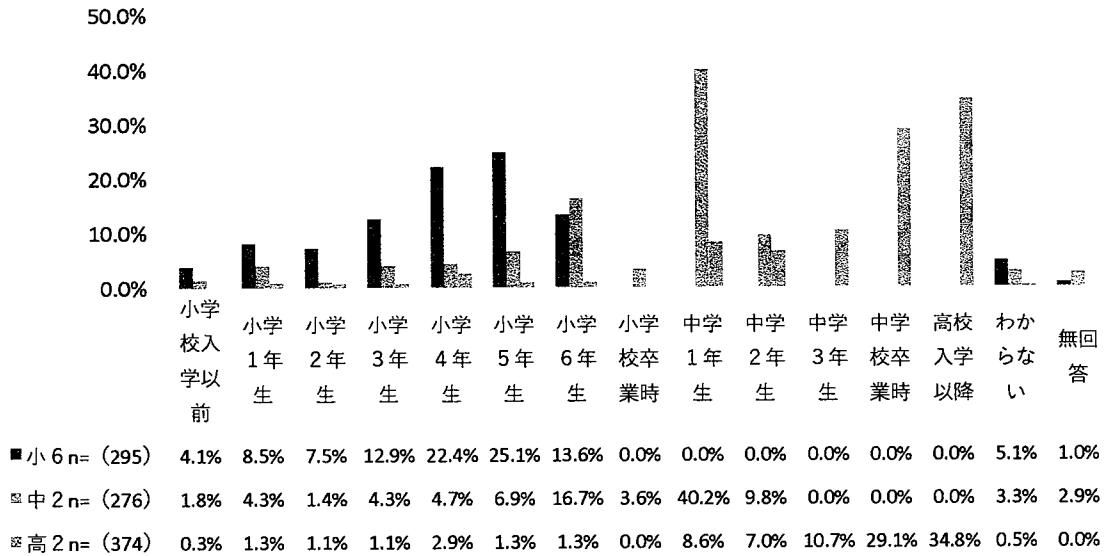


〈児童・生徒回答〉メディア機器の利用開始時間(ゲーム機)



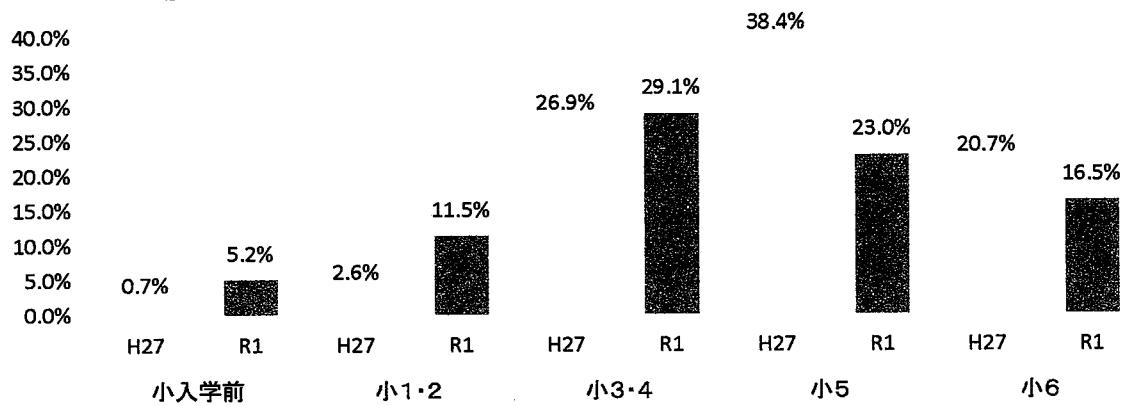
〈保護者〉Q7. あなたのお子様が、スマートフォン（または携帯電話）を利用し始めたのはいつですか。（両方利用している場合は、どちらか早く利用した時期を回答）
 （対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していると回答した保護者）

〈保護者回答〉メディア機器の利用開始時期（スマホまたは携帯）

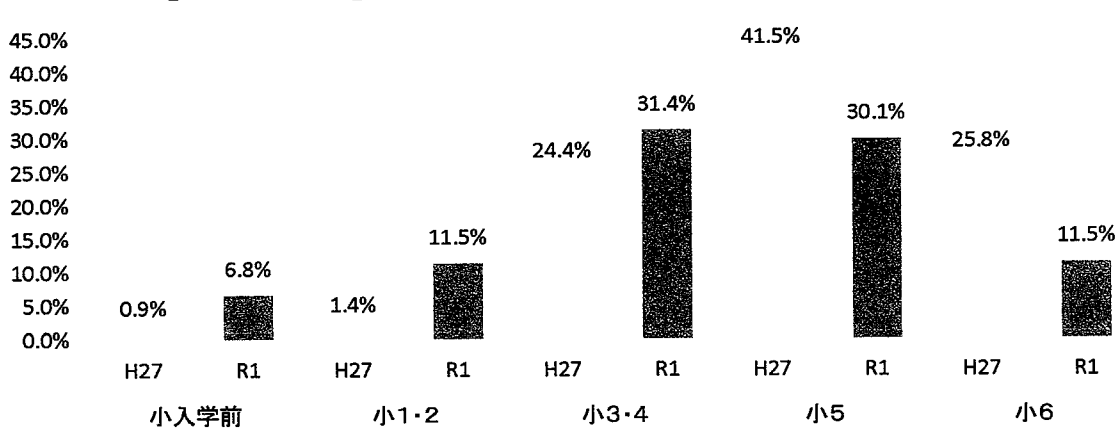


【参考】

【H27との比較】 〈小6児童回答〉スマートフォンの利用開始時期



【H27との比較】 〈小6児童回答〉タブレットの利用開始時期



〈電子メディア機器の利用開始時期〉

- ・平成27年度調査と比較し、小6ではスマートフォンとタブレットの利用開始時期の低年齢化が進んでおり、より早い時期（妊娠期・乳幼児期）から、電子メディア機器との付き合い方について啓発していくことが重要。

小6のスマートフォン利用者（利用率 H27：59.9%、R1：69.0%）のうち、利用開始時期が小学校入学前または小学校1・2年生と答えた割合

	平成27年度	令和元年度	差
スマートフォン	3.3%	16.7%	13.4ポイント増
タブレット	2.3%	18.3%	16.0ポイント増

- ・ゲーム機の利用者（小6：79.2%、中2：69.0%、高2：56.7%）について、全ての学校種において小学校3・4年生までに7割以上が利用を開始している。
スマートフォンやタブレットと同じく、早い時期からの啓発が必要である。特に、保護者のゲームソフトのレーティングマーク（※）の認知について、中2・高2で改善したものの全体として「知っている」という回答が1割前後であるため、引き続き保護者研修会等を通して啓発していくことが必要。

※レーティングマーク：子どもたちが安全に利用することができるように、ゲームソフトに年齢区分を表示し、含まれる表現内容の対象年齢がわかるようにしたもの。

〈保護者調査Q25、未就学児保護者調査Q22から一部抜粋（p54掲載）〉

レーティングマークを「知っている」と答えた割合

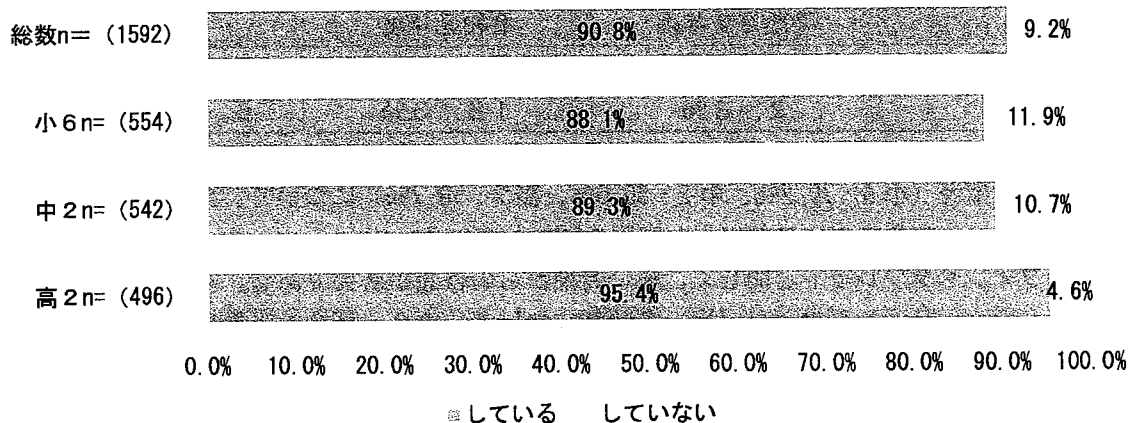
	平成27年度	令和元年度	差
未就学児保護者	6.9%	6.8%	0.1ポイント減
小6保護者	12.4%	9.9%	2.5ポイント減
中2保護者	5.1%	12.2%	7.1ポイント増
高2保護者	5.4%	8.7%	3.3ポイント増

(4) 電子メディア機器でのインターネット利用状況

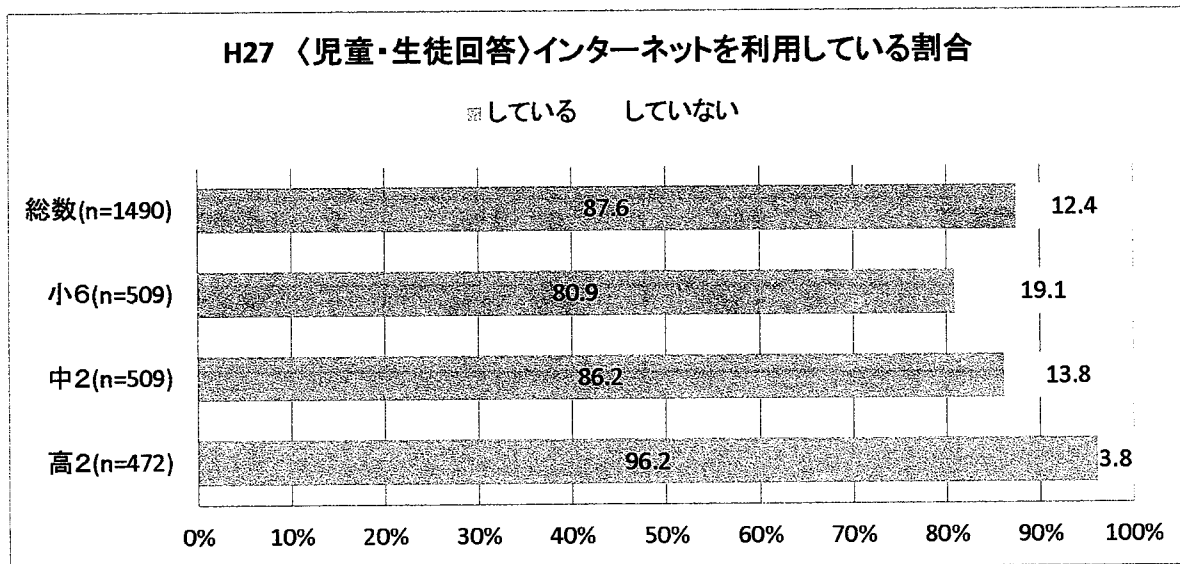
○何らかの機器でインターネットを「利用している」と答えた割合

(対象：全回答者)

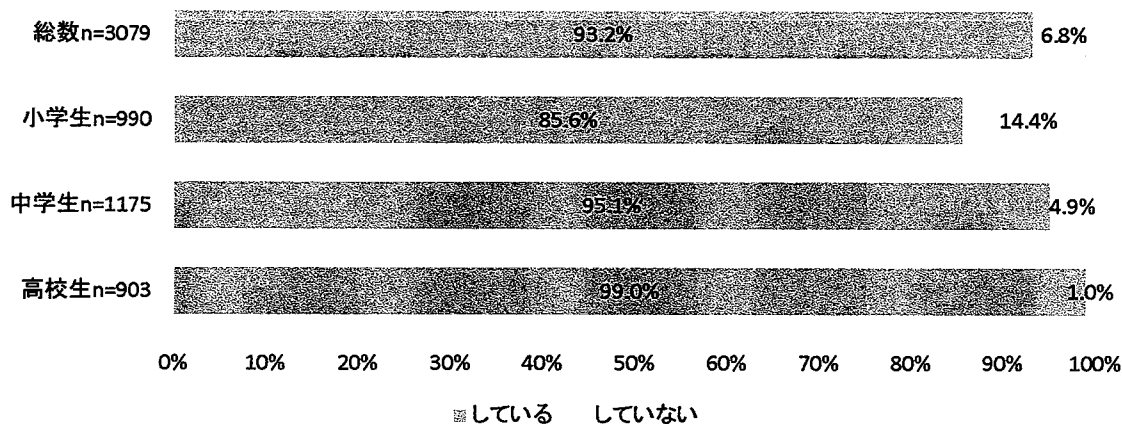
<児童・生徒回答>インターネットを利用している割合



【参考】



【参考】 〈全国調査〉 インターネットを利用している割合



出典 「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(内閣府)

※全国調査の数値は、小学校4年生から6年生の平均値、中学1年生から3年生の平均値、高校1年生から3年生の平均値となっており、県の調査と対象が異なる。

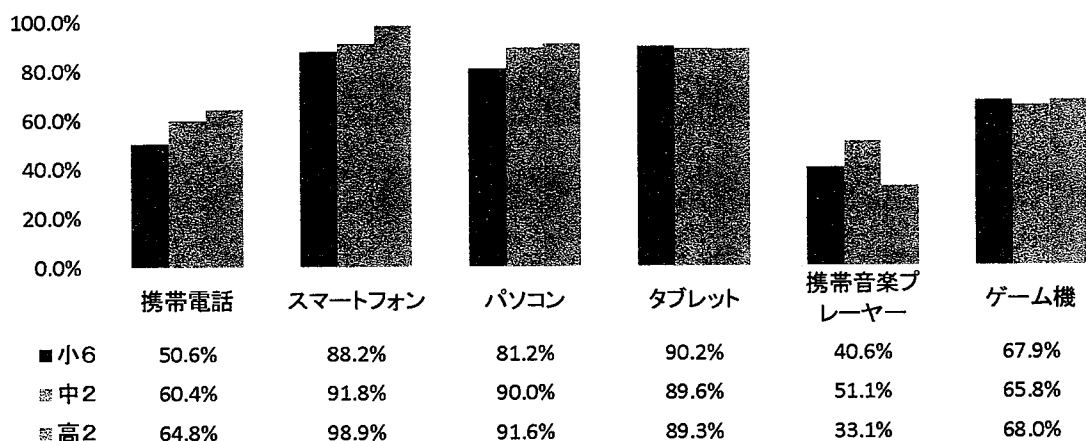
〈電子メディア機器でのインターネット利用〉

- ・インターネットの利用率は、H27調査に比べ、小6で7.2ポイント(H27:80.9% → R1:88.1%)、中2で3.1ポイント(H27:86.2% → R1:89.3%)増加している。
- ・中2については全国平均(中1~3)より5.8ポイント、高2については全国平均(高1~3)より3.6ポイント低い利用率となっている。小6では全国平均(小4~6)より高いが調査対象学年が異なるため、単純比較できない。

〈児童・生徒〉Q 1 1. あなたは以下の機器でインターネットを利用していますか。
 (対象：それぞれの機器を利用していると回答した児童・生徒)

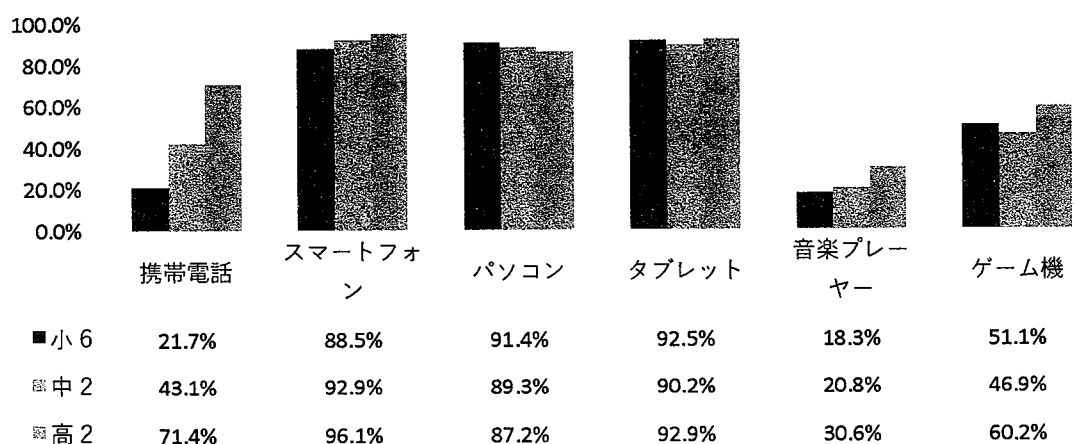
○機器別の集計結果

〈児童・生徒回答〉インターネット利用機器



〈保護者〉Q 4. あなたのお子様はそれらの機器でインターネットを利用していますか。
 (対象：それぞれの機器を子どもが利用していると回答した保護者)

〈保護者回答〉子どものインターネット利用機器



〈電子メディア機器でのインターネット利用〉

- ・スマートフォン、パソコン、タブレットについては、児童・生徒と保護者の回答に大きな差はみられない。
- ・携帯音楽プレーヤーとゲーム機について、小6・中2の児童・生徒と保護者の回答に大きな差がみられる。保護者が機器によるインターネット利用状況を認識していないケースがあると考えられる。
- ・携帯電話についても、児童・生徒、保護者に差がみられるが、児童・生徒が携帯電話とスマートフォンの違いを正しく理解できていないことからくる差の可能性が高い。
 (p 14 電子メディア機器の利用内容「〈児童・生徒回答〉インターネットの利用(携帯電話)」では、携帯電話では利用できない機能(LINE、Twitter等)を選択している児童・生徒が多い。)

(5) インターネットの利用内容

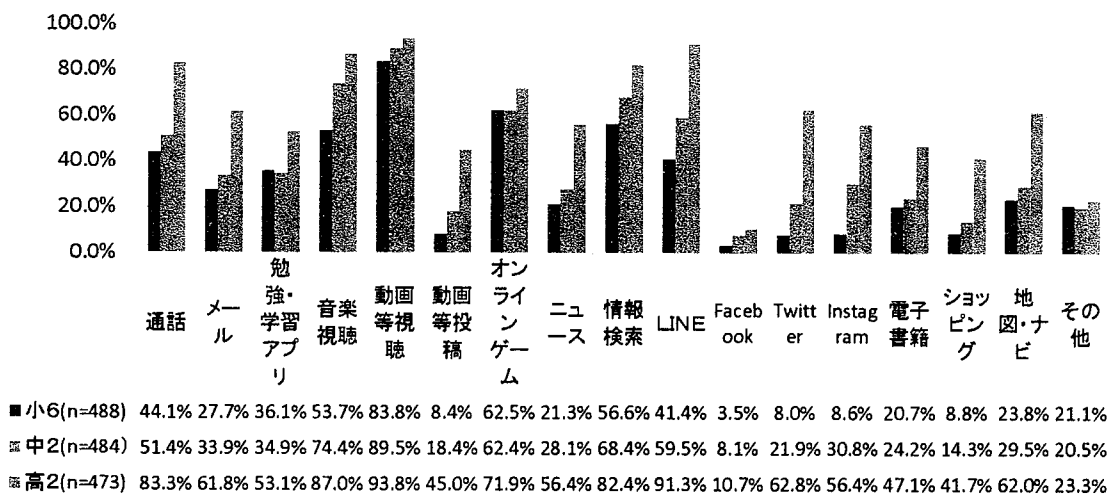
〈児童・生徒〉Q12. あなたは、インターネットを利用して何をしていますか。

(あてはまるものすべてを選択)

(対象：インターネットを利用していると回答した児童・生徒)

○携帯電話・スマートフォン・パソコン・タブレット・携帯音楽プレーヤー・ゲーム機のいずれかの機器でインターネットを利用している内容

〈児童・生徒回答〉いずれかの機器でインターネットを利用している内容

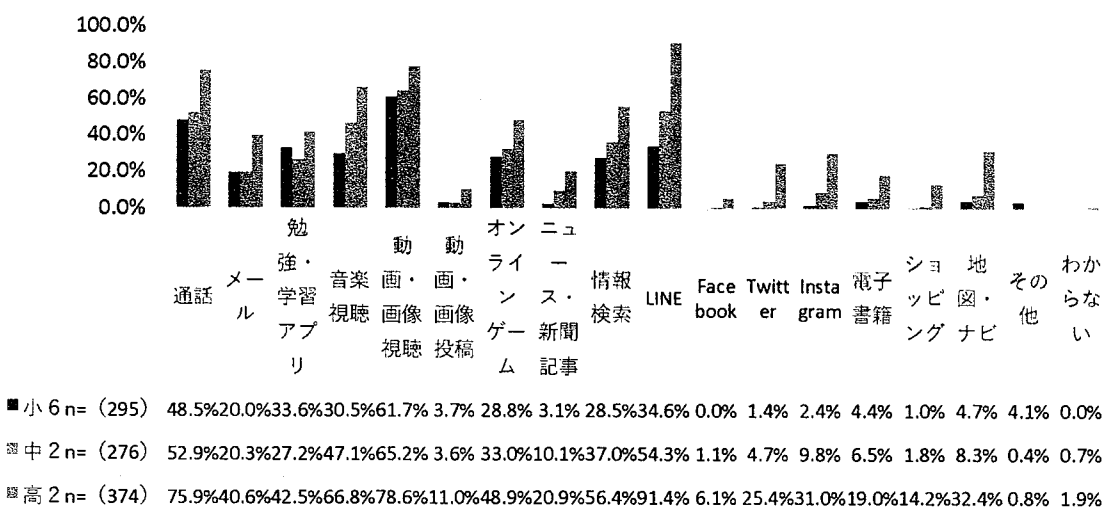


〈保護者〉Q9. あなたのお子様は、スマートフォン（または携帯電話）を何に利用していますか。

(あてはまるものすべてを選択)

(対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していると回答した保護者)

〈保護者回答〉スマホ（または携帯）の利用目的

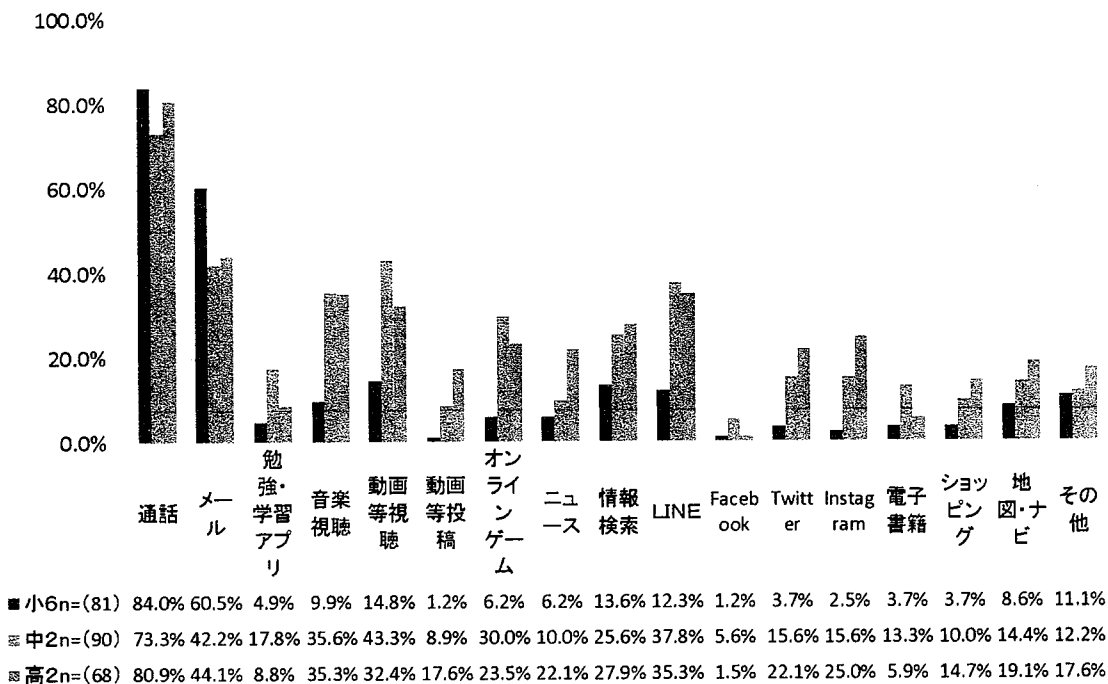


〈インターネットの利用内容〉

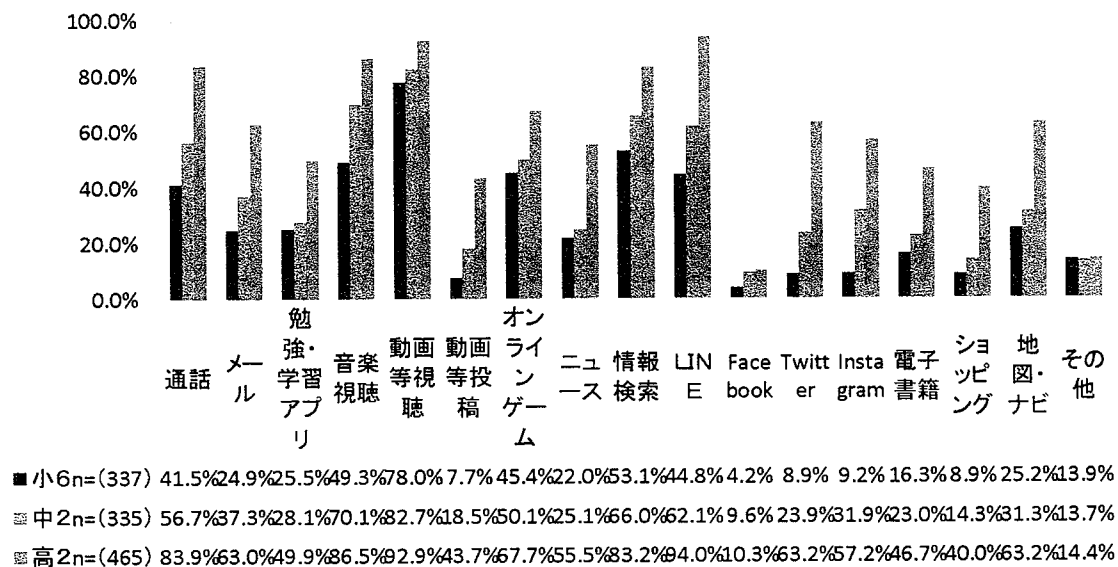
- ・ Twitter や Instagram は高校生で利用割合が急増している。
- ・ 児童・生徒の回答から、どの学校種においても、動画視聴の割合が一番高い。
- ・ 音楽視聴、オンラインゲーム、情報検索、LINE も多く利用されている。
- ・ 小6でインターネットを使用している児童（全体の88.1%）のうち、62.5%がオンラインゲームを、41.4%がLINEを利用しており、小6全児童（554人）でみると、約2.7人に1人（36.5%）がLINEを利用していることになる。

○機器ごとの利用内容

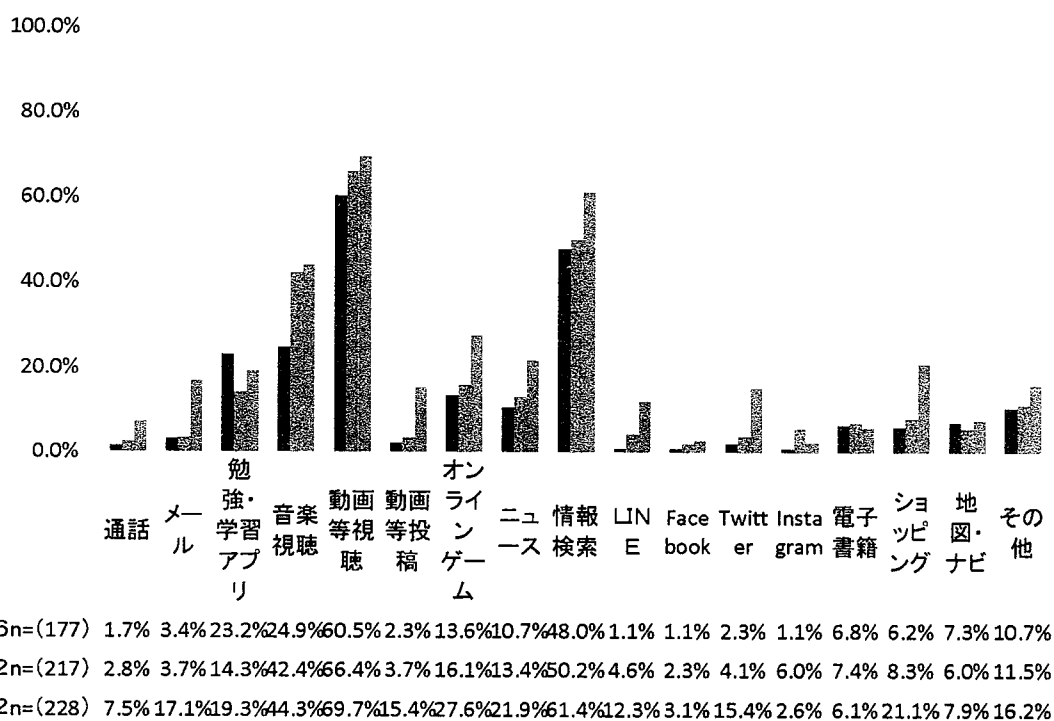
〈児童・生徒回答〉インターネットの利用(携帯電話)



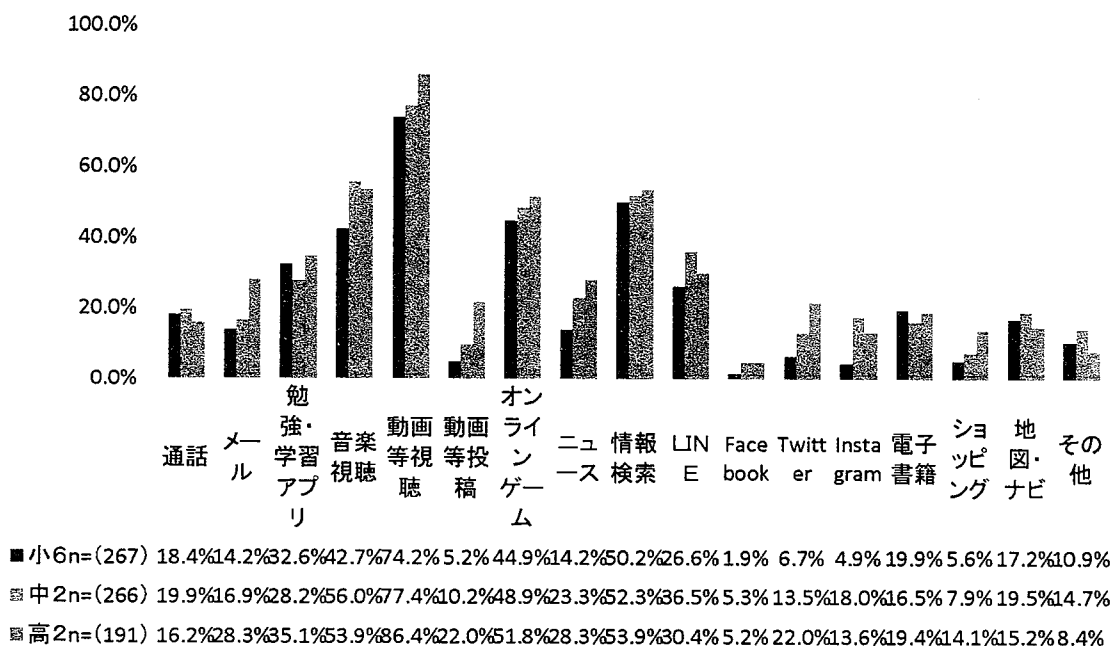
〈児童・生徒回答〉インターネットの利用(スマートフォン)



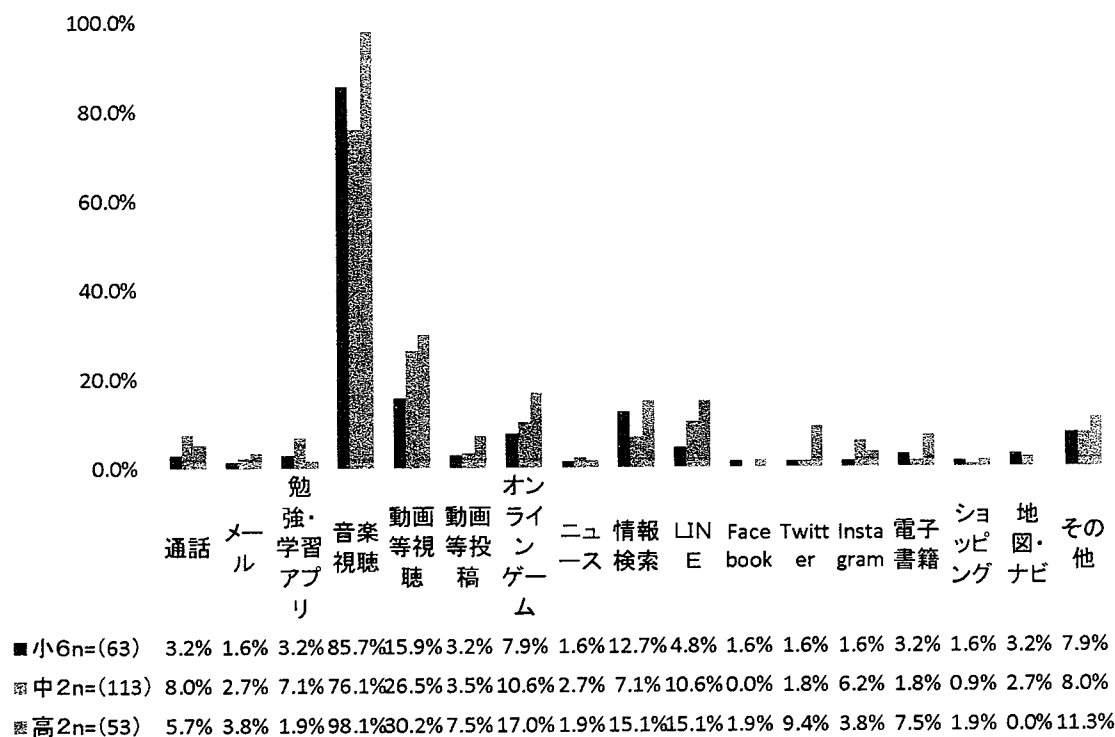
〈児童・生徒回答〉インターネットの利用(パソコン)



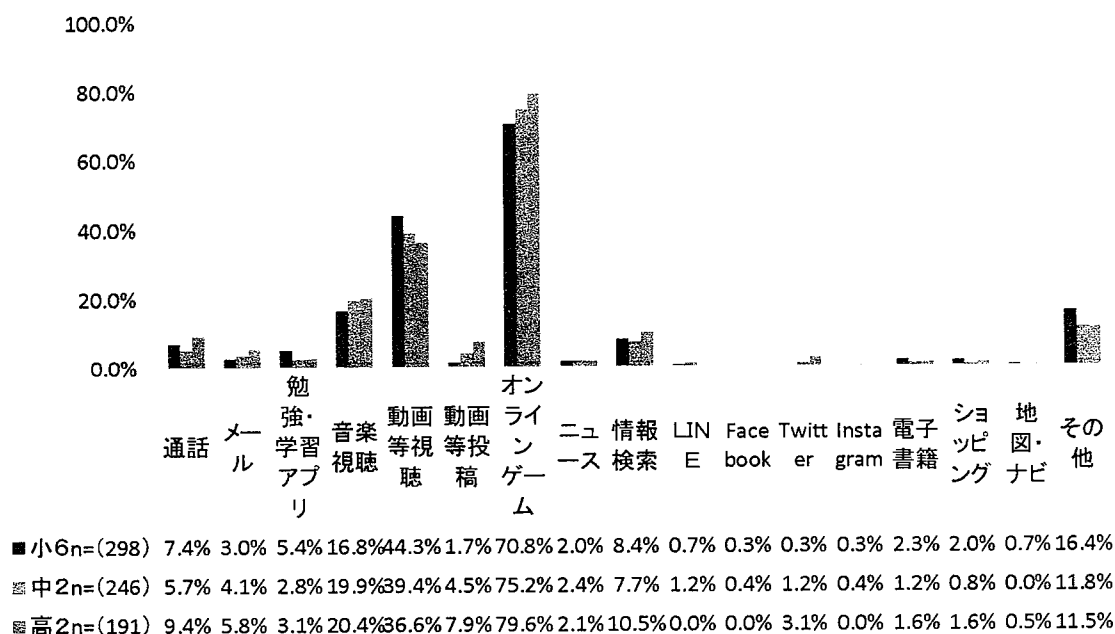
〈児童・生徒回答〉インターネットの利用(タブレット)



〈児童・生徒回答〉インターネットの利用(携帯音楽プレーヤー)



〈児童・生徒回答〉インターネットの利用(ゲーム機)



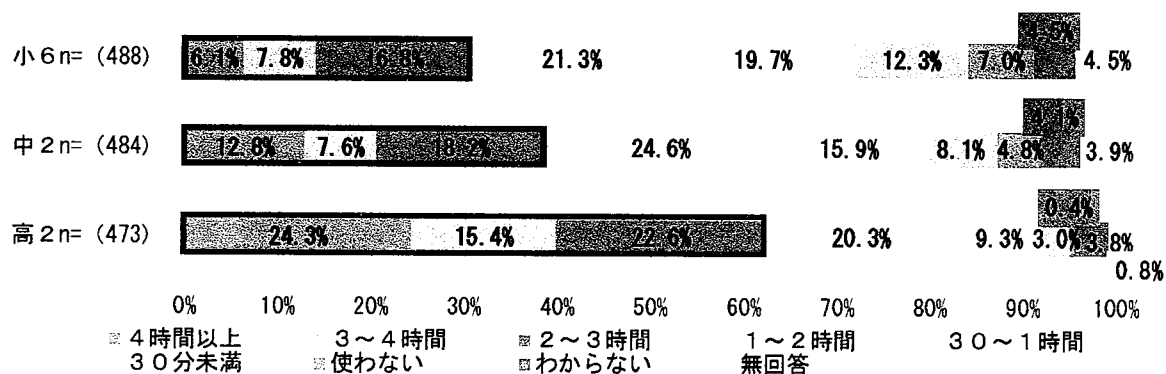
〈電子メディア機器別の利用内容〉

・スマートフォンでは、動画・音楽視聴、LINE、情報検索での利用が多く、パソコンでは動画視聴、情報検索、タブレットでは動画視聴が多い。

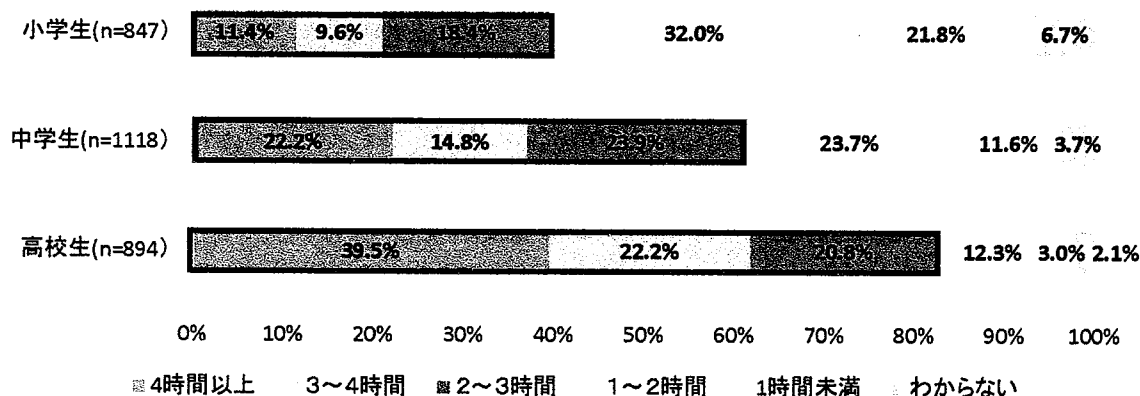
(6) インターネットの利用時間

〈児童・生徒〉 Q13. 平日（月曜日から金曜日）の、1日平均のインターネットの利用時間は全部でどのくらいですか。（対象者：インターネットを利用している児童・生徒）

〈児童・生徒回答〉 平日のインターネット利用時間（全体）



【参考】 〈全国調査〉インターネットの利用時間



出典 「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」（内閣府）

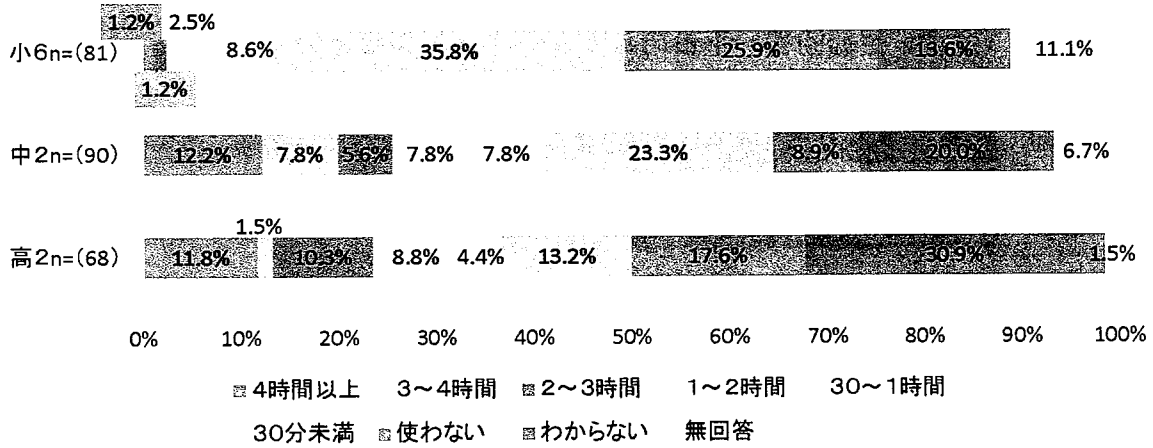
※全国調査の数値は、小学校4年生から6年生の平均値、中学1年生から3年生の平均値、高校1年生から3年生の平均値となっており、県の調査と対象が異なる。

〈平日の電子メディア機器の利用時間〉

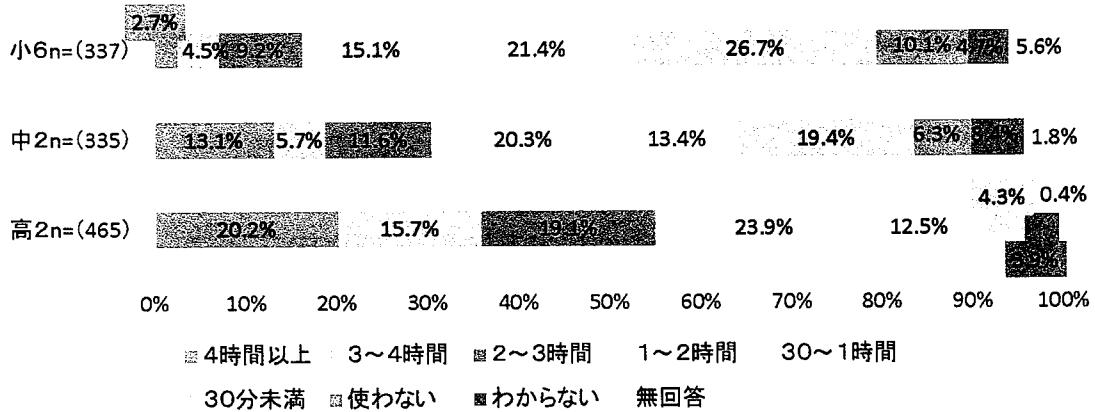
- ・インターネットを利用している児童・生徒のうち、平日2時間以上利用している割合は、小6で30.7%、中2で38.6%、高2で62.3%であり、学校種があがるほど長時間利用となる傾向がみられる。
- ・インターネットを利用していない児童・生徒も含めると、小6全体(554人)の27.1%、中2全体(542人)の34.5%、高2全体(496人)の59.5%が平日2時間以上利用している。
- ・高2では、インターネットを利用している生徒のおよそ4分の1(24.3%)が平日4時間以上利用している。高2全体(496人)でみると、23.2%がインターネットを4時間以上利用している。
- ・全国と比較すると、全校種でインターネットを利用している児童・生徒の平日2時間以上利用の割合は少ない。(全国 小4~6:39.4%、中1~3:61.0%、高1~3:82.6%)

○機器別の利用時間

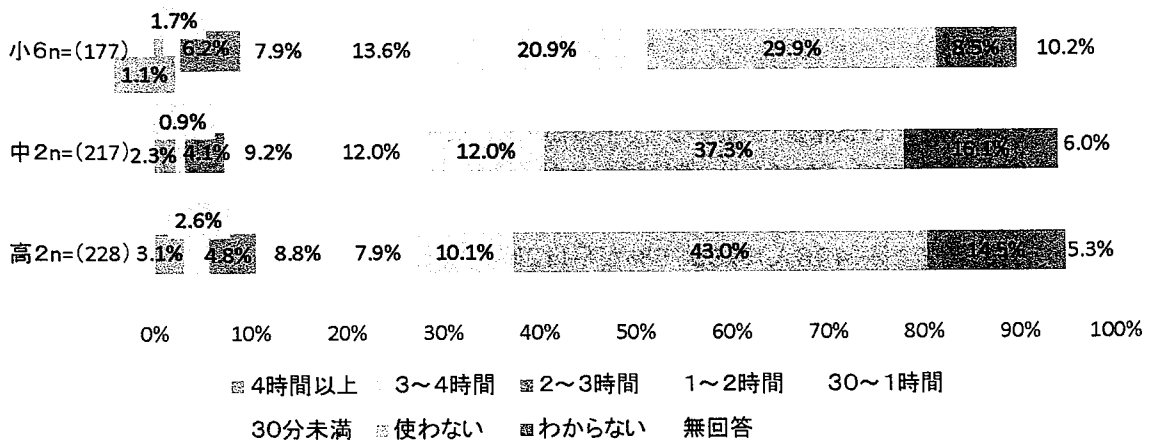
〈児童・生徒回答〉平日のインターネット利用時間(携帯電話)



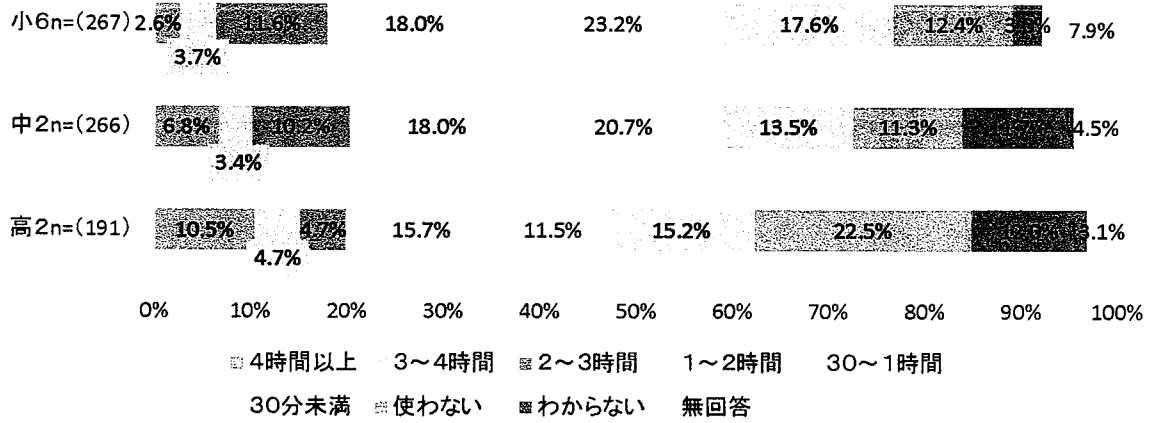
〈児童・生徒回答〉平日のインターネット利用時間
(スマートフォン)



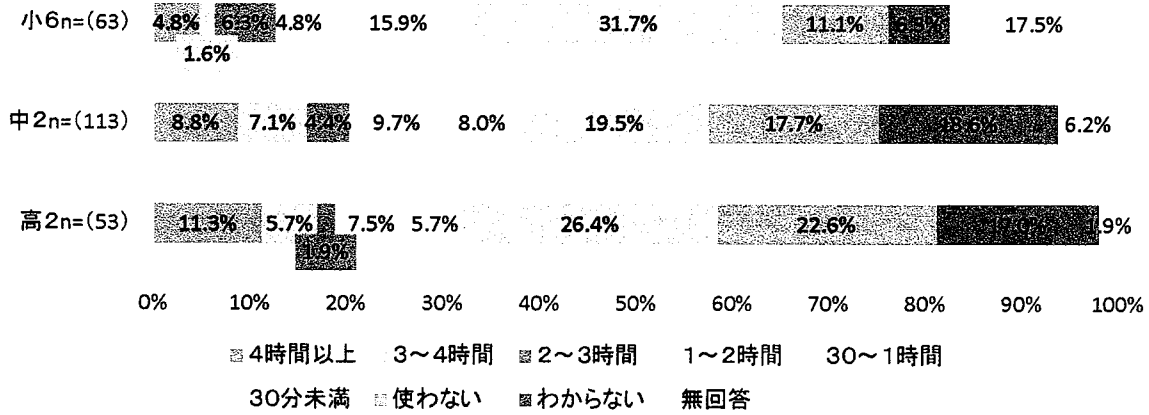
〈児童・生徒回答〉平日のインターネット利用時間(パソコン)



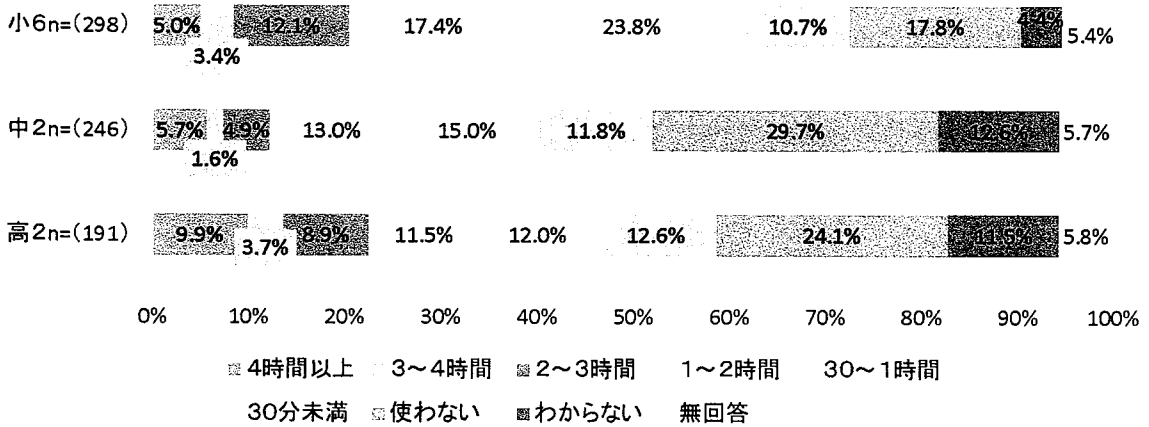
〈児童・生徒回答〉平日のインターネット利用時間(タブレット)



〈児童・生徒回答〉平日のインターネット利用時間(携帯音楽プレーヤー)



〈児童・生徒回答〉平日のインターネットの利用時間(ゲーム機)



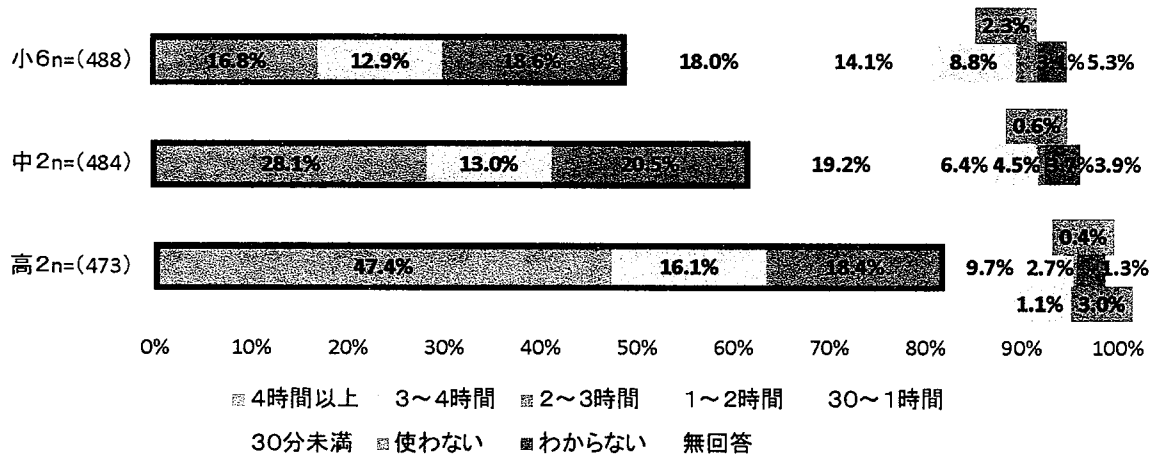
〈平日の電子メディア機器の利用時間（機器別・2時間以上の割合）〉

・インターネット利用者のうち、2時間以上の利用が多い機器は、小6：ゲーム機20.5%、
中2：スマートフォン30.4%、高2：スマートフォン 55.0%であった。

	スマートフォン	タブレット	携帯音楽プレイヤー	ゲーム機
小6	16.4%	17.9%	12.7%	20.5%
中2	30.4%	20.4%	20.3%	12.2%
高2	55.0%	19.9%	18.9%	22.5%

〈児童・生徒〉Q14. 休日（土曜日・日曜日）の、1日平均のインターネットの利用時間は全部でどのくらいですか。（対象者：インターネットを利用している児童・生徒）

〈児童・生徒回答〉休日のインターネット利用時間(全体)

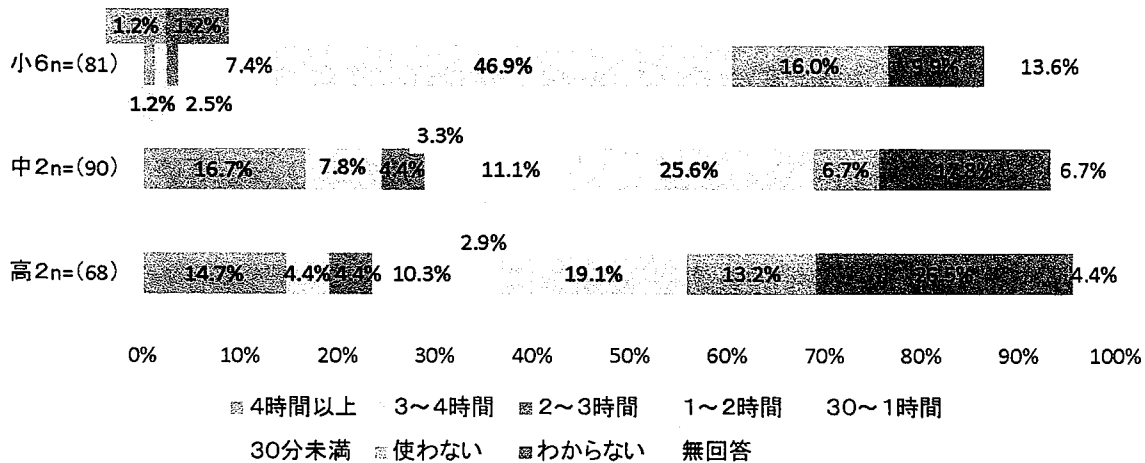


〈休日の電子メディア機器の利用時間〉

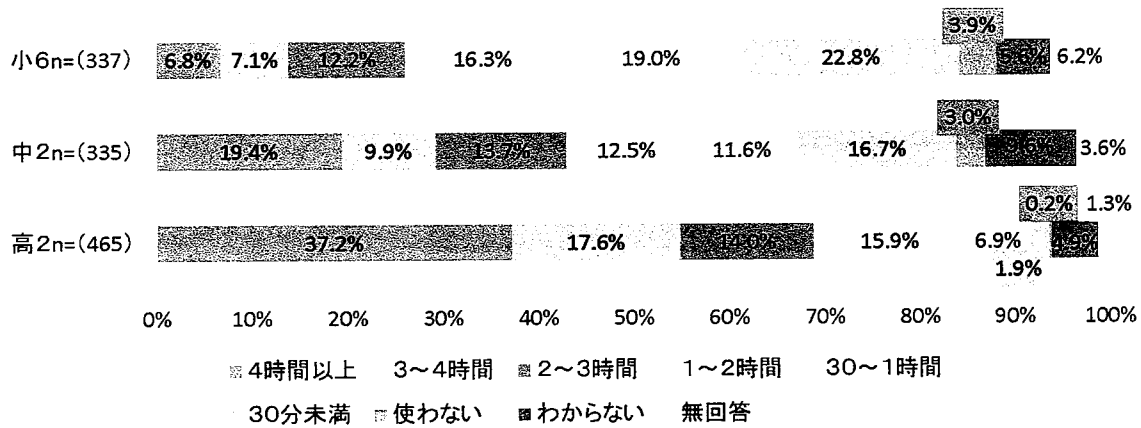
- ・インターネットを利用している児童・生徒のうち2時間以上利用している割合は、小6で48.3%（平日：30.7%）、中2で61.6%（平日：38.6%）、高2で81.9%（平日：62.3%）となった。
- ・インターネットを利用していない児童・生徒も含めると、小6全体（554人）の42.6%、中2全体（542人）の55.0%、高2全体（496人）の78.0%が2時間以上利用している。
- ・どの学校種とも平日より利用時間が大幅に増えており、高2ではインターネット使用者の8割以上が2時間以上、半数近くが4時間以上の利用となっている。

○機器別の利用時間

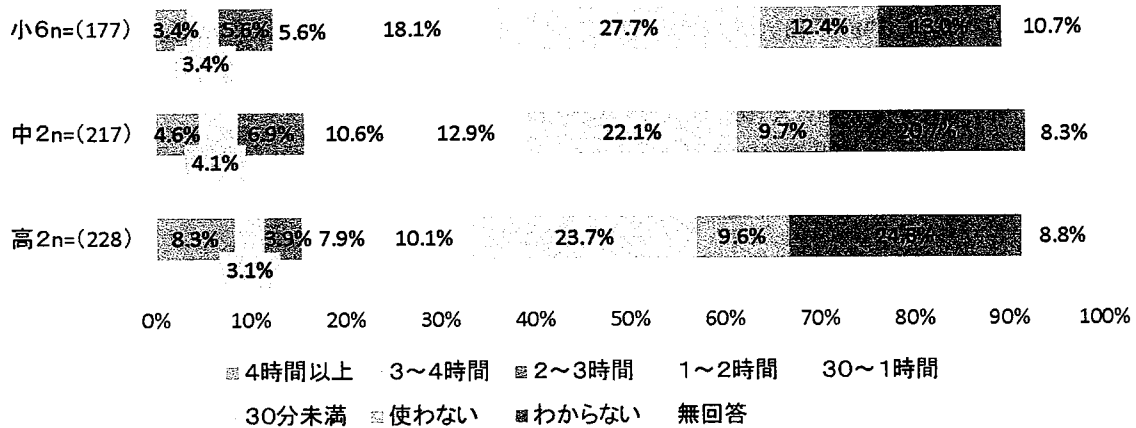
〈児童・生徒回答〉休日のインターネット利用時間(携帯電話)



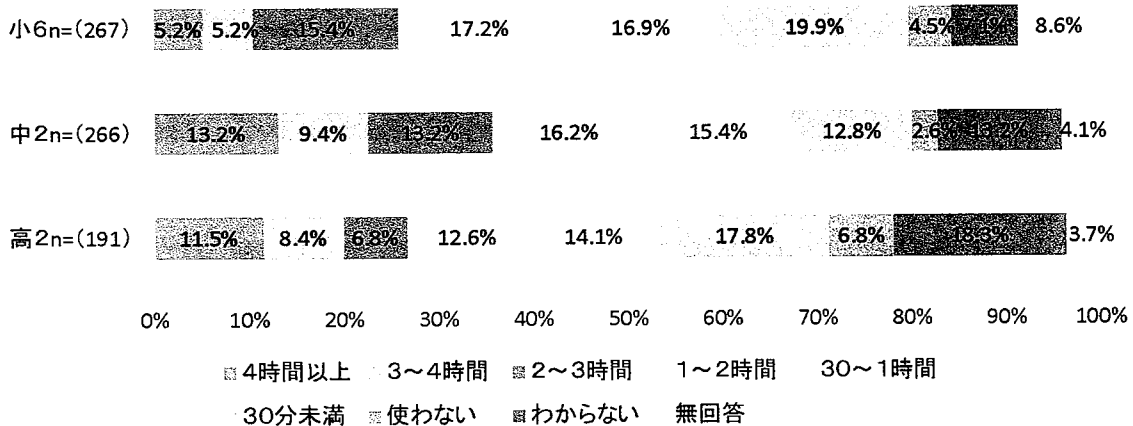
〈児童・生徒回答〉休日のインターネット利用時間
(スマートフォン)



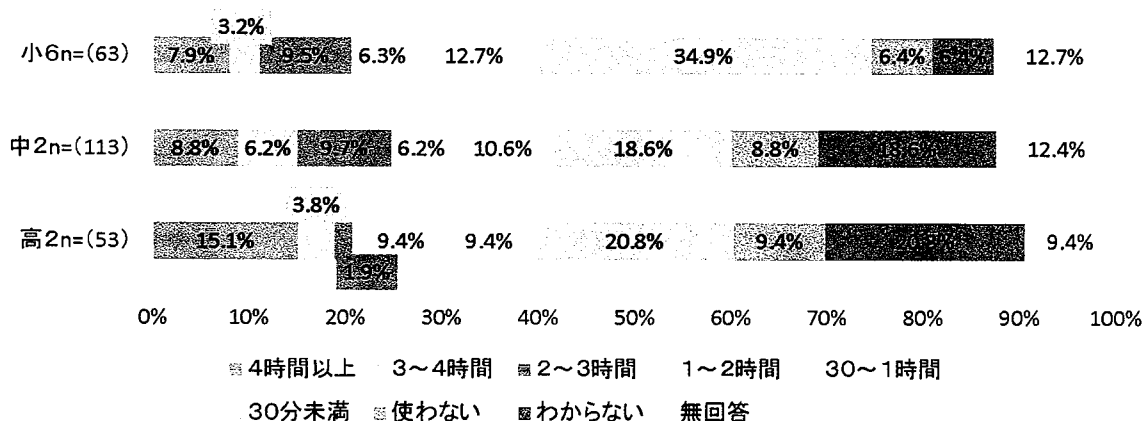
〈児童・生徒回答〉休日のインターネット利用時間(パソコン)



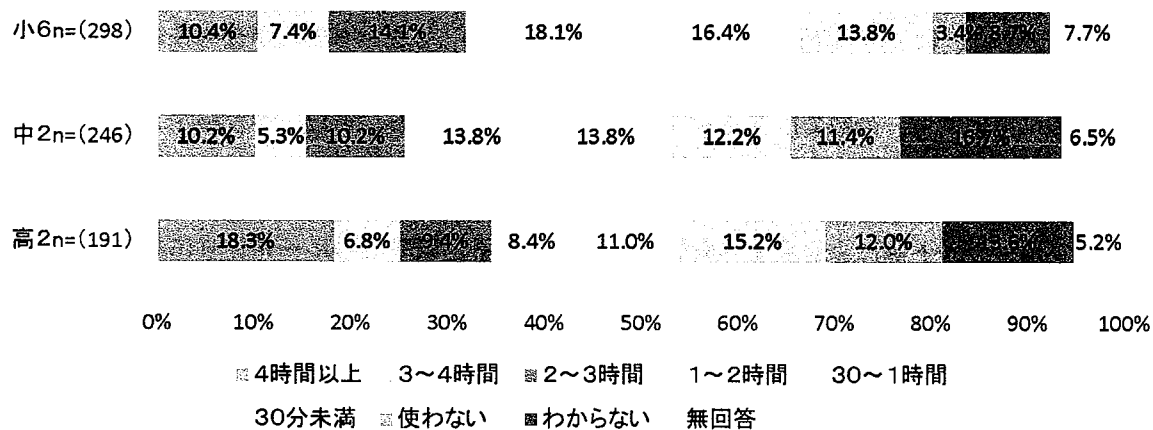
〈児童・生徒回答〉休日のインターネット利用時間(タブレット)



〈児童・生徒回答〉休日のインターネット利用時間
(携帯音楽プレーヤー)



〈児童・生徒回答〉休日のインターネット利用時間(ゲーム機)



〈休日の電子メディア機器の利用時間(機器別・2時間以上の割合)〉

・インターネット利用者のうち、2時間以上の利用が多い機器は、小6：ゲーム機31.9%、中2：スマートフォン43.0% 高2：スマートフォン68.8%であった。

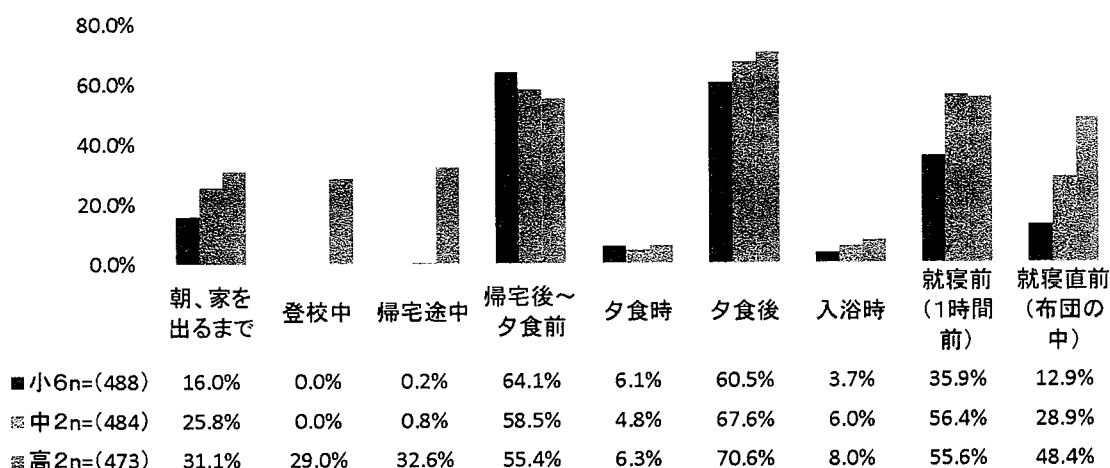
	スマートフォン	タブレット	携帯音楽プレーヤー	ゲーム機
小6	26.1%	25.8%	20.6%	31.9%
中2	43.0%	35.8%	24.7%	25.7%
高2	68.8%	26.7%	20.8%	34.5%

・上表4つの機器全てにおいて、2時間以上利用している割合は、平日より休日の方が増えている。

〈児童・生徒〉Q15. 平日（月曜日から金曜日）に、インターネットをよく利用する時（時間帯）はいつですか。（あてはまるものすべてを選択）

（対象者：インターネットを利用している児童・生徒）

〈児童・生徒回答〉平日のインターネット利用時間帯



〈利用時間帯〉

- ・利用が一番多い時間帯は、小6では帰宅後から夕食前、中2、高2では夕食後であった。
- ・高2においては、約3割（登校中：29.0%、帰宅途中：32.6%）が登下校時にも利用している。
- ・どの校種においても、少数ではあるが夕食時の利用がみられる。また、学校種が上がるにしたがって、就寝直前（布団の中）での利用が増えている。
- ・布団での利用は、保護者の目の届かない場合が多いため利用時間が長くなる一因と考えられ、また、ブルーライト等による睡眠への影響も懸念される。家庭でのルール作りにおいて、食事時間における利用禁止等も含め、利用してもよい「時間帯」や「場所」も加えていくことが求められる。

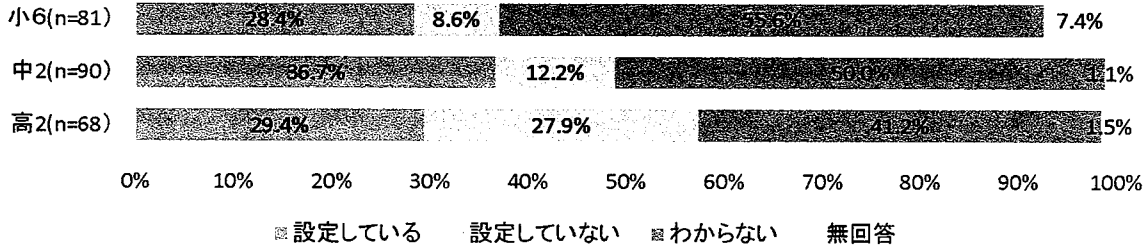
(7) フィルタリングの設定・ウイルス対策

〈児童・生徒〉 Q16. 使っている機器には、フィルタリングが設定してありますか。

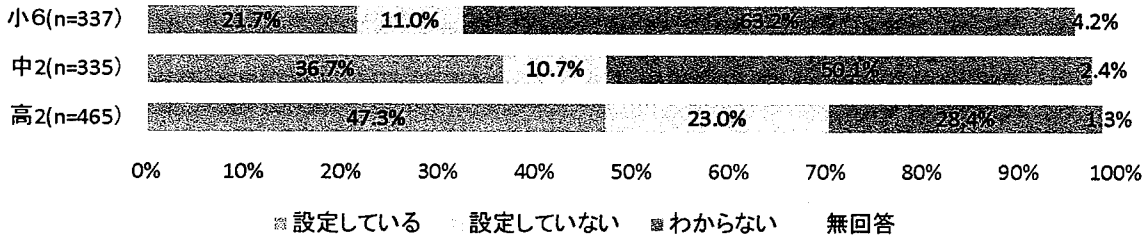
(対象者：インターネットを利用している児童・生徒 (機器ごと))

○機器ごとのフィルタリング設定状況

〈児童・生徒回答〉携帯電話のフィルタリング設定状況



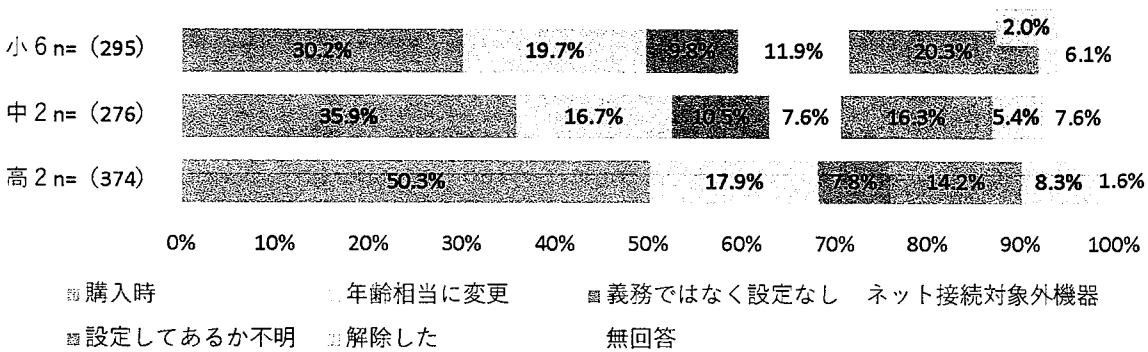
〈児童・生徒回答〉スマートフォンのフィルタリング設定状況



〈保護者〉 Q10. あなたは、お子様の利用するスマートフォン (または携帯電話) に、フィルタリングを設定していますか。

(対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していると回答した保護者)

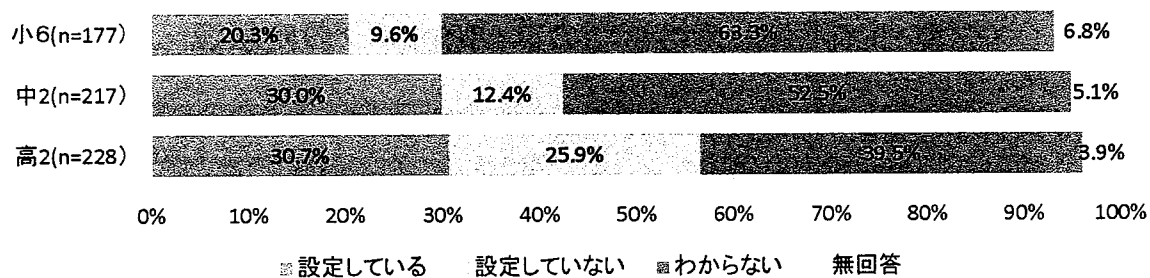
〈保護者回答〉スマホ (または携帯) にフィルタリングを設定しているか



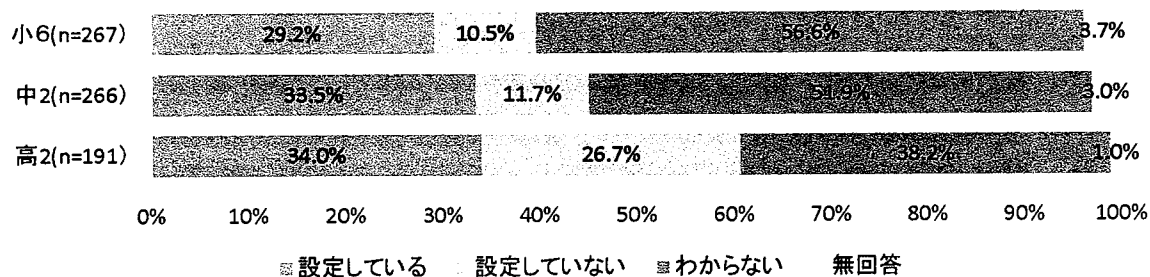
〈フィルタリングの設定〉

- ・スマートフォンのフィルタリング設定状況を見ると、児童・生徒、保護者とも、学校種が上がるとう設定率が上がっている。
- ・保護者の回答では、「設定なし」「解除した」が合わせて十数パーセント (小6：11.8%、中2：15.9%、高2：16.1%) あるが、安全な利用やトラブルの未然防止の観点から、適切なフィルタリングの設定について引き続き啓発が必要である。
- ・なお、18歳未満がスマートフォンや携帯電話の契約・機種変更をする際の店頭でのフィルタリングの設定が平成30年2月に義務化されたため、それ以降に購入した機器には、購入時にはフィルタリングが設定された状態である。

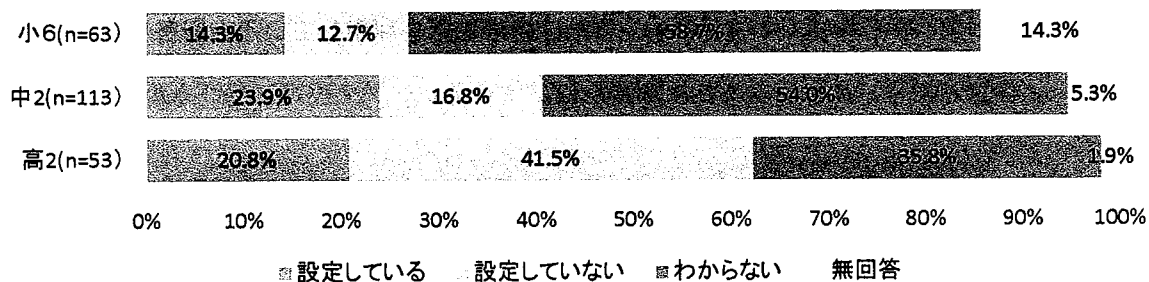
〈児童・生徒回答〉パソコンのフィルタリング設定状況



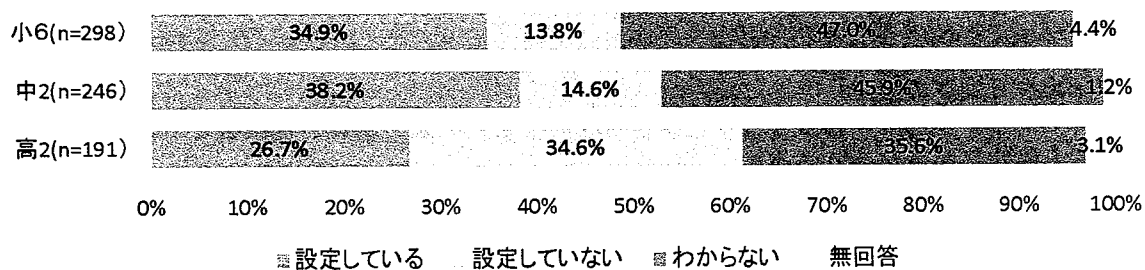
〈児童・生徒回答〉タブレットのフィルタリング設定状況



〈児童・生徒回答〉携帯音楽プレーヤーのフィルタリング設定状況



〈児童・生徒回答〉ゲーム機のフィルタリング設定状況

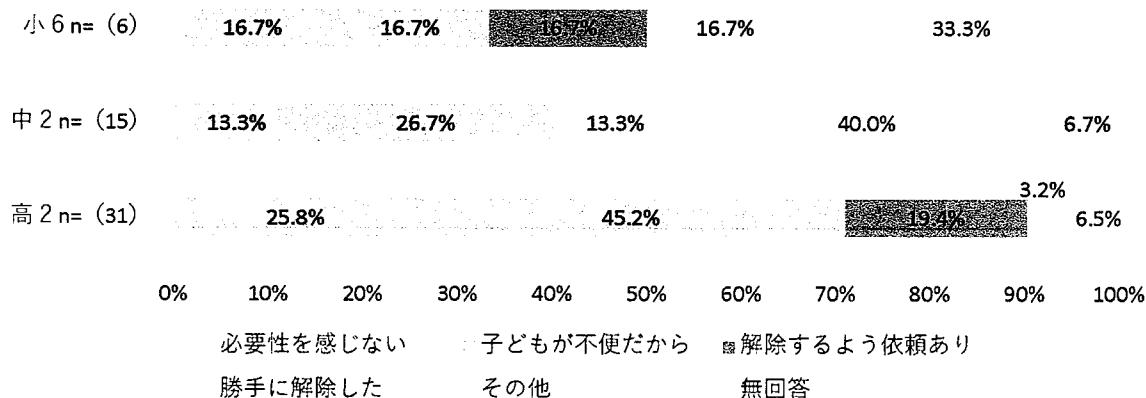


〈保護者〉 Q11. なぜフィルタリングを解除したのですか。

(対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していると回答した保護者のうち、フィルタリングを解除した者)

※標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

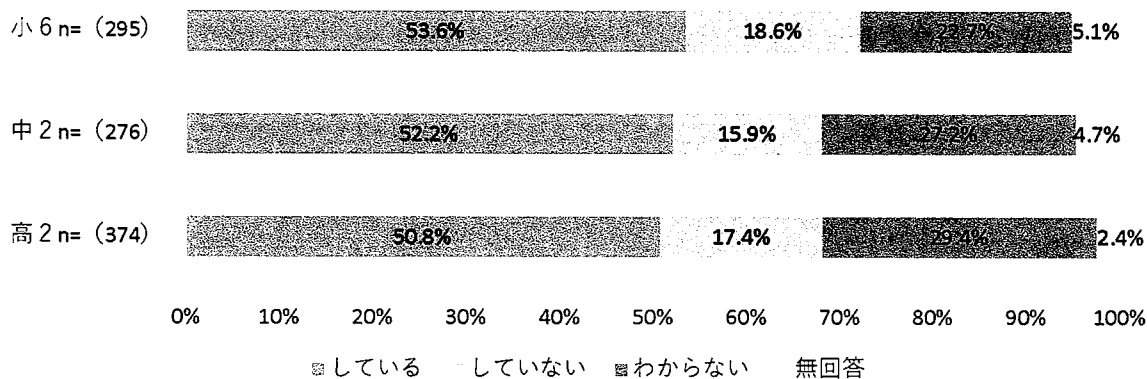
〈保護者回答〉 フィルタリングを解除した理由



〈保護者〉Q12. あなたのお子様の利用するスマートフォン（または携帯電話）には、ウイルス対策がしてありますか。

(対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していると回答した保護者)

〈保護者回答〉 ウィルス対策の有無



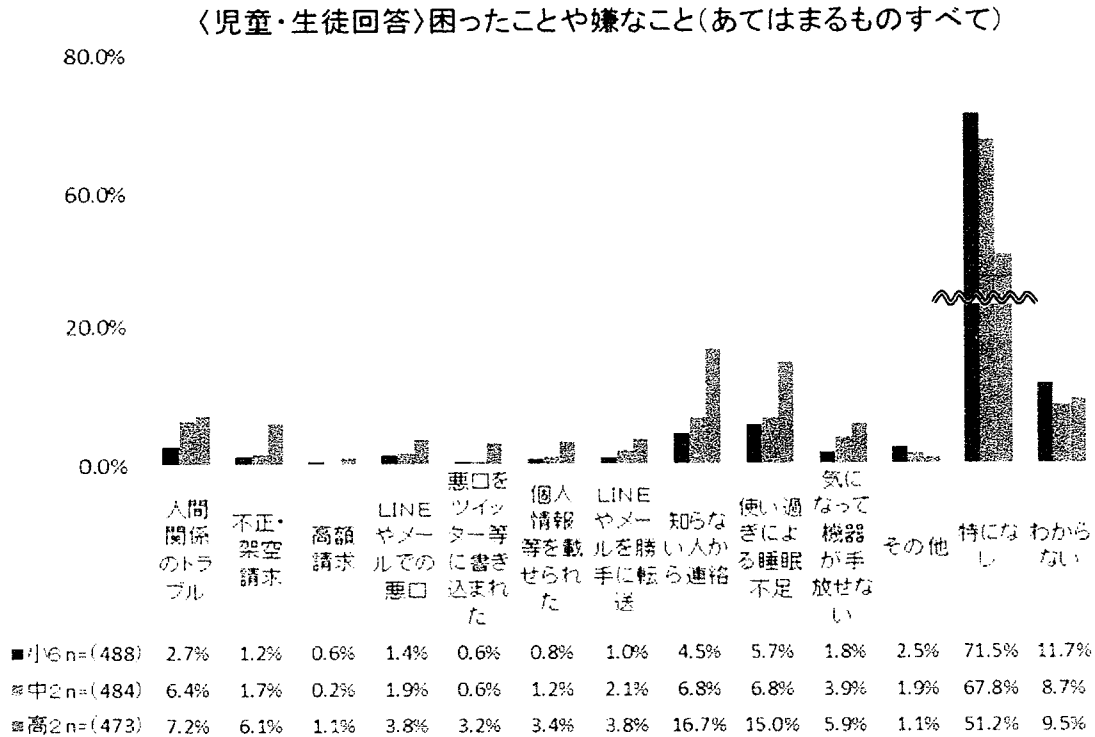
〈ウイルス対策〉

- ・保護者の回答によると、約半数がウイルス対策をしている。
- ・「わからない」という回答がどの学校種にも2割以上ある。スマートフォンはパソコンと同じようにウイルス対策が必要であることについて啓発をしていく。

4 インターネット利用に関連したトラブル

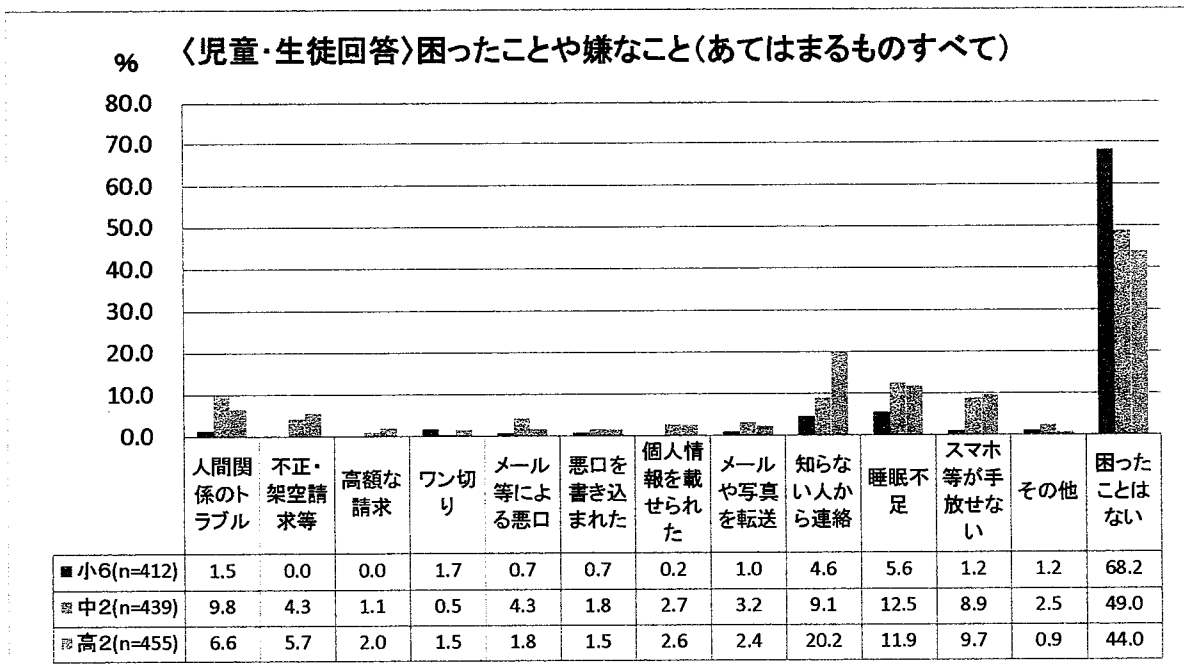
(1) インターネット利用に関連したトラブルの経験

〈児童・生徒〉Q17. これまでにインターネットを利用して、困ったことや嫌なことがありましたか。(あてはまるものすべてを選択)
 (対象：インターネットを利用している児童・生徒)



【参考】平成27年度調査

【児童・生徒】Q14. これまでにインターネットを利用して、困ったことや嫌なことがありましたか。



(インターネット利用に関連したトラブルの経験)

- ・いずれの学校種においても「特になし」が大半であり、その割合は前回より増加しているが、小6については、「人間関係のトラブルがあった」が1.2ポイント増加しているほか、前回は該当がなかった「不正・架空請求等をされた」「高額な請求をされた」が出てきており、「LINEやメールが気になりスマートフォン等が手放せない」も微増している。前回とほぼ同率であるが、「知らない人から連絡が来た」を挙げた児童も4.5%ある。
- ・高2については、「使い過ぎて睡眠不足になった」が3.1ポイント増加しているほか、LINE・メール・Twitter等に悪口を書かれる割合が増加し、「人間関係のトラブルがあった」も微増している。
- ・児童・生徒がトラブルに巻き込まれないようにするため、引き続きインターネットとの正しい付き合い方について、「インターネット上の知り合いに会おうと言われた」等の事例を取り上げ学校や家庭で子ども同士や親子等で考えて話し合うことを勧めたり、疑似体験によりトラブルに巻き込まれない利用について考える機会を提供したりするなど、自分のこととして捉えられるような啓発に取り組んでいくことが必要である。

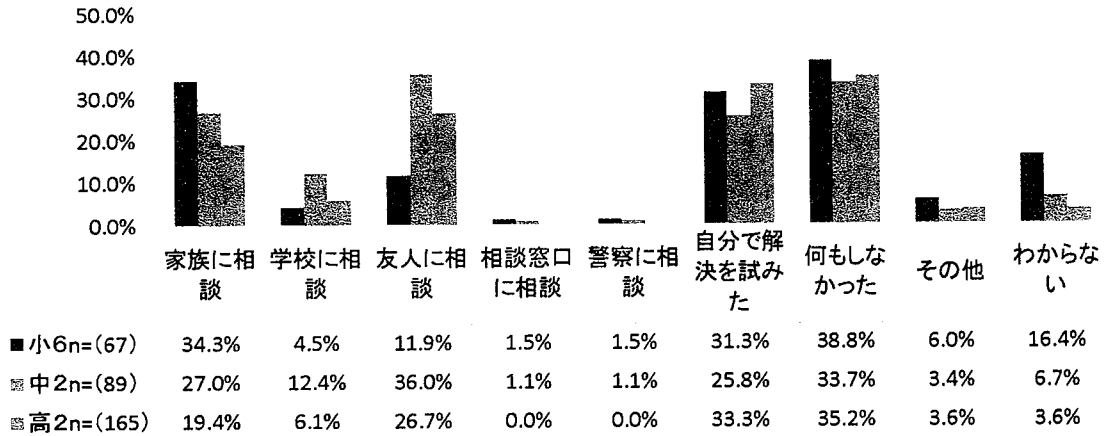
(2) トラブル時の対処

〈児童・生徒〉Q18. 困ったことや嫌なことがあったとき、どうしましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

(対象：インターネットを利用している児童・生徒のうち、困ったことや嫌なことがあった者)

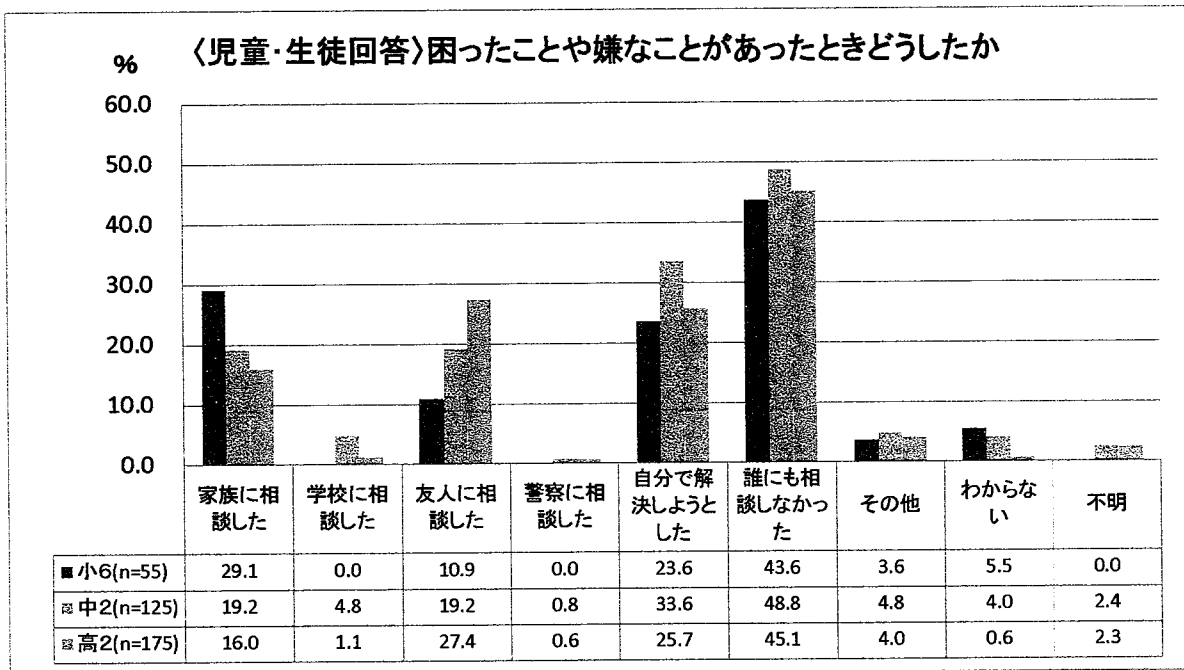
〈児童・生徒回答〉 困ったことや嫌なことがあったときどうしたか



【参考】平成27年度調査

〈児童・生徒〉Q15. 困ったことや嫌なことがあったとき、どうしましたか。

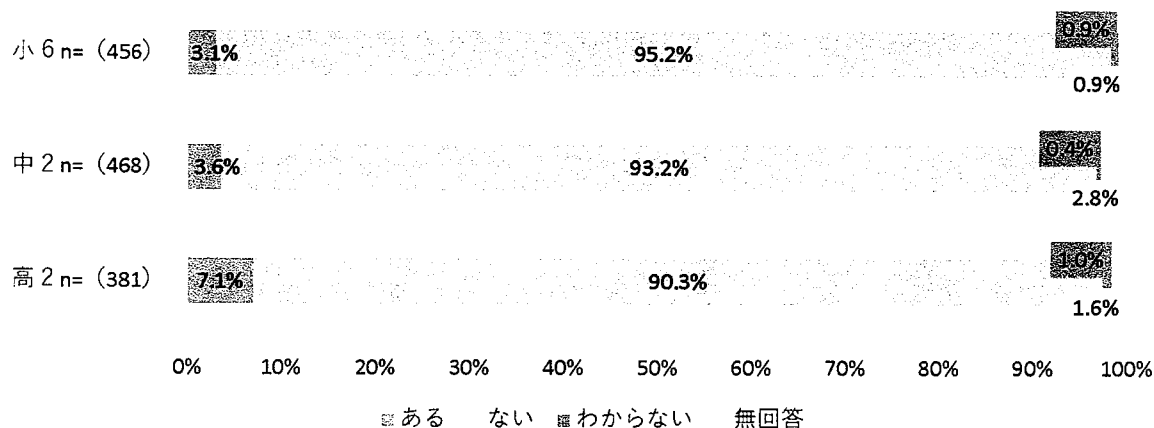
(あてはまるものすべてを選択)



※設問が今回と異なるため、単純比較ができない項目がある。

〈保護者〉Q16. あなたはこれまでに、お子様からインターネットでのトラブルについて相談を受けたことがありますか。(対象：全回答者)

〈保護者回答〉インターネットトラブルに関する子どもからの相談



〈トラブル時の対処〉

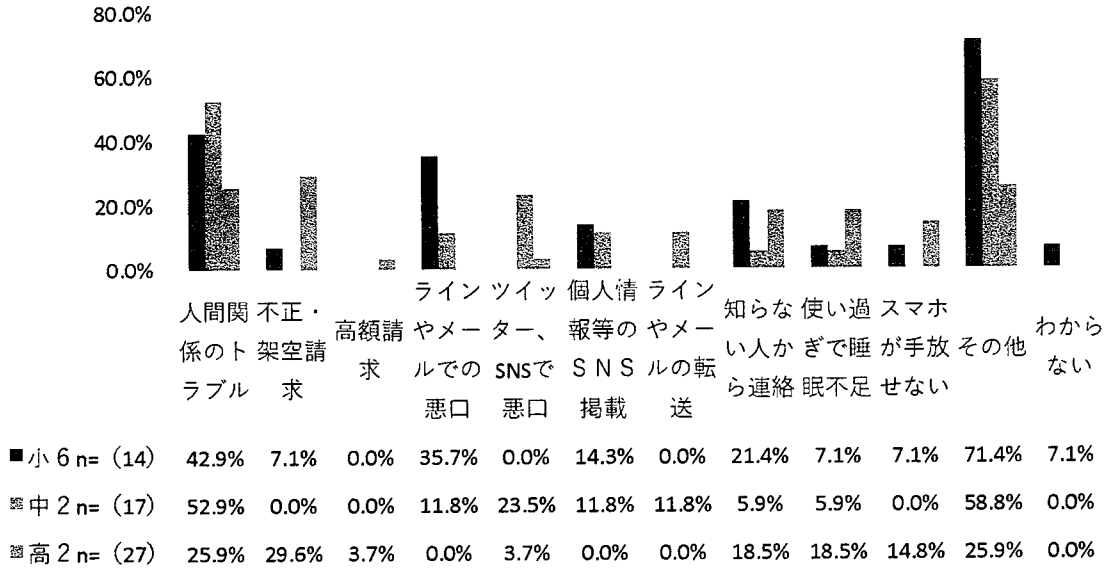
- ・困ったときの相談相手について、学校種が上がるにしたがって「家族に相談した」が減少し、「友人に相談した」が増加している。また、前回調査と比べ、高2において「友人に相談した」が微減した以外は、家族・学校・友人に相談した割合が増加しており、特に学校へ相談した割合は全ての学校種において増加している。「困ったことがあったときに周囲に相談する」ことについて少しずつ浸透してきたことが伺える。
- ・困ったときや嫌なことがあったときに「何もしなかった」と回答した児童生徒は、小6で38.8%、中2で33.7%、高2で35.2%であり、相談窓口(警察を含む)について、一層周知をしていく必要がある。
- ・トラブルについて相談を受けるためには保護者の側が子どものインターネット利用の実態を知ることが大切であり、また、日ごろから困ったときに相談できる関係にあることが前提となるため、保護者がインターネットの危険性について学習する機会を提供するとともに、その中で親子の話し合いの重要性についても伝えていくことが必要である。

〈保護者〉Q17. 相談内容は何に関するものでしたか。(あてはまるものすべてを選択)

(対象:子どもからインターネットでのトラブルについて相談を受けたことがある保護者)

※以下は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象からも除いています。

〈保護者回答〉インターネットトラブルに関する相談内容

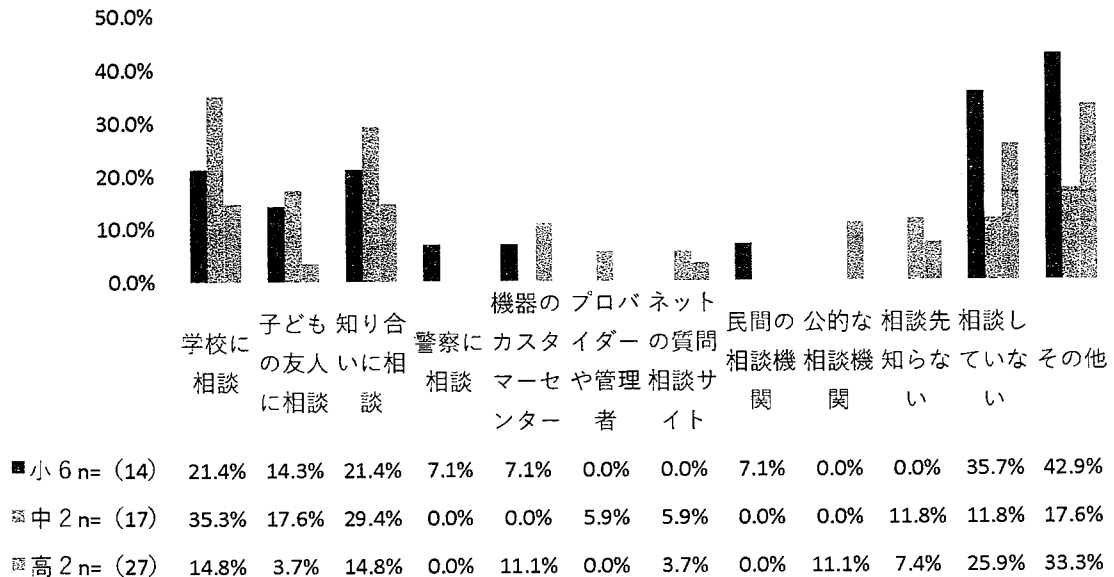


〈保護者〉Q18. あなたは、お子様から相談を受けたとき、どなたかに相談しましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

(対象:子どもからインターネットでのトラブルについて相談を受けたことがある保護者)

〈保護者回答〉インターネットトラブルの相談先



5 家庭でのルール

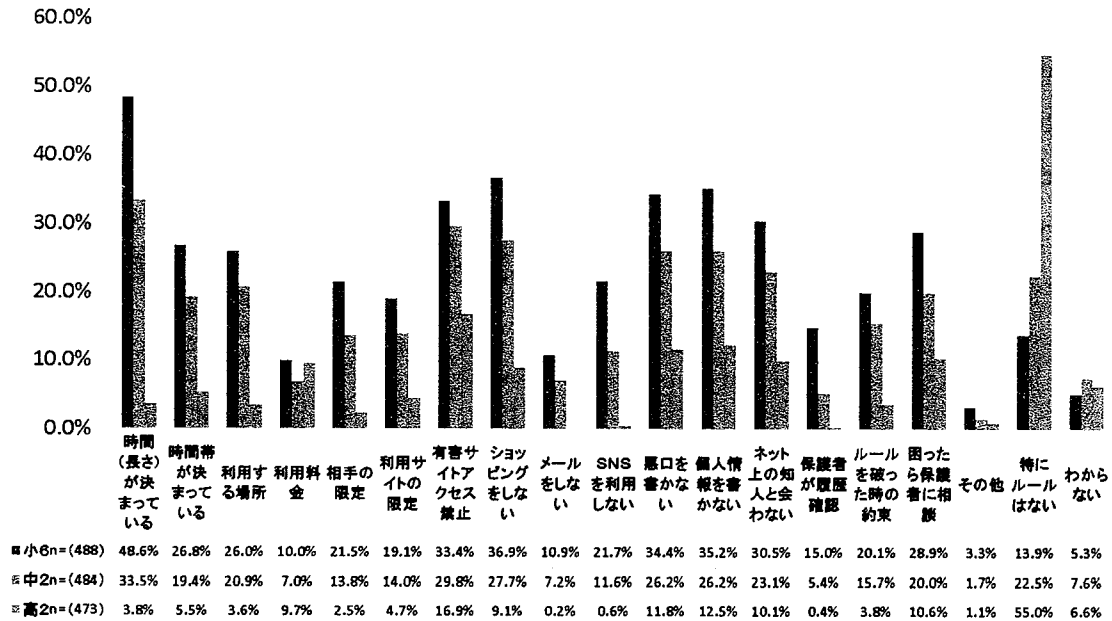
(1) 家庭での約束やルール

〈児童・生徒〉Q19. インターネットの利用について、家庭でのルールや約束事がありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

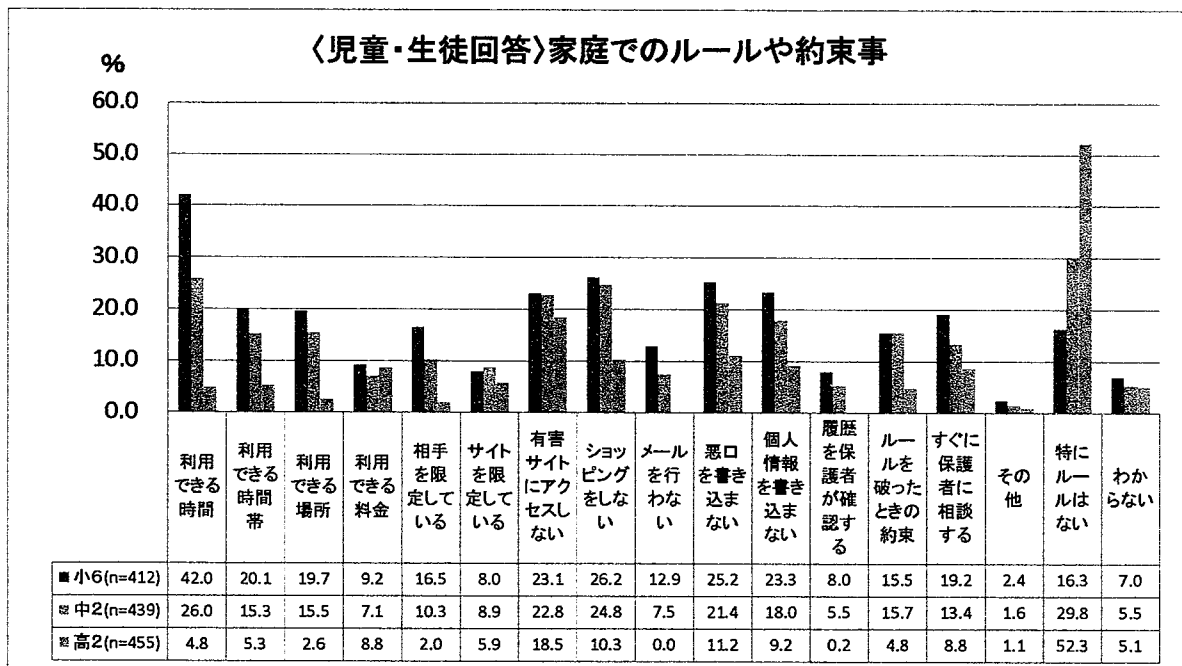
(対象：インターネットを利用している児童・生徒)

〈児童・生徒回答〉インターネット利用における家庭でのルール
(あてはまるものすべて)



【参考】平成27年度調査

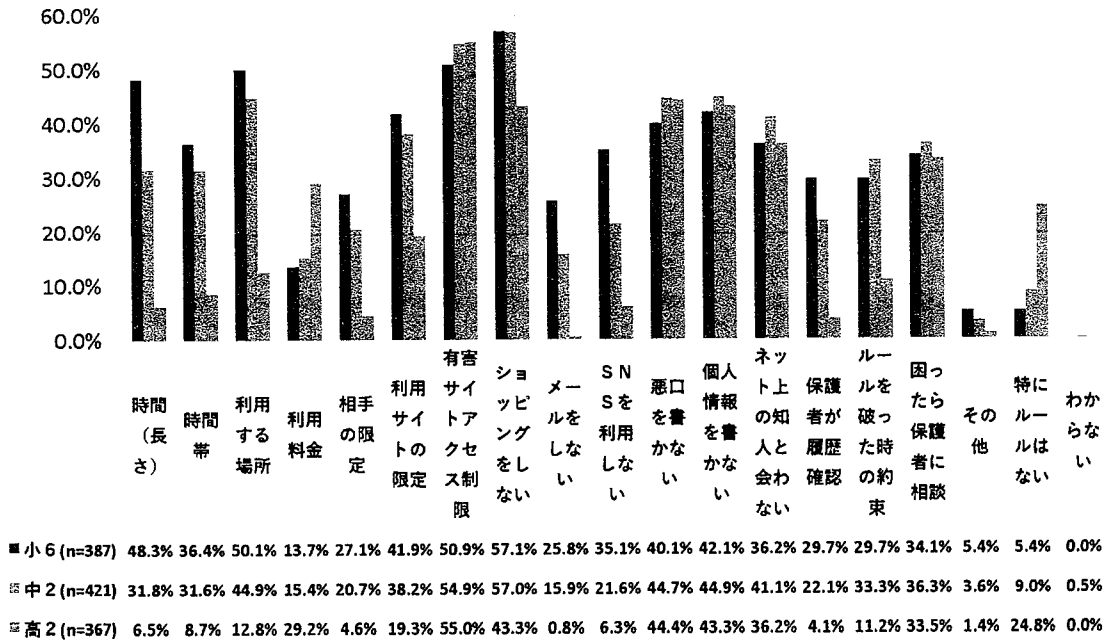
〈児童・生徒〉Q16. インターネットの利用について家庭でのルールや約束事がありますか



〈保護者〉Q5. あなたのご家庭では、お子様のインターネット（スマートフォン・携帯電話・パソコン・ゲーム機・音楽プレーヤーなどによる）の使用に何らかのルールや約束事がありますか。（あてはまるものすべてを選択）

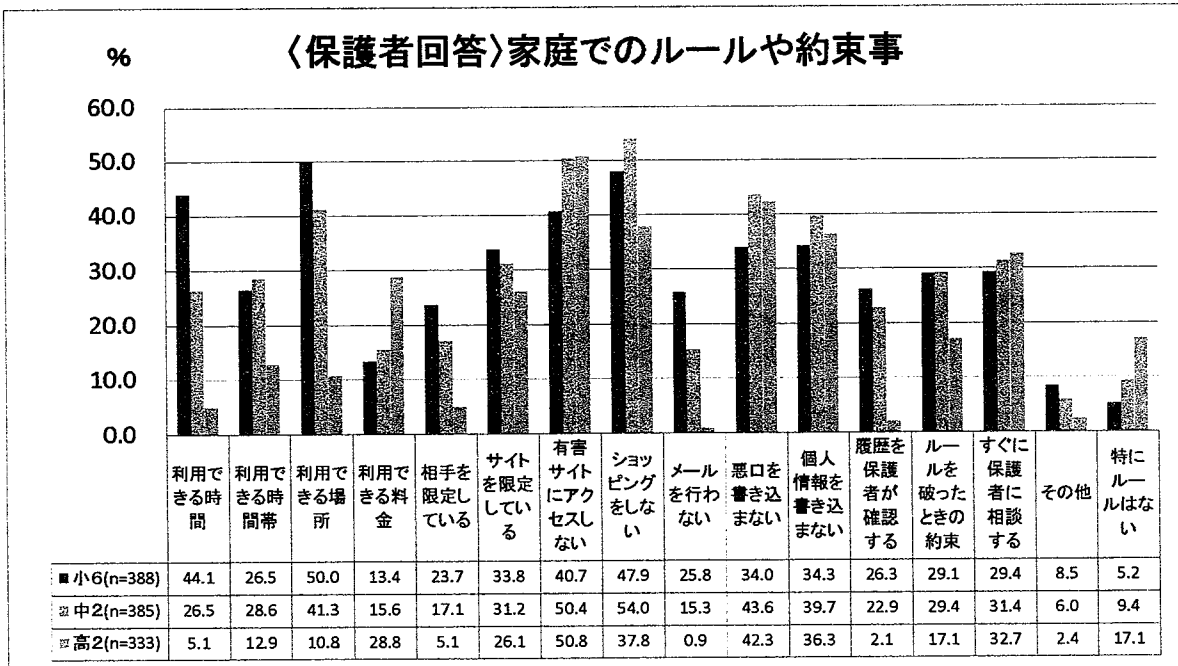
（対象：子どもがインターネットを利用していると回答した保護者）

〈保護者回答〉インターネット利用の家庭でのルール

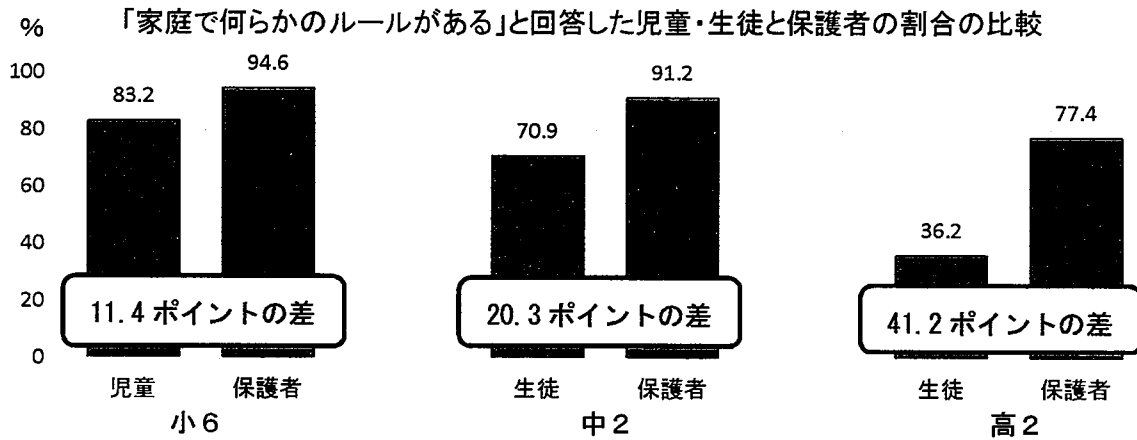


【参考】平成27年度調査

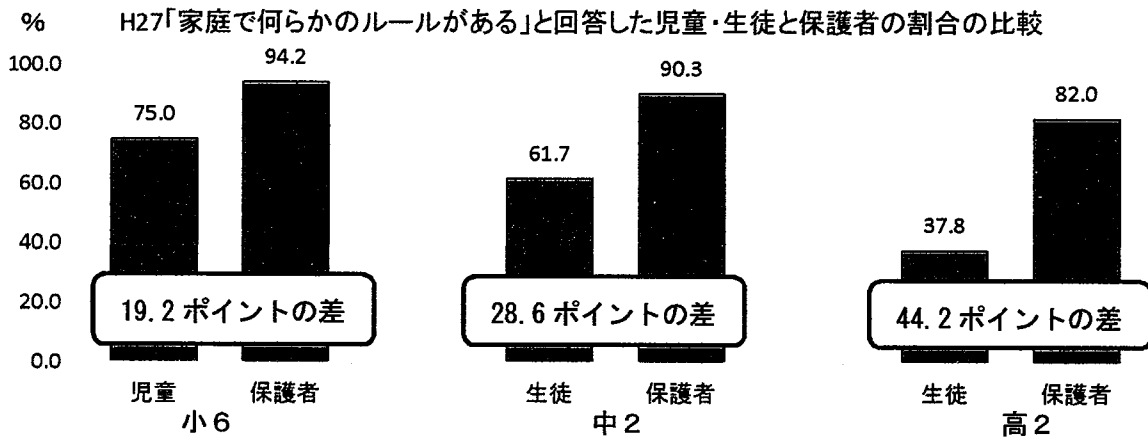
〈保護者〉Q6. あなたのご家庭では、お子様のインターネット（スマートフォン・携帯電話・パソコン・ゲーム機・音楽プレーヤーなどによる）の使用に何らかのルールや約束事がありますか。



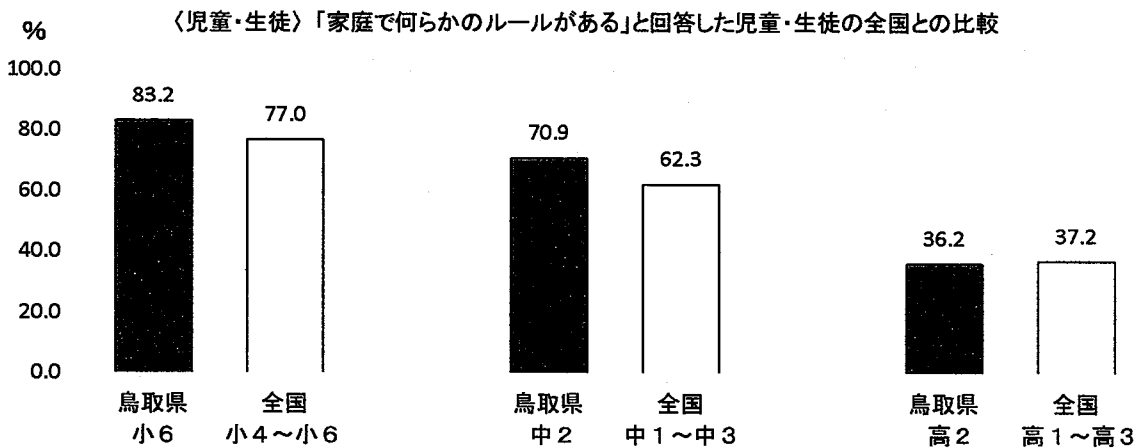
【参考】



平成 27 年度調査結果との比較



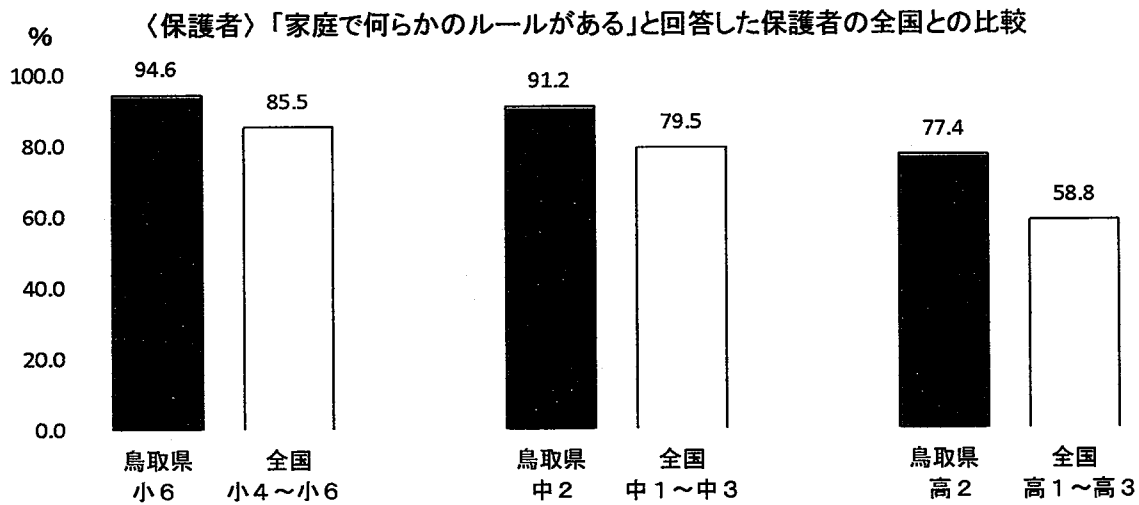
全国調査との比較〈児童・生徒〉



出典 「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(内閣府)

※全国の数値は、小学校4年生から6年生の平均値、中学1年生から3年生の平均値、高校1年生から3年生の平均値であり、単純比較はできない。

全国調査との比較〈保護者〉



出典 「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(内閣府)

※全国の数値は、小学校4年生から6年生の平均値、中学1年生から3年生の平均値、高校1年生から3年生の平均値であり、単純比較はできない。

〈家庭での約束やルールとその内容〉

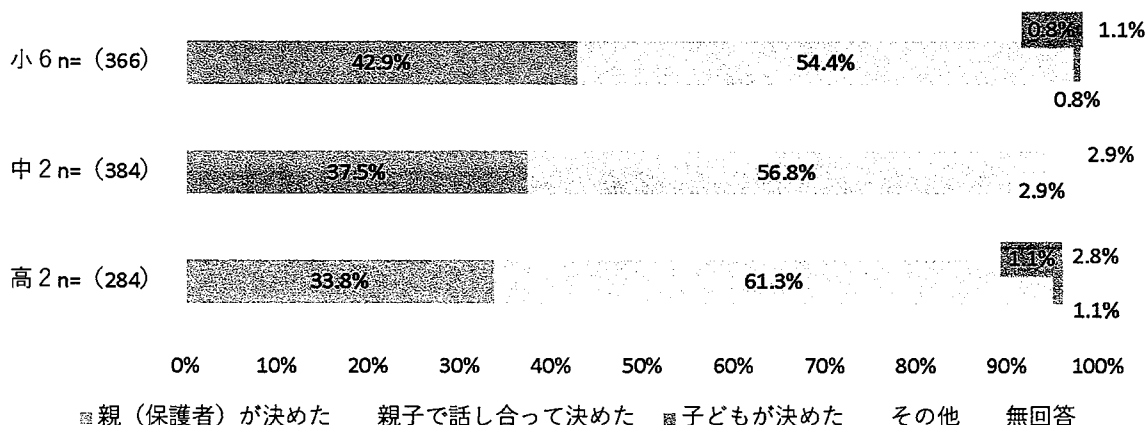
- ・「家庭でのルールがある」と回答した児童・生徒は、前回調査と比べ、小6で8.2ポイント、中2で9.2ポイント増えており、また、多くの項目でルールの設定率が上がっている。児童・生徒、保護者へのルール作りの大切さに関する啓発が一定の成果を上げていると考えられる。
- ・一方、高2については、「家庭でのルールがある」割合が生徒・保護者とも前回を下回っており、一層の啓発が必要。
- ・「家庭でのルール」に関して、子どもと保護者との意識の差は学校種が上がるにしたがって大きくなる。この傾向は前回調査から変わっていないが、どの校種とも前回からは少し改善されている。
- ・今年度初めて調査した「インターネット上で知り合った人と会わない」については、小6でも子ども、保護者ともに「ルールがある」が3割台であり、保護者については学校種が上がっても「ルールがある」との認識は同程度であるのに対し、生徒については中2で23.1%、高2で10.1%と低下する。インターネット上の知人と会うことの危険性について改めて啓発していくことが重要である。また、学校種が上がるにつれて、子どもと保護者との意識に開きが大きくなっており、親子での話し合いによるルール作りが必要である。
- ・児童・生徒が回答した家庭でのルールで割合が高いものは、以下のとおり
 - 小6 「利用できる時間(長さ)が決まっている」「ショッピングをしない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」
 - 中2 「利用できる時間(長さ)が決まっている」「有害サイトにアクセスしない」「ショッピングをしない」
 - 高2 「有害サイトにアクセスしない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」「悪口や人を傷つけることを書き込まない」

(2) 家庭でのルールの決め方

〈保護者〉 Q6. ルールや約束事は、どのようにして決めましたか。

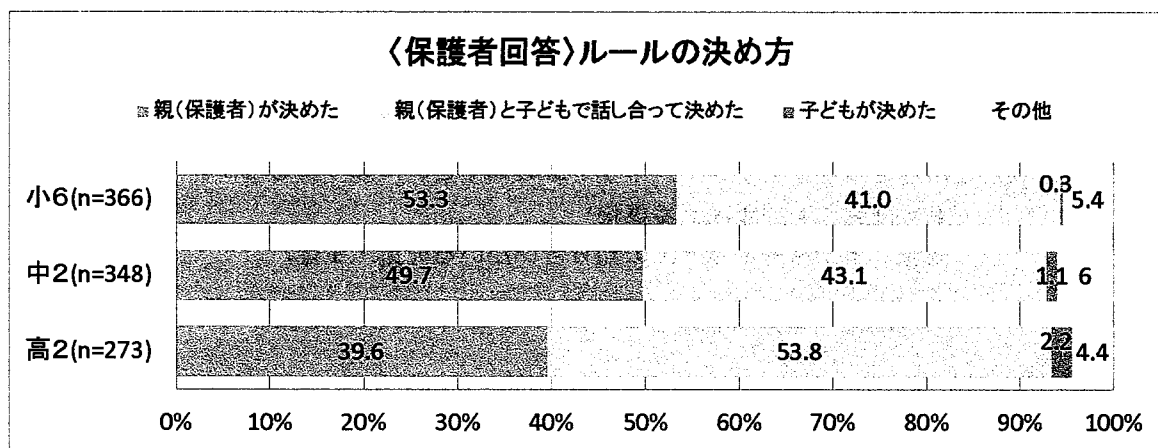
(対象：子どもがインターネットを利用していると回答した保護者のうち、ルールがあると回答した者)

〈保護者回答〉ルールの決め方



【参考】平成27年度調査

〈保護者〉 Q7. ルールや約束事は、どのようにして決めましたか。



〈家庭でのルールの決め方〉

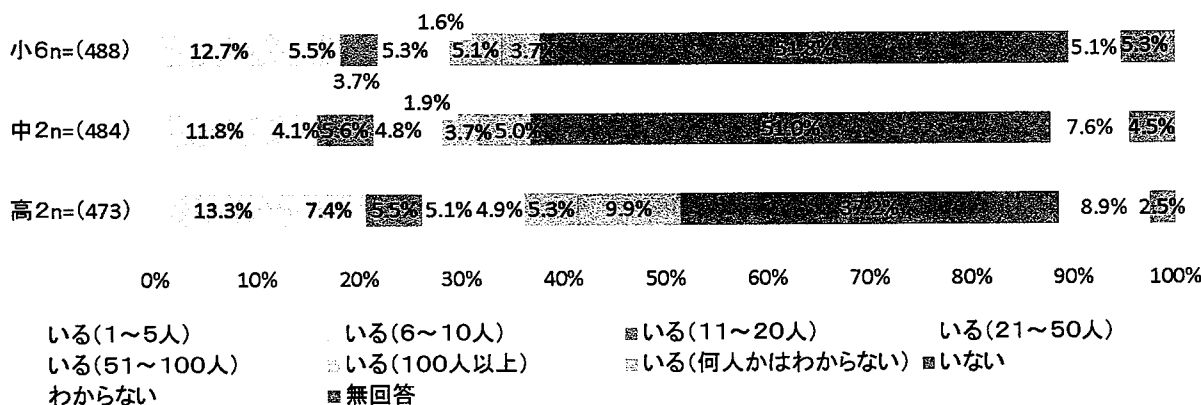
- ・「親(保護者)が決めた」割合は学校種が上がるにつれて減っていき、「親(保護者)と子どもで話し合っ
て決めた」割合が増えていく。
- ・前回調査と比べ、「親(保護者)と子どもで話し合っ
て決めた」割合がどの学校種でも大きく増
加しており、話し合いによるルール作りの必要性について啓発を進めてきたことが一定の成果
を上げていると考えられる。

6 インターネット上の知り合い

(1) インターネット上の知り合いの人数

〈児童・生徒〉 Q20. あなたには、インターネット上での知り合いがいますか。
 (対象：インターネットを利用している児童・生徒)

〈児童・生徒回答〉 インターネット上の知り合いの数



〈インターネット上の知り合い〉

- ・インターネット利用者（小6：88.1%、中2：89.3%、高2：95.4%）（p10に掲載）のうち、インターネット上の知り合いがあると回答した割合は、小6で37.6%（H27：16.5%）、中2で36.9%（H27：36.4%）、高2で51.4%（H27：37.4%）であり、小6で21.1ポイント、高2で14.0ポイント増えるなど、前回調査より大幅に増えている。
- ・また、「100人以上」と回答した児童・生徒もいずれの学校種も4~5%程度存在している。

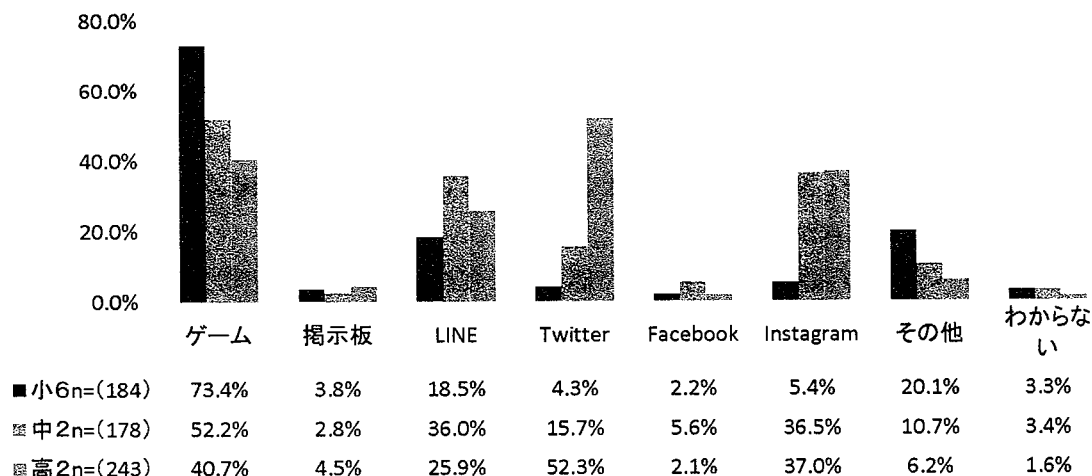
(2) 知り合ったきっかけ

〈児童・生徒〉 どんなきっかけでインターネット上の知り合いになりましたか。

(あてはまるものすべてを選択)

(対象：インターネット上の知り合いがいる児童・生徒)

〈児童・生徒回答〉知り合いになったきっかけ



〈知り合ったきっかけ〉

- ・小6・中2はゲーム（オンラインゲーム）が多く、高2ではTwitterが一番多い。中高生ではInstagramやLINEも多い。インターネットを介したゲームやSNS等でつながりやすくなっていることがうかがえる。

7 インターネット利用についての気持ちや状況（依存傾向）

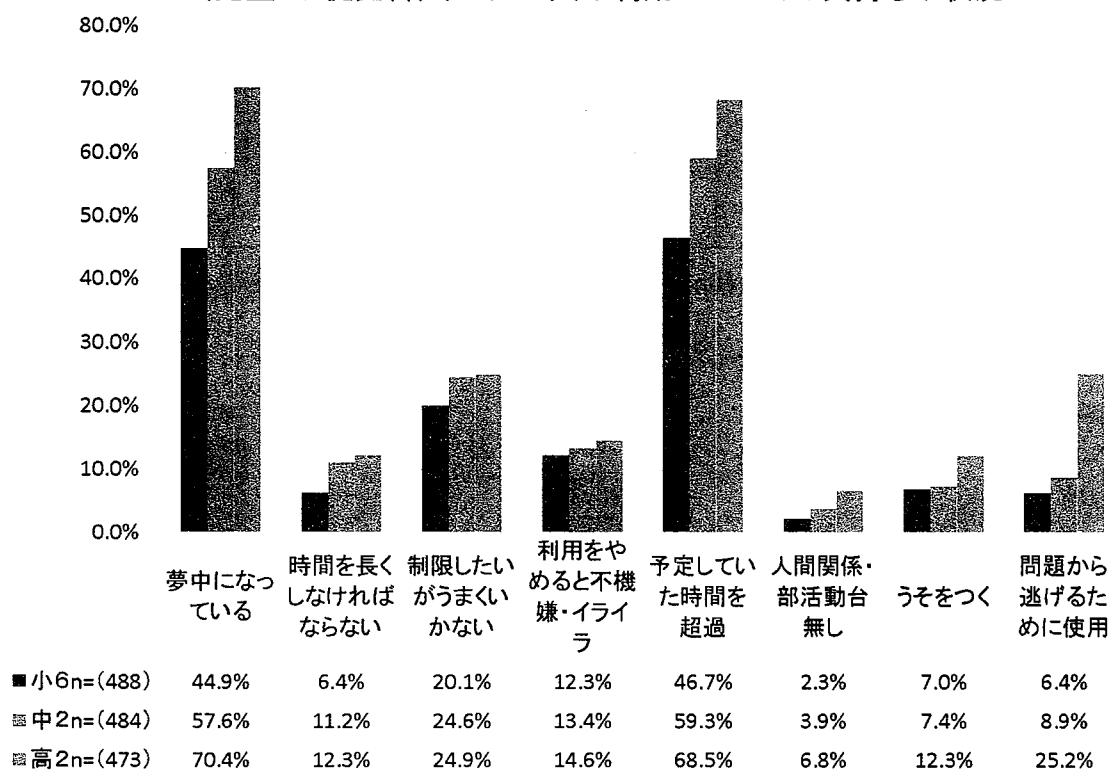
(1) インターネット利用についての気持ちや状況

〈児童・生徒〉Q21～28 「はい」か「いいえ」で回答

(対象：インターネットを利用している児童・生徒)

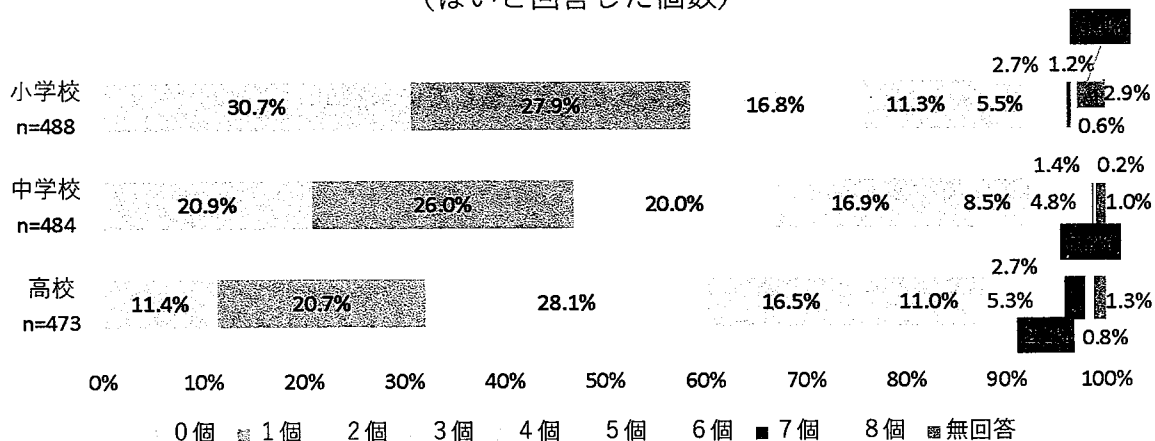
- Q21. あなたは、インターネットに夢中になっていると感じていますか
- Q22. あなたは、満足するために、インターネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じていますか
- Q23. あなたは、インターネット利用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしても、うまくいかなかったことが何回もありましたか
- Q24. インターネットの利用時間を短くしたり、完全にやめようとしたとき、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じましたか
- Q25. あなたは、使い始めに予定していた時間よりも長い時間インターネットを使うことがありますか
- Q26. あなたは、インターネットのために大切な人間関係、学校のことや、部活動のことを台無しにしたり、あやうくしたりするようなことがありましたか
- Q27. あなたは、インターネットへの熱中のしすぎをかくすために、家族、学校の先生やその他の人たちにうそをついたことがありましたか
- Q28. あなたは、問題から逃げるためにまたは、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといったいやな気持ちから逃げるためにインターネットを使いますか

〈児童・生徒回答〉インターネット利用についての気持ちや状況



○Q21～28の8項目における該当項目の数（「はい」と答えた個数）
 （対象：インターネットを利用している児童・生徒）

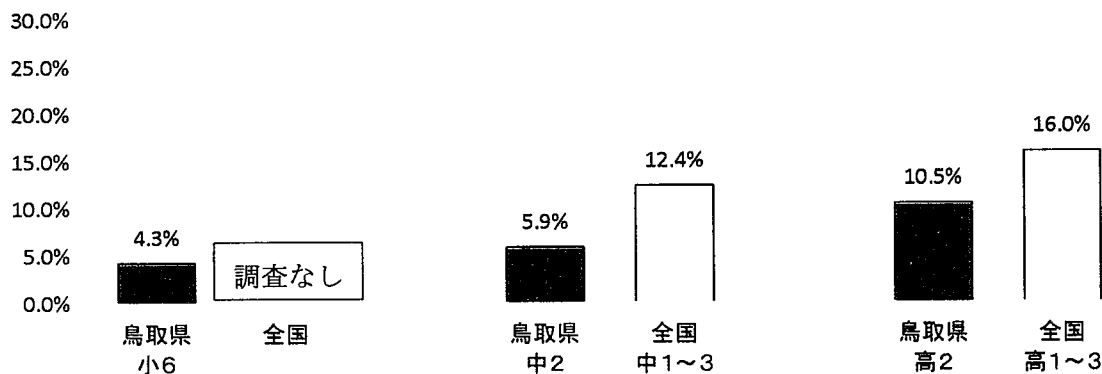
〈児童・生徒回答〉インターネット利用についての気持ち
 （はいと回答した個数）



※「尾崎米厚（2018），飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究,55」では、5つ以上「はい」と答えた場合を「病的な使用者」、3～4つを「不適応な使用者」、2つ以下を「適応な使用者」としている。

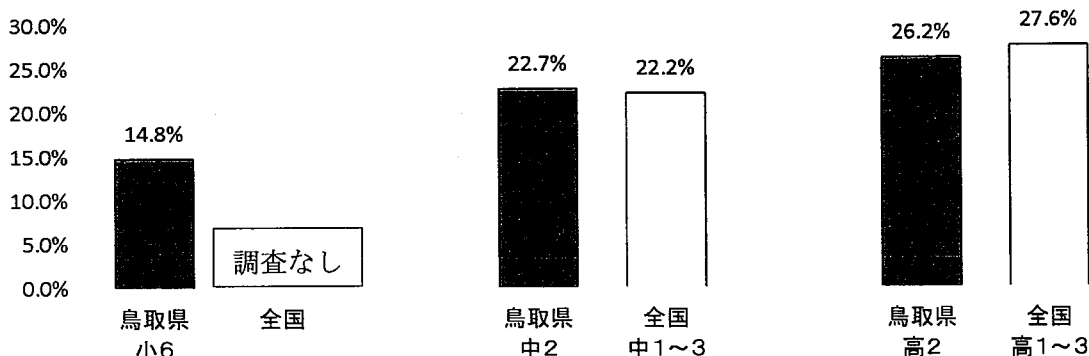
○回答者全体に対する「病的な使用」が疑われる児童・生徒の割合（全国との比較）

「病的な使用」が疑われる児童・生徒



○回答者全体に対する「不適応な使用」が疑われる児童・生徒の割合（全国との比較）

「不適応な使用」が疑われる児童・生徒



<インターネット利用についての気持ちや状況>

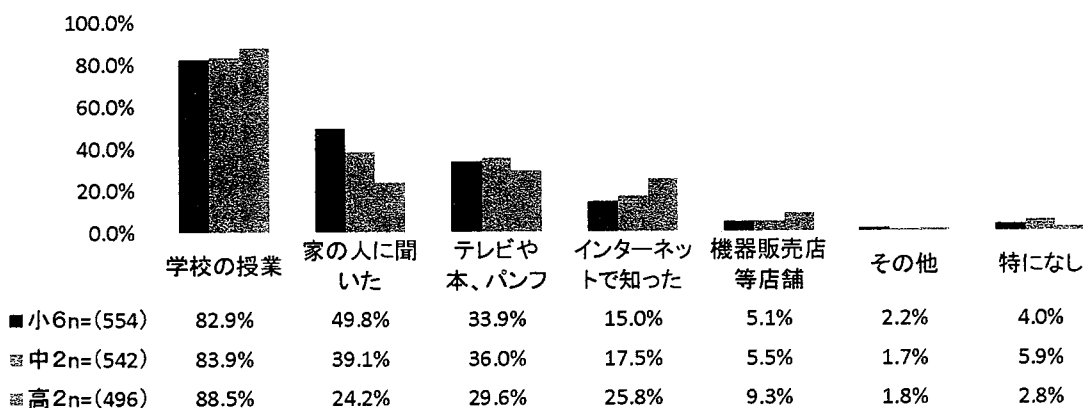
- ・どの学校種においても、「インターネットに夢中になっている」「予定していた時間よりも長い時間インターネットを使うことがある」と答えた割合が高く、高2では、7割前後の生徒が回答している。
- ・インターネットを利用している高2の約4人に1人（25.2%）は、「問題から逃げるためにまたは、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといったいやな気持ちから逃げる」ためにインターネットを使っている。（高2全体（496人）の24.0%）
- ・インターネットを利用している児童・生徒のうち、病的な使用が疑われる（8項目中、5項目以上「はい」と回答）のは、小6で4.9%、中2で6.6%、高2で10.9%となった。インターネットを利用していない者も含めた回答者全体でみると、小6全体（554人）の4.3%で約23人に1人、中2全体（542人）の5.9%で約17人に1人、高2全体（496人）の10.5%で約10人に1人が、病的な使用が疑われる結果となった。尾崎氏の研究では、中高生の7人に1人（中学生の12.4%、高校生の16.0%）が病的使用者に当たるとの結果であり、これに比べ病的使用の割合は低くなっている。
- ・インターネットを利用している児童・生徒のうち、不適応な使用が疑われる（8項目中、3もしくは4項目「はい」と回答した）のは、小6で16.8%、中2で25.4%、高2で27.5%となった。インターネットを利用していない者も含めた回答者全体でみると、小6全体（554人）の14.8%、中2全体（542人）の22.7%、高2全体（496人）の26.2%が不適応な使用が疑われる結果となった。尾崎氏の研究では、中学生の22.2%、高校生の27.6%が不適応使用者に当たるとなっている。
- ・「病的な使用」が疑われる中高生は、全国値と比較して少ない結果となったが、一定数の児童・生徒が該当しており、予備軍ともいえる「不適応使用」が疑われる児童・生徒が相当数いることから、病的使用・不適応使用に陥らないインターネットとの付き合い方について、児童・生徒、保護者への学習機会の確保と啓発に一層力を入れていく必要がある。

8 インターネットの危険性についての学習

(1) インターネットの危険性についての学習の経験

〈児童・生徒〉Q29. あなたは、インターネットの危険性について、説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。(あてはまるものすべてを選択) (対象: 全回答者)

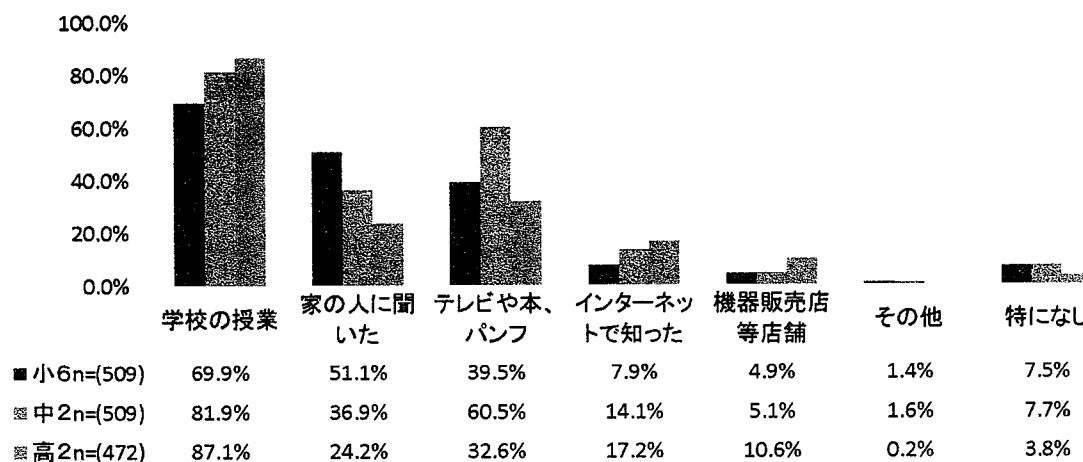
〈児童・生徒回答〉学習経験の有無



【参考】平成27年度調査

〈児童・生徒〉Q21. あなたは、インターネットの危険性について、説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。(あてはまるものすべてを選択)

〈H27 児童・生徒〉学習経験の有無

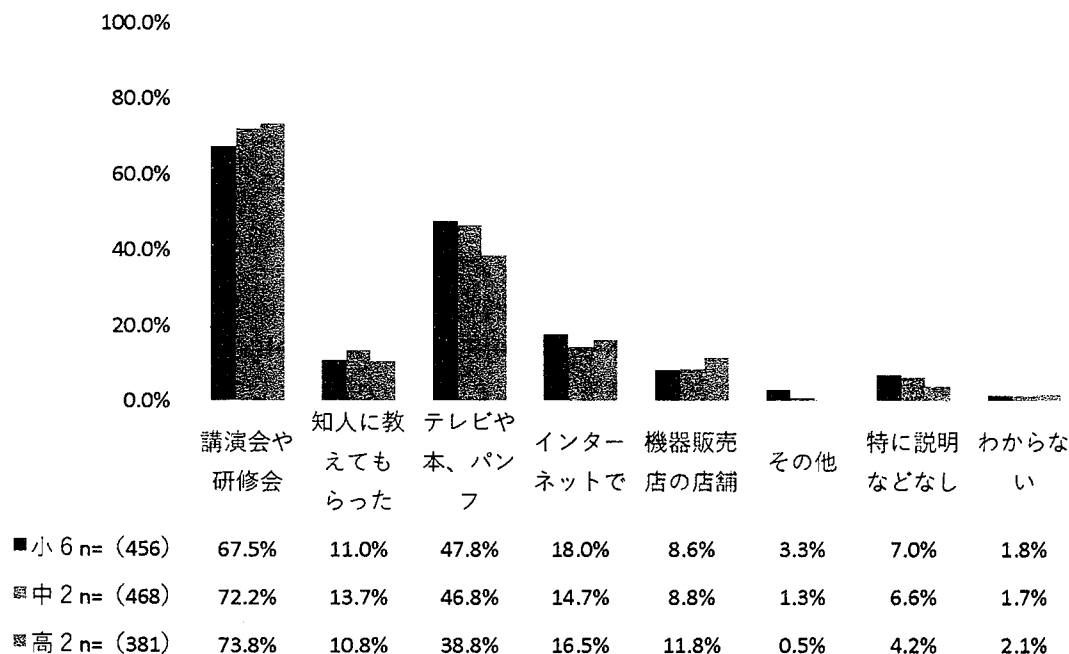


〈児童・生徒 インターネットの危険性についての学習経験〉

- ・全ての学校種において「学校の授業で教えてもらった」「インターネットで知った」と回答した割合が増加している。特に、「学校の授業で教えてもらった」についてはいずれも8割を超え、学校種が上がるにつれて増加している。また、小6で前回から13.0ポイント増となり、学校における情報モラル教育の実施が定着してきたことがうかがえる。

〈保護者〉Q19. あなたは、インターネットの危険性について、説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。(対象：全回答者)

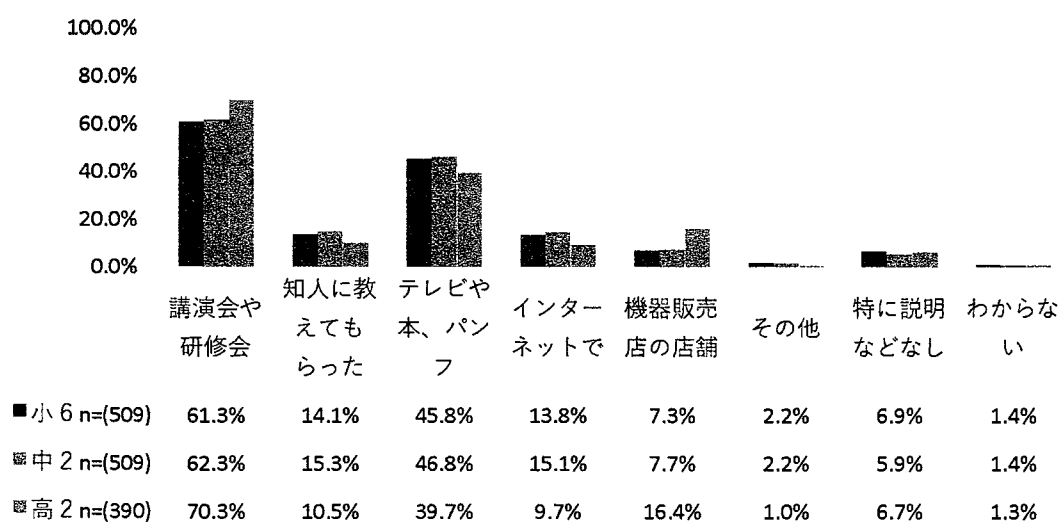
〈保護者回答〉学習経験の有無



【参考】平成27年度調査

〈保護者〉Q24. あなたは、インターネットの危険性について、説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。

〈H27 保護者〉学習経験の有無



〈保護者 インターネットの危険性についての学習経験〉

・前回調査に比べ、全ての学校種において、講演会・研修会での学習経験が増加しており、保護者を対象とした啓発が一定の成果を上げていることがうかがえる。

- ・学習した経験は全国平均より高く、H27調査と比べても増加しているが、年長児の保護者の学習経験は、他に比べ低い傾向にある。

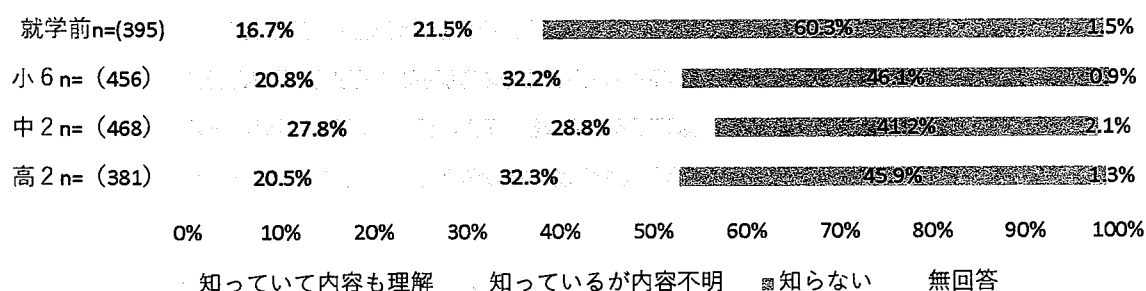
○「何らかの学習をしたことがある」と回答した保護者の割合

	今回調査 (全国調査)	H27調査
年長児	83.3%	76.7%
小6	91.2% (小4~6: 69.6%)	90.3%
中2	91.2% (中1~3: 79.7%)	90.1%
高2	93.2% (高1~3: 79.4%)	91.2%

(2) 鳥取県青少年健全育成条例 (ペアレンタルコントロール)

〈保護者〉Q20. あなたは、「鳥取県青少年健全育成条例」で、保護者によるペアレンタルコントロール (青少年のインターネットの利用を管理するために、利用できる時間や場所などを制限するなどの措置をとること) が努力義務として規定されていることを知っていますか。(未就学児保護者含む: Q17) (対象: 全回答者)

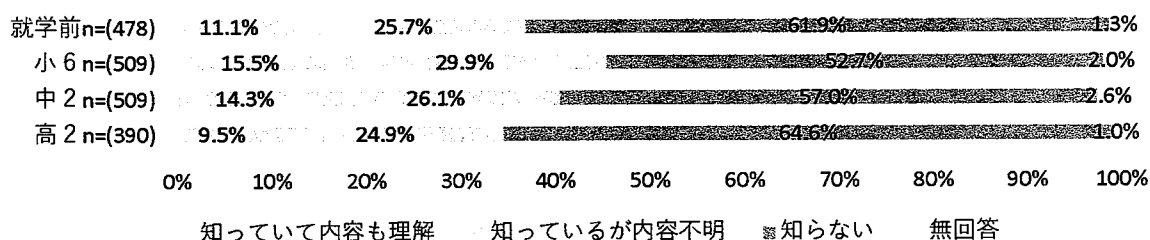
〈保護者回答〉ペアレンタルコントロールの努力義務の認知



【参考】H27年度調査

〈保護者〉Q14. あなたは、昨年「鳥取県青少年健全育成条例」が一部改正され、保護者によるペアレンタルコントロール (青少年のインターネットの利用を管理するために、利用できる時間や場所などを制限するなどの措置をとること) の規定が追加されたことを知っていますか。

〈H27 保護者〉「鳥取県青少年健全育成条例」の改正について



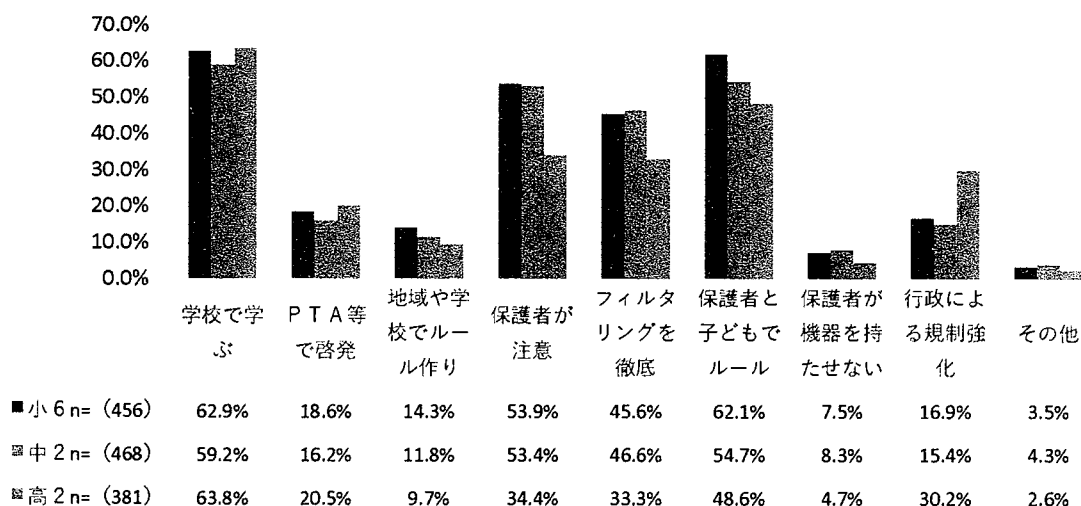
〈鳥取県青少年健全育成条例 (ペアレンタルコントロール)〉

- ・質問が多少異なるが、条例に関して「知っている」と回答した保護者は、H27調査と比較して未就学児で1.4ポイント増、小6で7.6ポイント増、中2で16.2ポイント増、高2で18.4ポイント増となった。

(3) 事件・事故を防ぐために

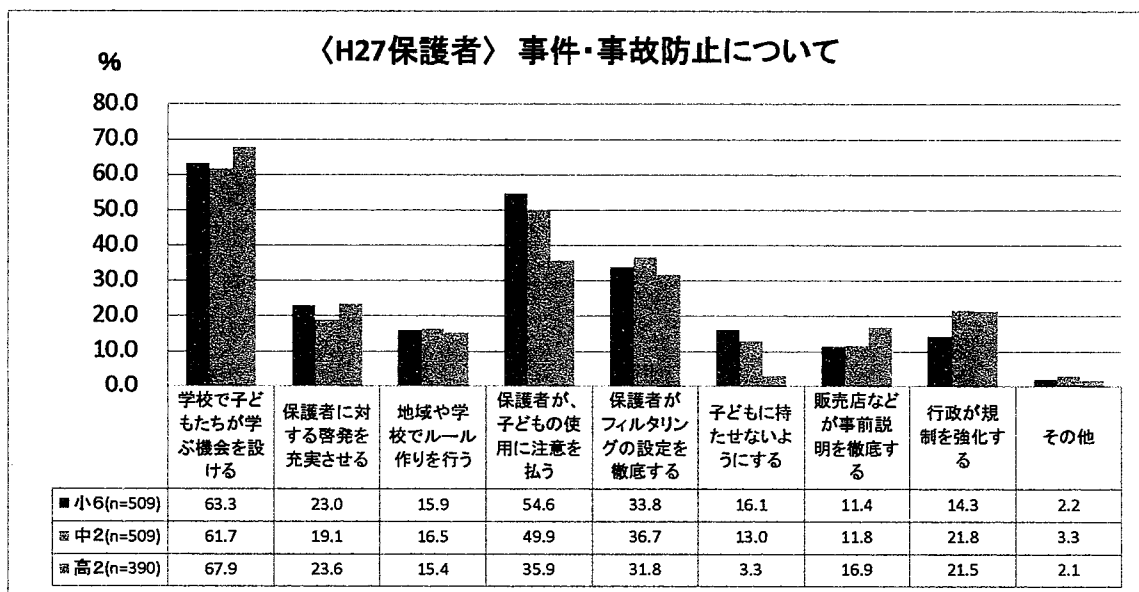
〈保護者〉 Q21. 子どもたちがインターネットに接続できる機器(スマートフォン、ゲーム機等)を安全に利用し、事件や事故を防ぐためには、どうすればよいと思いますか。
(あてはまるものを選択(3つ以内))(対象:全回答者)

〈保護者回答〉 ネット機器を安全に使用し、事件・事故を防ぐためには



【参考】平成27年度調査

〈児童・生徒〉 Q26. 子どもたちが携帯電話(またはスマホ)を安全に利用し、事件や事故を防ぐためには、どうすればよいと思いますか。
(あてはまるものを選択(3つ以内))



〈事件・事故を防ぐために〉

・どの学校種でも「学校で学ぶ機会を設ける」と回答した割合が一番高く、「機器を持たせない」と回答した割合が一番低くなっている。また、小・中では「保護者が注意を払う」「保護者と子どもでルールを作る」「フィルタリングの徹底」など、保護者自身が(子どもとともに)取り組める項目の回答割合がいずれも半数を超えた。

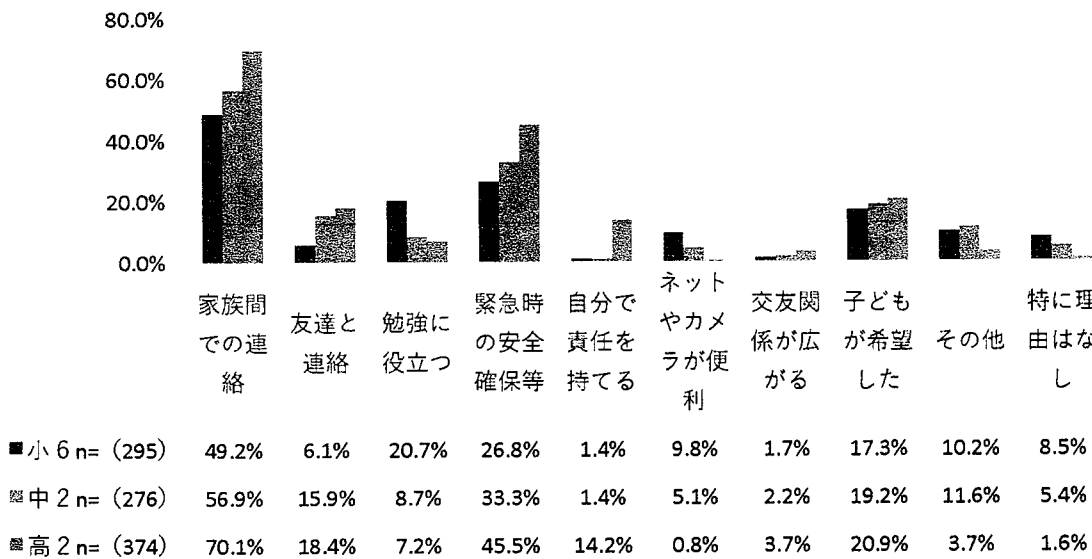
9 保護者の意識と利用状況

(1) スマートフォンまたは携帯電話の利用を認めた理由

〈保護者〉Q8. あなたがお子様に、スマートフォン（または携帯電話）の利用を認めた理由は何ですか。（最もあてはまるものを選択（2つ以内））

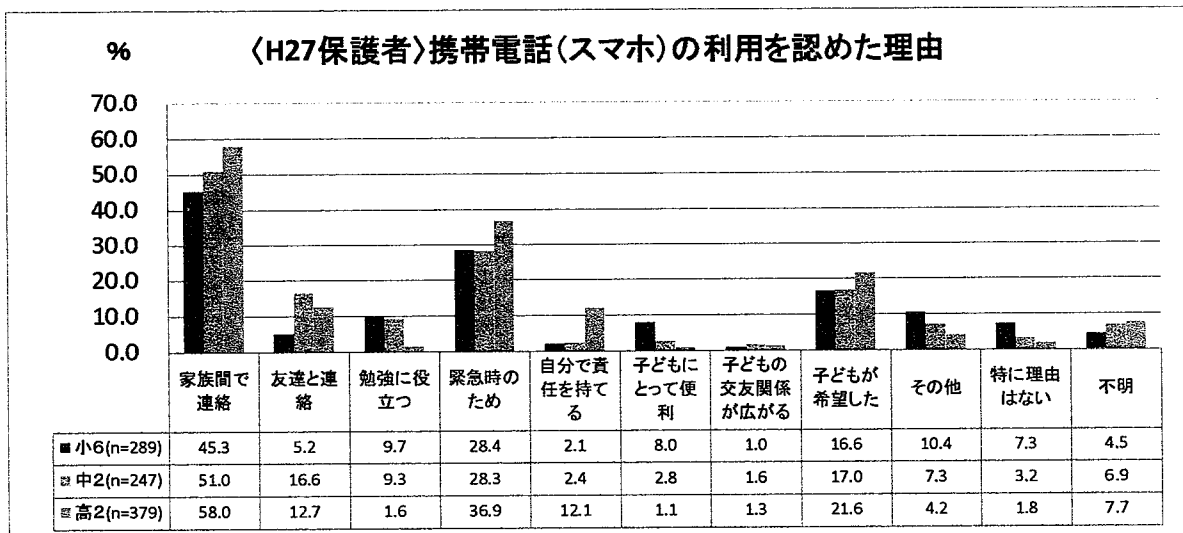
（対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していると回答した保護者）

〈保護者回答〉スマートフォン（または携帯）を認めた理由



【参考】H27年度調査

〈保護者〉Q9. あなたがお子様に、携帯電話（またはスマホ）の利用を認めた理由は何ですか。（最もあてはまるものを選択（2つ以内））

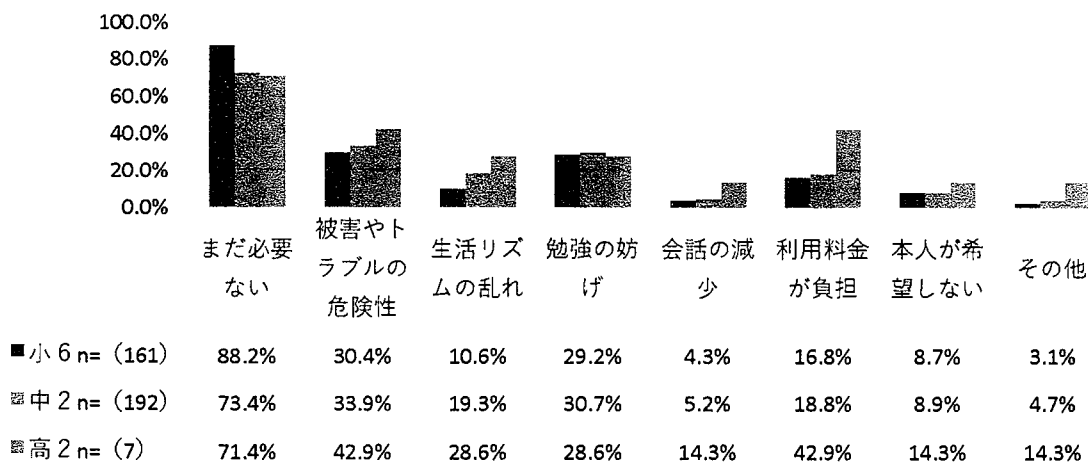


〈スマートフォンまたは携帯電話の利用を認めた理由〉

- ・全ての学校種において、「家族間での連絡をとるため」が一番多く、次いで「緊急時の安全確保等」となった。
- ・小6については、「勉強に役立つ」との理由が前回調査から倍増している。

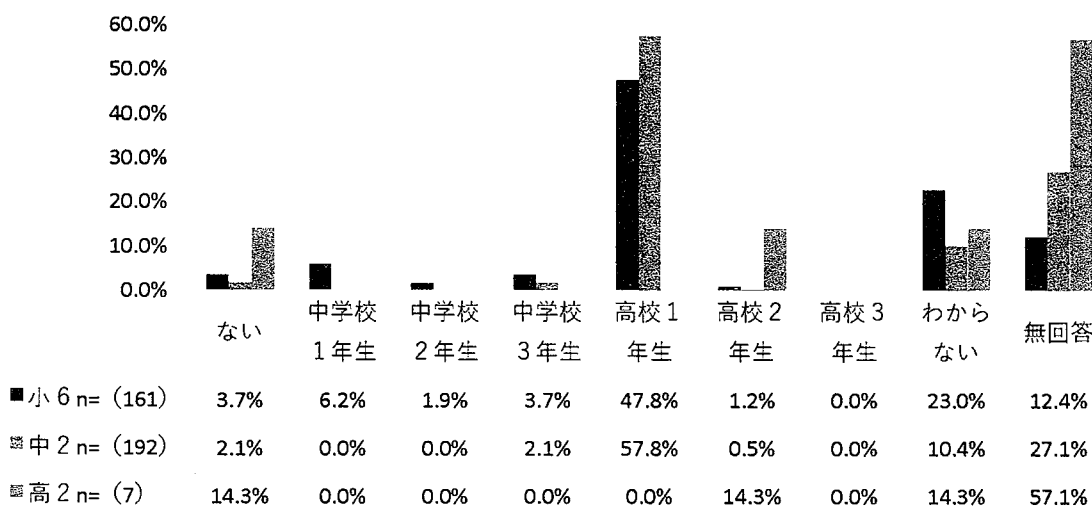
(2) 子どもにスマートフォンまたは携帯電話を持たせていない理由と持たせる予定
 〈保護者〉Q13. あなたがお子様スマートフォン（または携帯電話）を利用させていない理由は何ですか。（あてはまるものを選択（3つ以内））
 （対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していないと回答した保護者）
 ※高2保護者は標本数が少ないため、参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

〈保護者回答〉子どもにスマートフォン（または携帯）を持たせていない理由



〈保護者〉Q14. 将来、お子様にスマートフォン（または携帯電話）を持たせる予定はありますか。あるとしたら、いつ頃をお考えですか。
 （対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していないと回答した保護者）
 ※高2保護者は標本数が少ないため、参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

〈保護者回答〉子どもにスマートフォン（または携帯）を持たせる予定

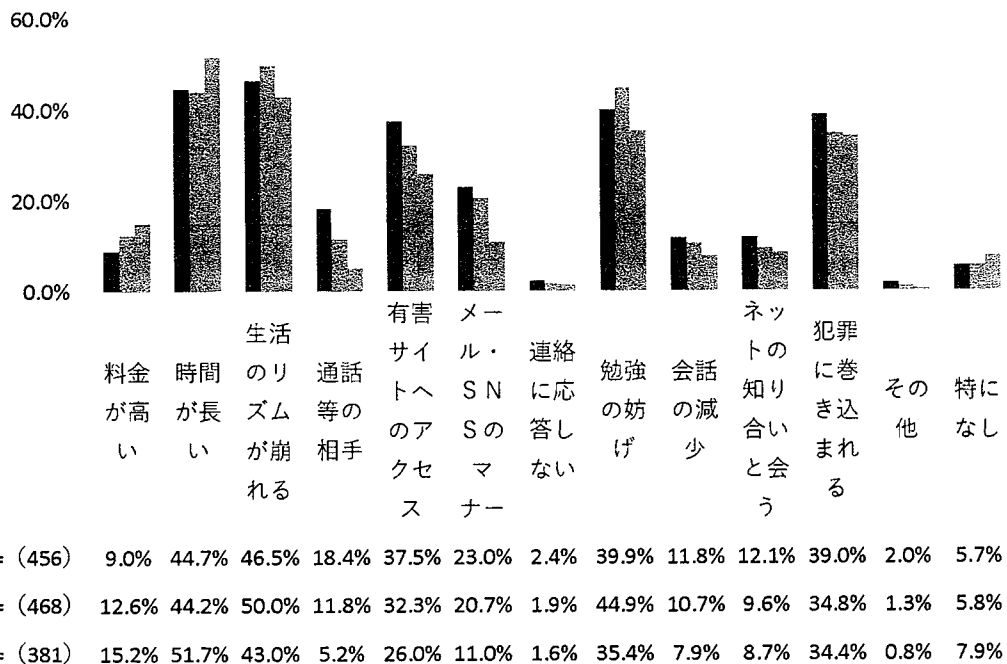


〈子どもにスマートフォンまたは携帯電話を持たせていない理由と持たせる予定〉
 ・現在スマートフォンまたは携帯電話を子どもを持たせていない保護者のほとんどが、現段階では「まだ持たせる必要がない」と考えている。また、持たせていない保護者の約半数は高校1年生から持たせることを考えている。

(3) 子どものインターネット利用で気にかかること

〈保護者〉Q15. あなたのお子様インターネット（スマートフォンまたは携帯電話・パソコン・ゲーム機などによる）を利用する（またはこれから利用することとなる）上で、気にかかることは何ですか。（あてはまるものを選択（3つ以内））（対象：全回答者）

〈保護者回答〉子どもがインターネットを利用する上で気になること



〈子どものインターネット利用で気にかかること〉

・どの学校種でも、「利用時間の長さ」と「生活リズムが崩れる」、「勉強の妨げとなる」が4割前後であった。また「有害サイトへのアクセス」、「犯罪に巻き込まれる」についても4割には満たないものの、気がかりの要因であることがうかがえる。

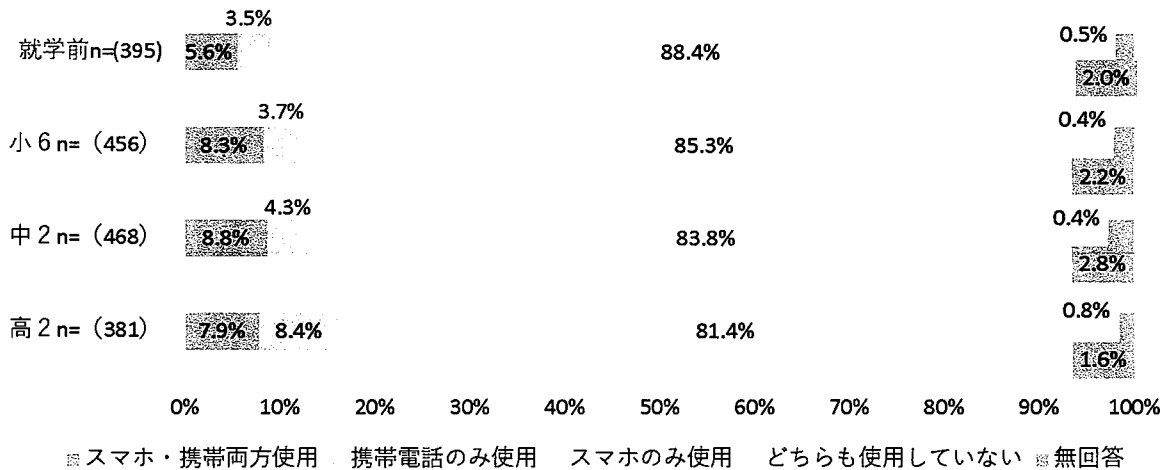
(4) 保護者のスマートフォン・携帯電話の利用状況

○利用状況

〈保護者〉Q22. あなたは、スマートフォンや携帯電話を使っていますか。

(未就学児保護者含む：Q19) (対象：全回答者)

〈保護者〉スマートフォン（または携帯）を使用しているか

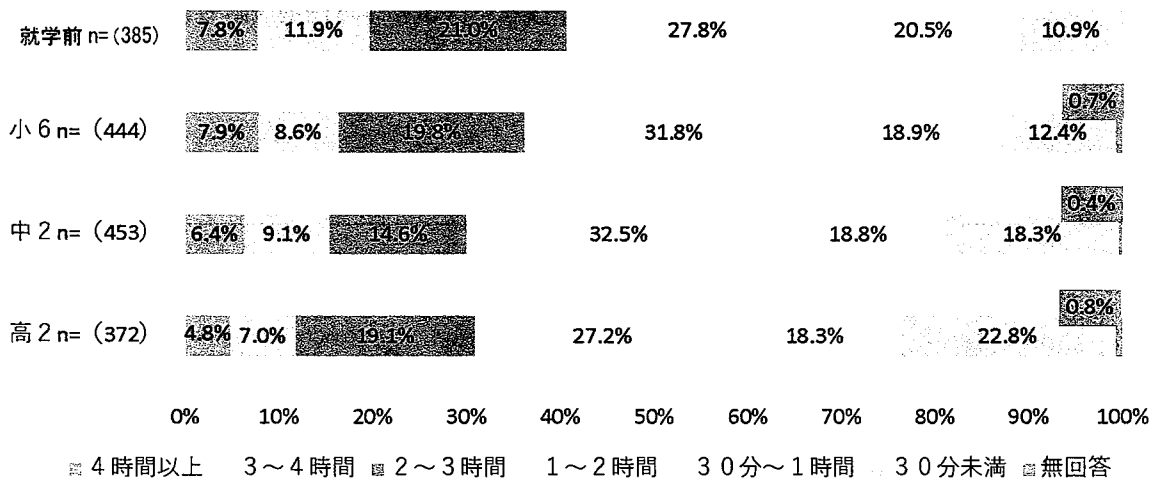


○利用時間

Q24. あなたはスマートフォン（または携帯電話）を1日平均、どのくらい使っていますか。

(未就学児保護者含む：Q21) (スマートフォンまたは携帯電話を使用している保護者)

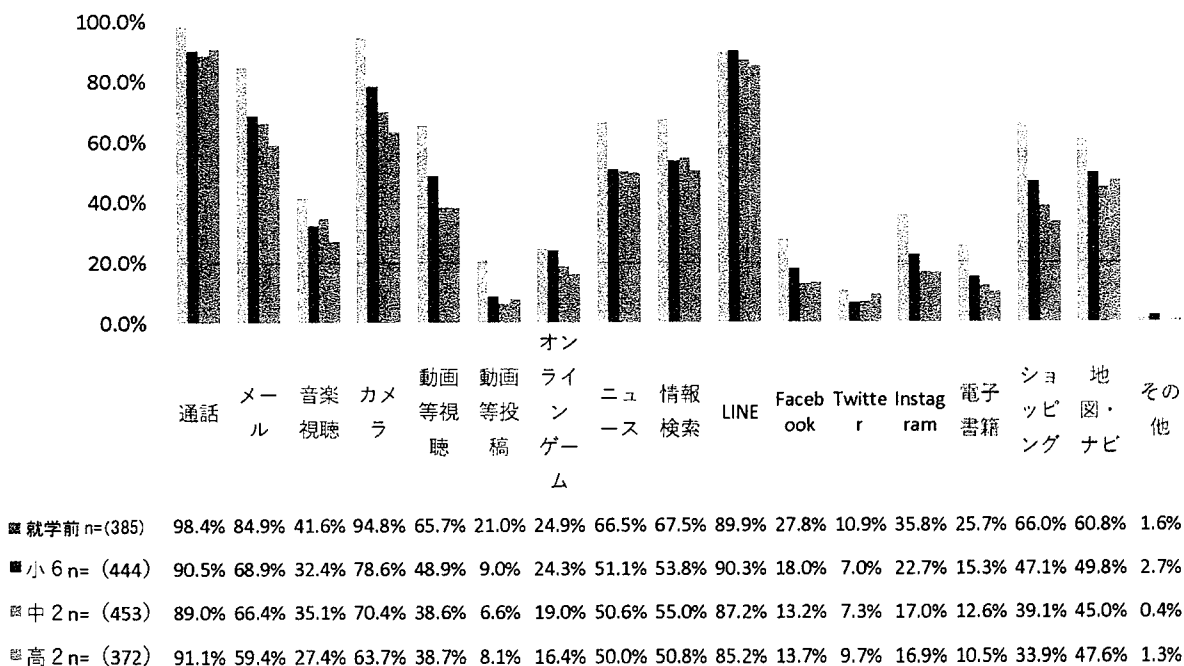
〈保護者〉スマートフォン（または携帯）の1日平均利用時間



○利用内容

〈保護者〉あなたは、スマートフォン（または携帯電話）を主に何に使っていますか。
 （あてはまるものすべてを選択）（未就学児保護者含む：Q20）
 （スマートフォンまたは携帯電話を使用している保護者）

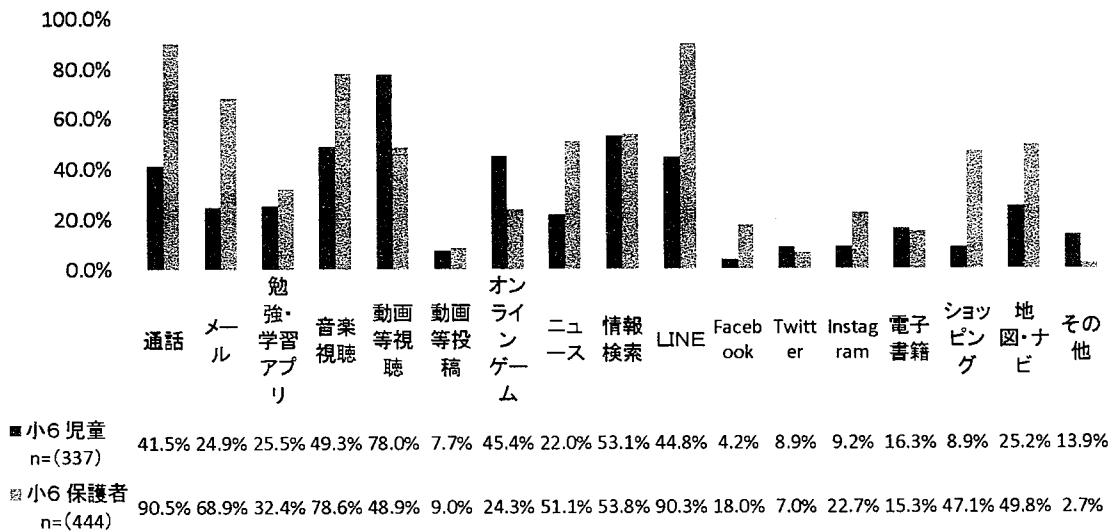
〈保護者〉スマートフォン（または携帯）の利用内容



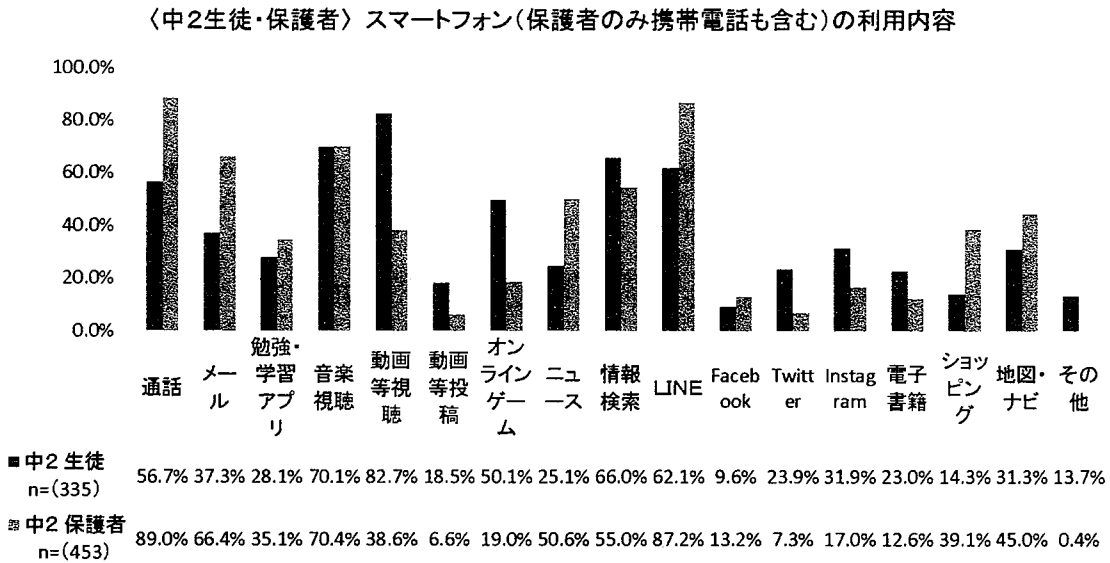
【参考】小学6年生とその保護者のスマートフォン利用内容の比較

（スマートフォンを利用している児童・保護者（保護者のみ携帯電話も含む））

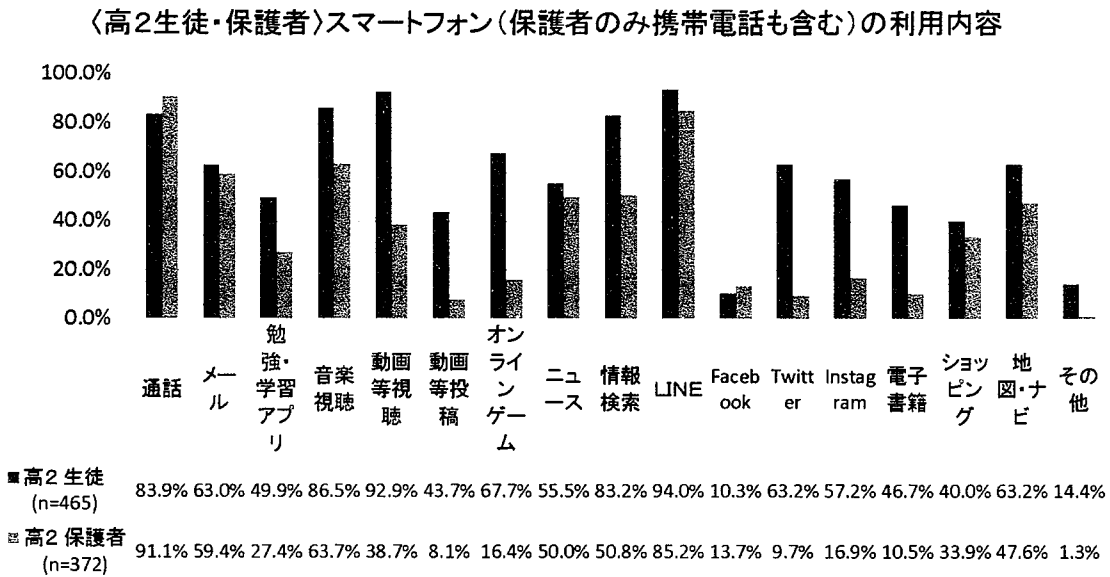
〈小6児童・保護者〉スマートフォン（保護者のみ携帯電話も含む）の利用内容



【参考】中学2年生とその保護者のスマートフォン利用内容の比較
 (スマートフォンまたは携帯電話を利用している生徒・保護者)



【参考】高校2年生とその保護者のスマートフォン利用内容の比較
 (スマートフォンまたは携帯電話を利用している生徒・保護者)



〈保護者のスマートフォン・携帯電話の利用状況〉

- ・ほとんどの保護者が、スマートフォン(または携帯電話)を利用しており、その3割以上が2時間以上利用していることが分かった。
- ・いずれの学校種においても、動画等視聴、オンラインゲームは、児童・生徒の方が保護者よりも高い割合で利用しており、中2、高2では、このほかに動画等投稿、Twitter、Instagramにおいても、生徒と保護者の利用状況に大きな差が見られた。
- ・児童・生徒がこれらのゲーム・SNS等の利用による犯罪被害に遭わないためにも、保護者が子どもの利用状況を知り、正しい使い方について話し合えるようにより一層の啓発が必要である。

(5) インターネット等の用語の認識

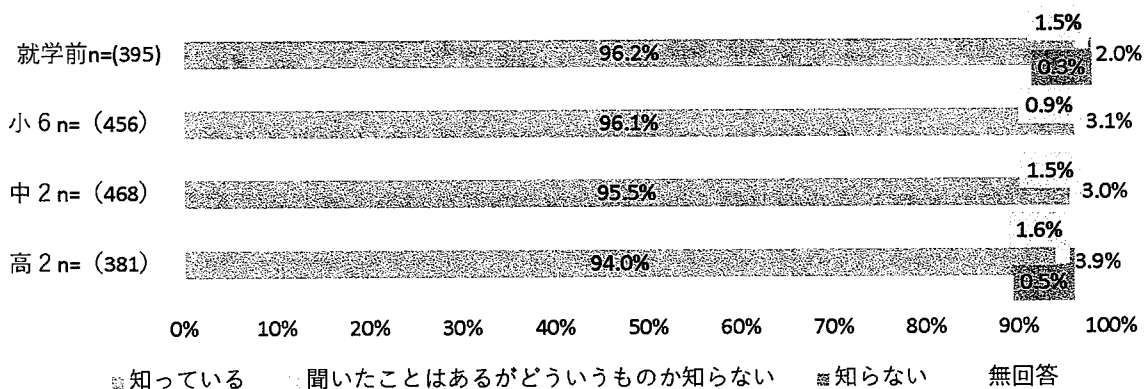
〈保護者〉 Q25. あなたは、インターネットやスマートフォン（または携帯電話）、パソコン、ゲーム等に関する以下の名称の内容を知っていますか。

(未就学児保護者含む：Q22) (対象：全回答者)

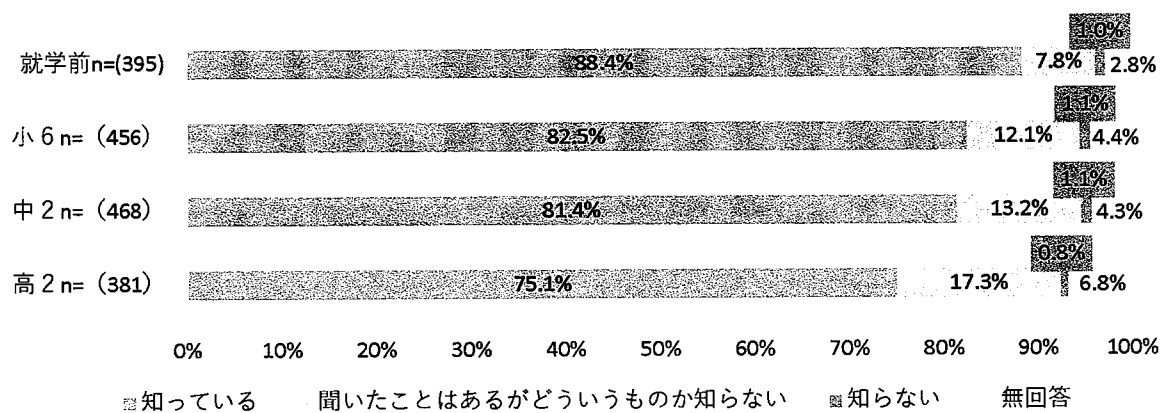
※調査項目

LINE、Facebook、Twitter、Instagram、SNS、You Tube kids、レーティングマーク、ペアレンタルコントロール、クリック詐欺、Wi-Fi、フリースポット

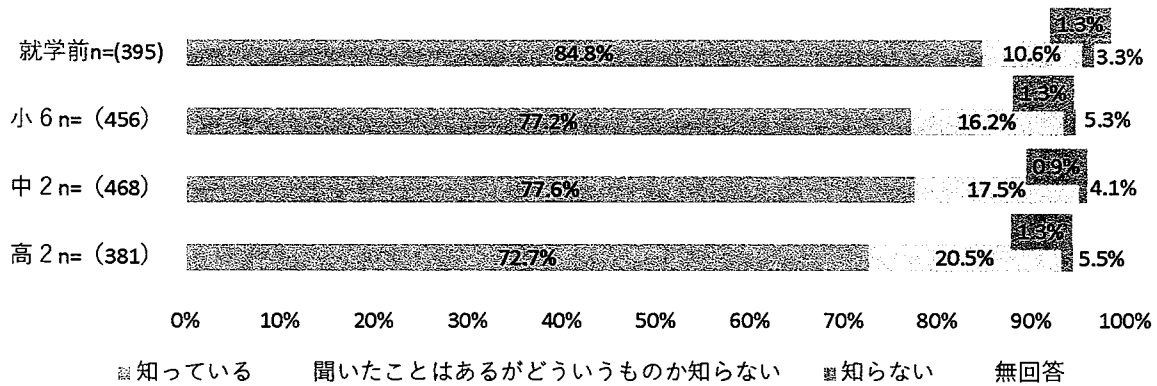
〈保護者〉用語の認知度 (LINE)



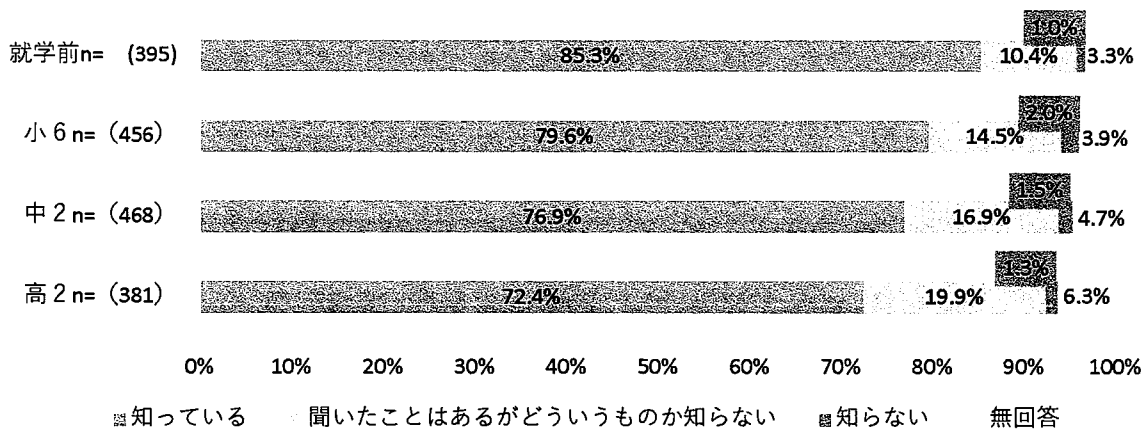
〈保護者〉用語の認知度 (Facebook)



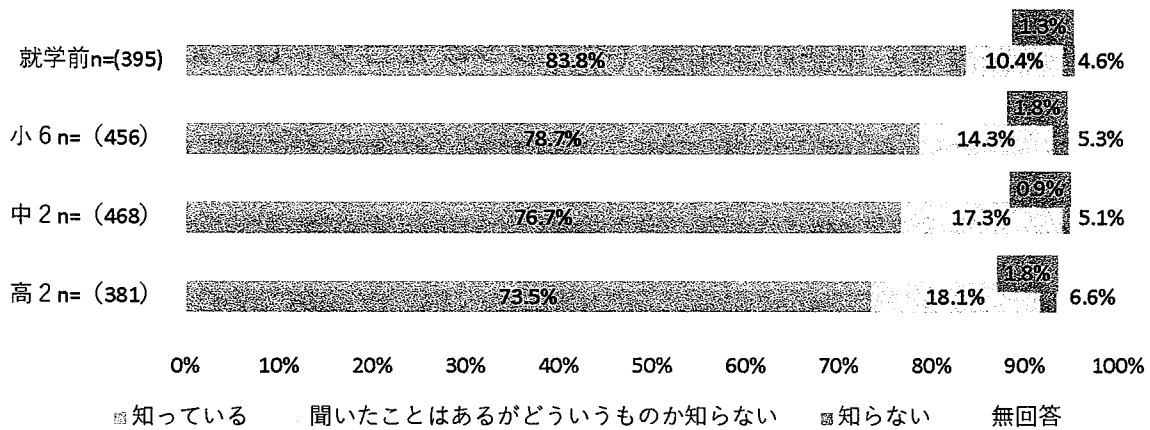
〈保護者〉用語の認知度（Twitter）



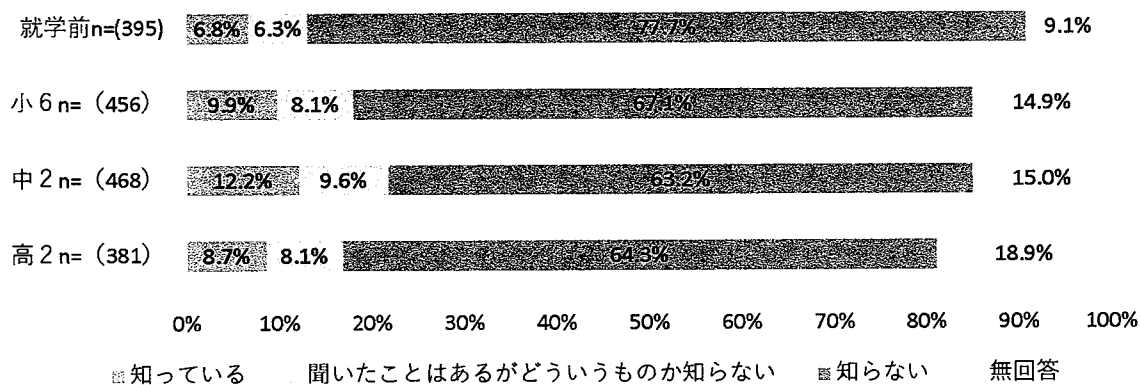
〈保護者〉用語の認知度（Instagram）



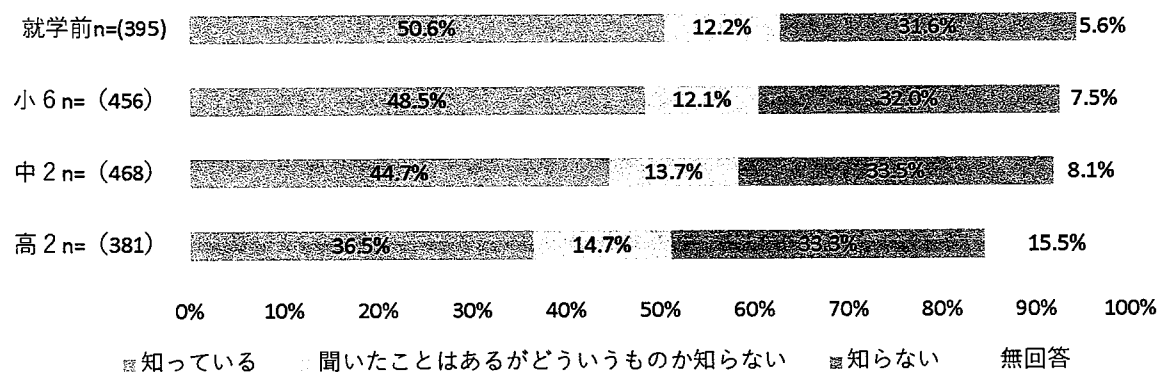
〈保護者〉用語の認知度（SNS）



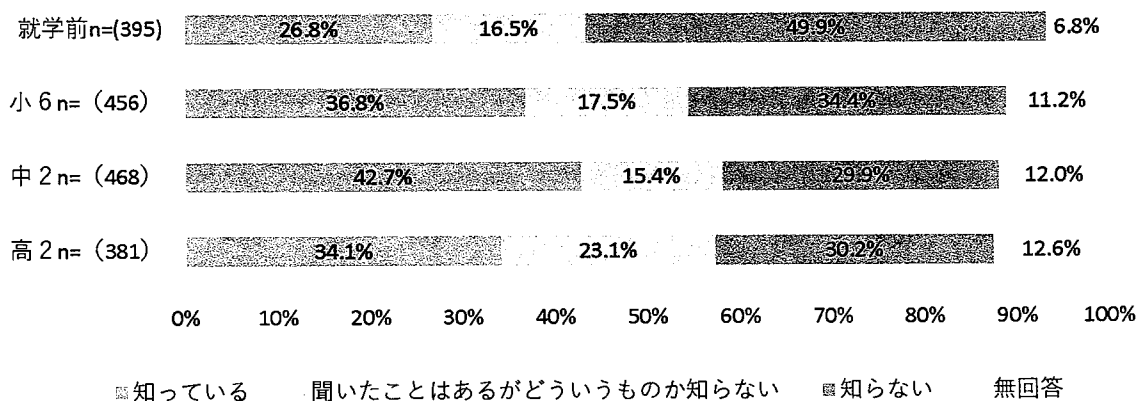
〈保護者〉用語の認知度（レーティングマーク）



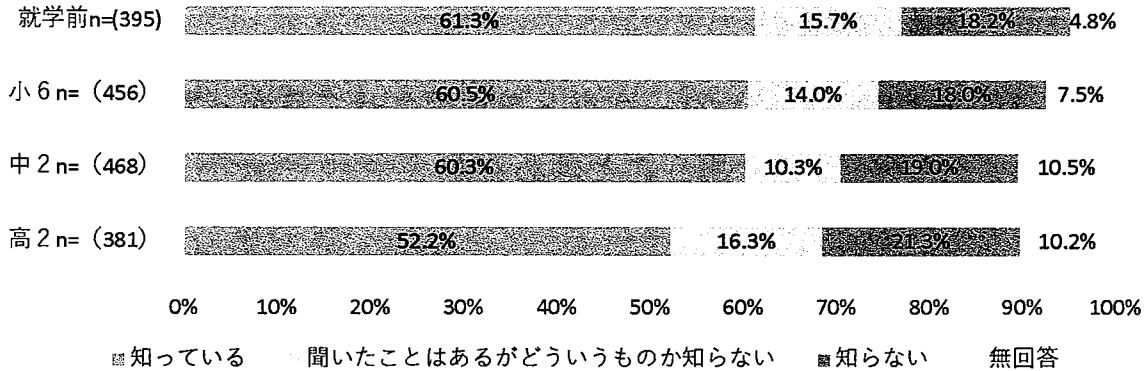
〈保護者〉用語の認知度（YouTube kids）



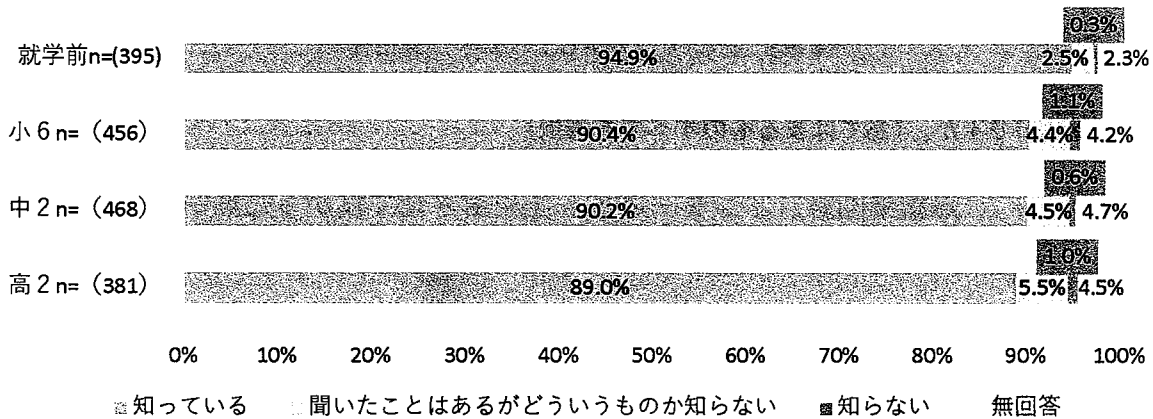
〈保護者〉用語の認知度（ペアレンタルコントロール）



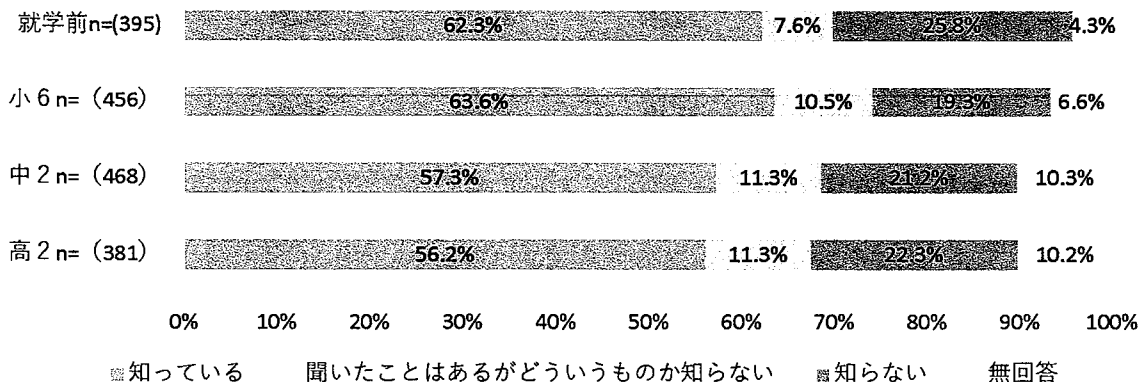
〈保護者〉用語の認知度（クリック詐欺）



〈保護者〉用語の認知度（Wi-Fi）



〈保護者〉用語の認知度（フリースポット）



〈保護者のインターネット等の用語の認識〉

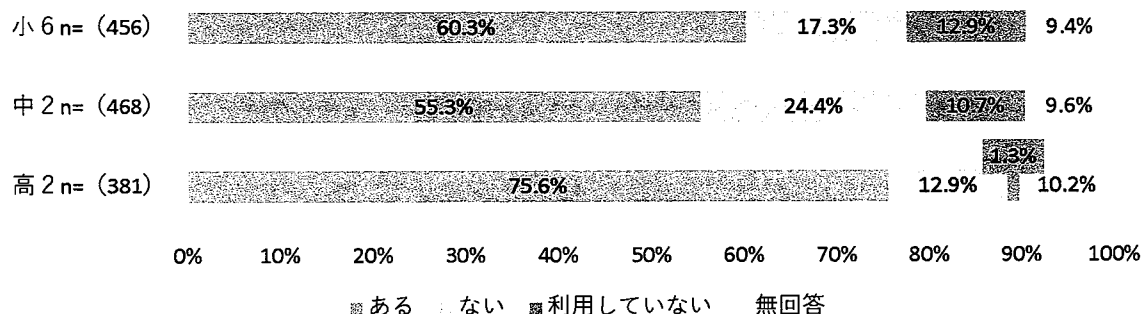
- ・全ての学校種で「レーティングマーク」についての認知度が低く、中2保護者の12.2%を除き、10%未満である。
- ・多くの用語について学校種が高校、中学校、小学校と下がるほど保護者の用語認知度が高いが、「レーティングマーク」や「ペアレンタルコントロール」については、就学前が特に低くなっており、早い時期からの啓発が必要である。

(6) インターネット利用のメリット

〈保護者〉 Q26. あなたが、お子様にスマートフォン（または携帯電話）・パソコン・ゲーム機等によりインターネットを利用させて良かったと思うことはありますか。

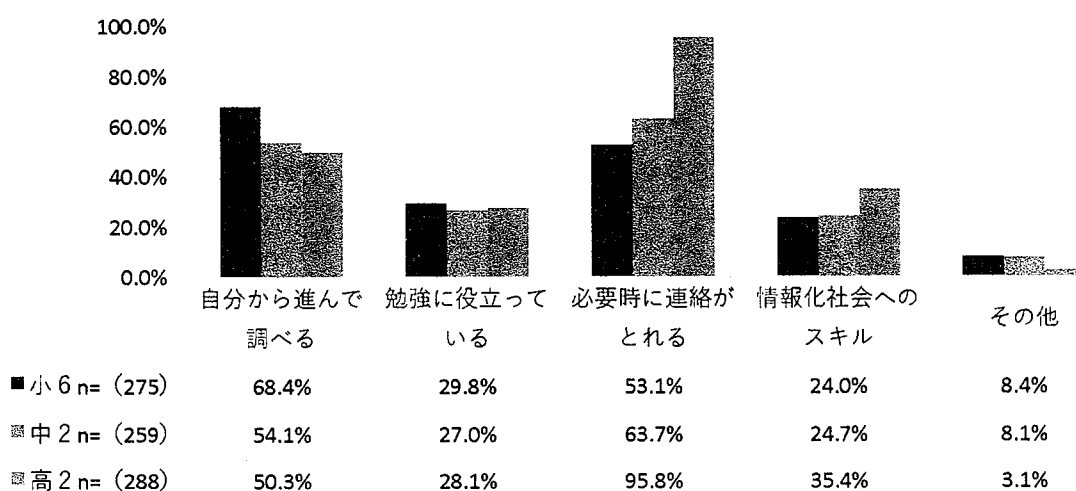
(対象：全回答者)

〈保護者回答〉 インターネットを利用させて良かったと思うことはあるか



その理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

〈保護者回答〉 インターネットを利用させて良かった理由



(インターネット利用のメリット)

- ・小6で6割以上、中2で半数以上、高2で7割以上がインターネットを利用させて良かったと感じている。
- ・小6では、「わからないことを進んで調べるようになった」ことをインターネット利用のメリットと感じている。
- ・学校種が上がるにつれて、必要な時に連絡が取れることをメリットと感じている。